地域移行に向けた意向調査　分析報告書

平成20年３月

大阪府地域移行推進指針策定検討委員会

はじめに…… 3
Ⅰ　調査概要…… 5
1　調査の概要…… 5
（1） 調査目的…… 5
（2） 調査の方法…… 5
（3） 調査の内容…… 5
（4） 調査の経過…… 5
（5） 回収状況…… 6
2　調査結果からみる大阪府の入所施設利用者の現状…… 6
（1） 性別…… 6
（2） 年齢…… 6
（3） 入所期間…… 7
（4） 療育手帳の程度…… 7
（5） 身体障がい者手帳の程度…… 8
（6） 精神障がい者保健福祉手帳の程度…… 9
（7） 障がい程度区分…… 9
（8） 入所直前の生活の場…… 9
（9） グループホームでの生活経験……10
(10) 入所直前の日中活動の場……11
Ⅱ　調査結果の分析……12
1　地域移行希望者の定義……12
（1） 地域移行希望者の考え方……12
（2） ＡＢＣＤ群の概観……15
2　地域移行希望者の特性……16
（1） 地域移行希望者の施設種別ごとの集計……17
（2） 地域移行希望者の入所前の生活歴……19
3　施設利用者の思い……23
（1） 今の施設での暮らしについて……23
（2） 施設を出て暮らすことについて……25
（3） 地域移行の意思形成に不安を与えている要因について……27
4　支援者、施設として考える地域移行支援への課題……33
5　本人ニーズと支援者のアセスメント……37
（1） 住みたいところ……37
（2） 同居したい人……44
（3） 住みたい地域……47
（4） 日中の過ごし方……53
（5） 支援してほしいこと……57
（6） 支援者が地域移行支援に際して必要と思うこと……63

6　施設利用者への地域移行に向けた取り組み……67
（1）　グループホーム・ケアホームの認知度と本人希望との関連……67
（2）　グループホーム等の体験談聴取の有無とその感想……70
（3）　グループホーム等の体験談聴取の有無と施設生活についての思いとの関連……74
（4）　グループホーム等の体験談聴取の有無と施設を出て暮らすことについての思いとの関連……76
（5）　グループホーム等の体験談聴取の有無と本人希望との関連……77
（6）　地域移行への働きかけ……80
（7）　個別支援計画に地域移行が明記されている人への取り組みの現状……83
7　家族の理解と安心を得るための家族支援……85
（1）　本人希望と（本人からみた）家族の意向との関連……85
（2）　地域移行に関する（支援者からみた）家族の意向……85
（3）　地域移行に向けた家族支援の取り組みの現状……88
（4）　地域移行に関する家族の反応と本人希望との関連……90
8　地域移行が進まない要因……91
（1）　B群についての考察……92
（2）　D群についての考察……94
9　施設や施設職員の意識改革 ……100
Ⅲ　巻末資料 ……102
・大阪府地域移行推進指針策定検討委員会設置要綱 ……103
・地域移行に向けた意向調査実施要綱 ……105
・大阪府地域移行推進指針策定検討委員会　開催経過 ……106
・入所者本人記入用調査票 ……108
・施設支援員記入用調査票 ……116
・分析設計図 ……123
・大阪府地域移行に向けた意向調査集計報告 ……124

は じ め に

平成１９年、大阪府では、障害者自立支援法の施行に伴う福祉ニーズを踏まえつつ、大阪府域における都市型の地域生活への移行支援の方策を検討し、地域移行を推進するための指針を策定するために地域移行推進指針策定検討委員会を設置しました。

また大阪府では、この地域移行推進指針を検討するための基礎情報を得ることを目的とした調査を実施しました。調査の内容は、地域移行を希望する入所施設利用者の把握を含め、施設利用者の意向、施設関係者の意向、及び地域移行を念頭においた個別支援計画の作成状況等であります。

本検討委員会では調査結果の分析、検討を基礎に各検討委員による多角的な検討を行い、地域移行推進指針策定への提言を行いました。

調査結果の概要、地域移行推進指針策定検討委員会における分析、検討の結果を、地域移行に向けた意向調査分析報告書により、報告いたします。

なお本報告書とともに、本調査の分析、検討を基礎として地域移行推進指針を策定しておりますので併せてご一読ください。

分析報告書の読み方

（１） 各表における割合は、単一回答の設問についての表では「合計」、複数回答の設問についての表では「対象者」を母数にしたものである。

（２） クロス集計表における２変数間に統計的に有意な関連があるかどうかを分析するために、χ（カイ）二乗検定を行った。カイ二乗検定とは、集計表における値のズレの大きさが偶然に出現する範囲におさまっているかどうかを判定するものである。

２変数間に統計的に有意な関連があるという判定がはずれる確率（危険率）をＰ値というが、本報告書では、Ｐ値の表記を簡略化して、次のような記号で表記する。

Ｐ＜.001 *** .001≦Ｐ＜.01 ** .01≦Ｐ＜.05 *

例えば、Ｐ＜.001とは、判定がはずれる確率が.001以下という意味であり、「＊」の数が多くなるほど、判定のはずれる確率が低くなり、それだけ2変数間の関連が高くなることを意味している。

（３） 有意差の検定を行っているクロス集計においては、不明を省いているので、合計が回収数と一致しない場合がある。

Ⅰ　調 査 概 要

1　調査の概要

（1）　調査目的

- 大阪府では平成19年４月、市町村障がい福祉計画を踏まえたうえで大阪府障がい福祉計画を公表した。とりわけ、本計画では「平成23年度までの地域移行目標を現在（平成17年10月）の施設入所者の20%以上」としたところである。
- 計画の完全実施に向けた府・市町村の連携した取り組みが求められているなか、地域移行に関する市町村別目標の達成にむけ、地域移行を希望する入所施設利用者の把握、施設利用者の意向、施設関係者の意向、及び地域移行を念頭においた個別支援計画の作成状況等、地域移行に向けた基礎情報を得、今後の方向性を検討することを目的として調査を実施した。

（2）　調査の方法

① **調査実施主体**：大 阪 府

② **調査地域**：大阪府域

③ **調査対象**：入所施設利用者及び入所施設職員（以下、支援者とする）（大阪府内53施設）

ただし、以下の条件の者を除く

・有期限である等、長期入所が予想されない通勤寮及び授産施設

・大阪市が援護の実施者となっている者及び府立施設入所者

（内訳）

・知的障がい者更生施設（36施設）

・身体障がい者更生施設（１施設）

・内部障がい者更生施設（１施設）

・身体障がい者療護施設（15施設）

④ **調査期間**：平成19年７月17日から９月７日

⑤ **調査時点**：平成19年７月１日現在

⑥ **調査方法**：大阪府から調査票を各施設に送付し、各施設において、利用者および支援者が個別調査票を記入し、障がい者自立相談支援センター職員が回収する留置法により実施した。また、利用者が直接回答するのが困難な場合には、利用者本人の了解のもと、支援者による個別面接法により実施した。

（3）　調査の内容

以下の二つの調査票により地域移行に向けた基礎情報を把握した。

① 利用者本人記入用調査票

② 施設支援員記入用調査票

（巻末資料参照）

（4）　調査の経過

- 平成19年７月17日に身体障がい者入所施設あて、同７月20日に知的障がい者入所施設あてに調査票を発送。平成19年８月９日から９月７日に各施設を訪問し調査票を回収した。

（５） 回収状況

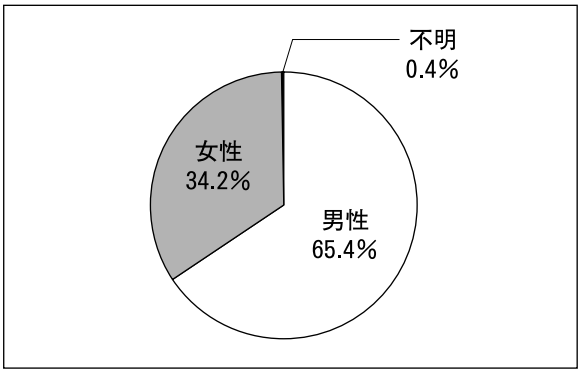
- すべての調査対象者から回答が得られた（回収率100%）

2　調査結果からみる大阪府の入所施設利用者の現状

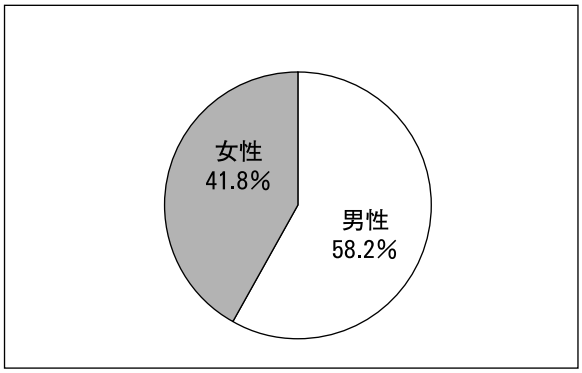
（１） 性別

- 知的障がい者施設利用者の男女比は男性65.4%、女性34.2%で、男性がかなり多いが、身体障がい者施設利用者は男性58.2%、女性41.8%と、その差は知的障がい者施設利用者に比べ小さい。

図Ⅰ－１－１　性別（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－１－２　性別（身体障がい者施設利用者）



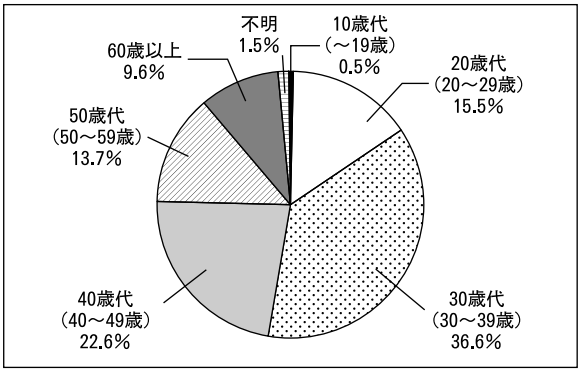
表Ⅰ－１：性別

			性別			合計
			男性	女性	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	1,198 65.4%	626 34.2%	7 0.4%	1,831 100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	502 58.2%	361 41.8%	0 0.0%	863 100.0%
合計		人数	1,700 63.1%	987 36.6%	7 0.3%	2,694 100.0%

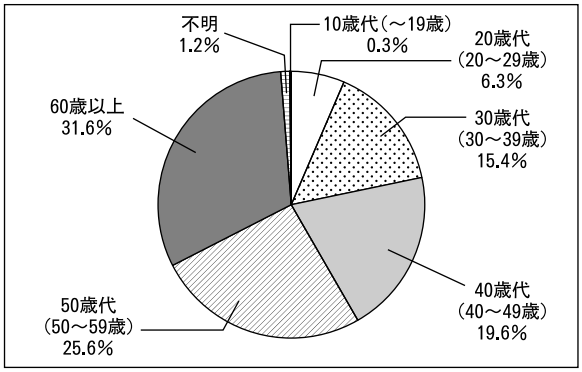
（２） 年齢

- 知的障がい者施設利用者では30歳代が最も多い（36.6%）が、身体障がい者施設利用者は60歳以上が最も多い（31.6%）。平均年齢は全体で45.2歳、知的障がい者施設利用者で41.9歳、身体障がい者施設利用者で52.0歳であり、身体障がい者施設利用者に高齢者の割合が高い。身体障がい者施設利用者の地域移行は高齢者の視点も不可欠であると思われる。

図Ⅰ－２－１　年齢（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－２－２　年齢（身体障がい者施設利用者）



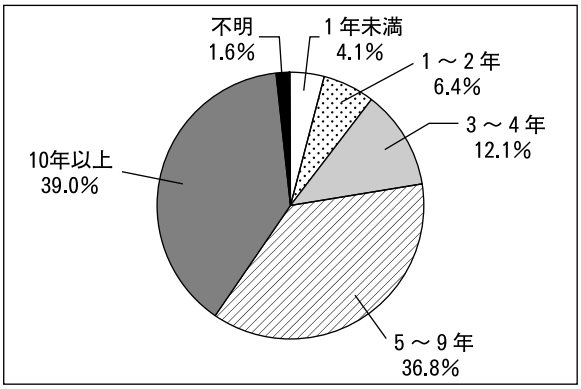
表Ⅰ－２：年齢

			年齢（年代）							合計
			10歳代（～19歳）	20歳代（20～29歳）	30歳代（30～39歳）	40歳代（40～49歳）	50歳代（50～59歳）	60歳以上	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	9	283	671	414	251	176	27	1,831
			0.5%	15.5%	36.6%	22.6%	13.7%	9.6%	1.5%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	3	54	133	169	221	273	10	863
			0.3%	6.3%	15.4%	19.6%	25.6%	31.6%	1.2%	100.0%
合計		人数	12	337	804	583	472	449	37	2,694
			0.4%	12.5%	29.8%	21.6%	17.5%	16.7%	1.4%	100.0%

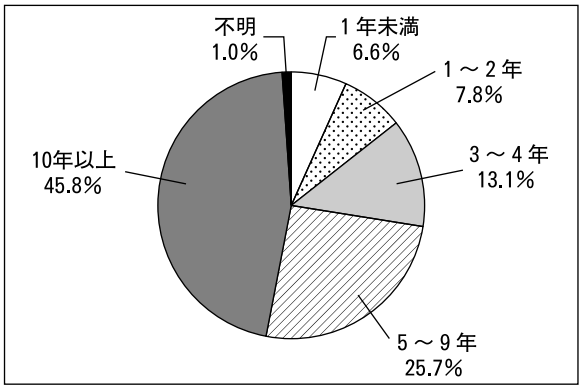
（３） 入所期間

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者とも10年間以上がそれぞれ39.0%、45.8%と多い。入所期間が５年以上の人を加算すると、それぞれ75.8%、71.5%にもなり、何れも長期に入所している人が多い。

図Ⅰ－３－１　施設入所期間（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－３－２　施設入所期間（身体障がい者施設利用者）



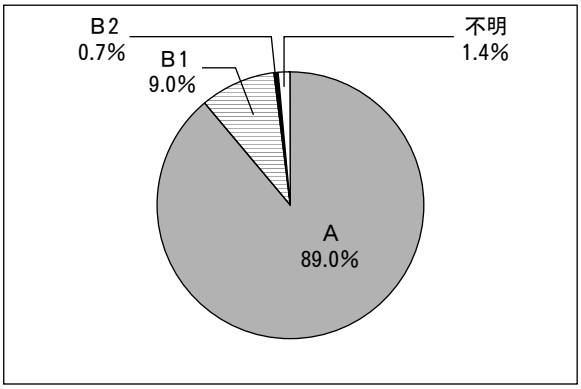
表Ⅰ－３：施設入所期間

			入所期間						合計
			1年未満	1～2年	3～4年	5～9年	10年以上	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	75	118	221	673	715	29	1,831
			4.1%	6.4%	12.1%	36.8%	39.0%	1.6%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	57	67	113	222	395	9	863
			6.6%	7.8%	13.1%	25.7%	45.8%	1.0%	100.0%
合計		人数	132	185	334	895	1,110	38	2,694
			4.9%	6.9%	12.4%	33.2%	41.2%	1.4%	100.0%

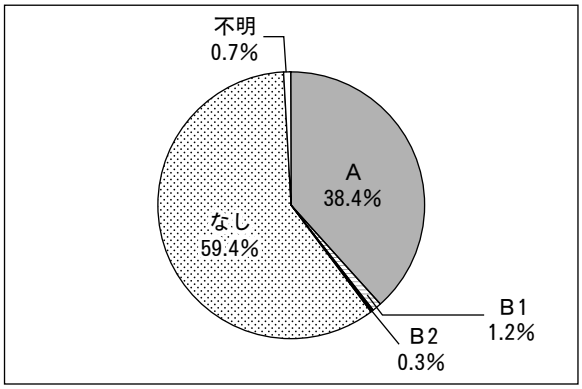
（４） 療育手帳の程度

- 知的障がい者施設利用者では、1,806人（98.6%）の療育手帳の所持が確認されており、89%の人が重度（A）の療育手帳を所持している。
- 身体障がい者施設利用者では344人（39.9%）が療育手帳を所持しており、そのうち96.2%が重度（A）の療育手帳所持者である。

図Ⅰ－４－１　療育手帳の程度
（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－４－２　療育手帳の程度
（身体障がい者施設利用者）



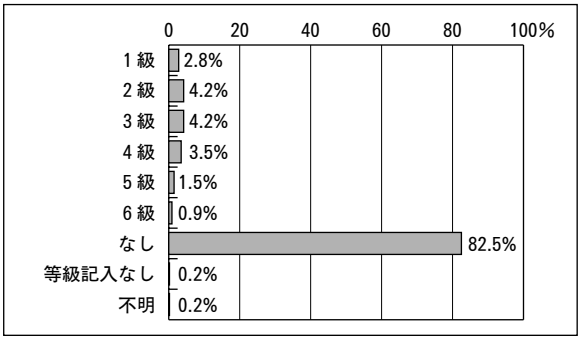
表Ⅰ－４：療育手帳の程度

			療育手帳の程度					合計
			A	B１	B２	なし	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	1,629	164	13	0	25	1,831
			89.0%	9.0%	0.7%	0.0%	1.4%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	331	10	3	513	6	863
			38.4%	1.2%	0.3%	59.4%	0.7%	100.0%
合計		人数	1,960	174	16	513	31	2,694
			72.8%	6.5%	0.6%	19.0%	1.2%	100.0%

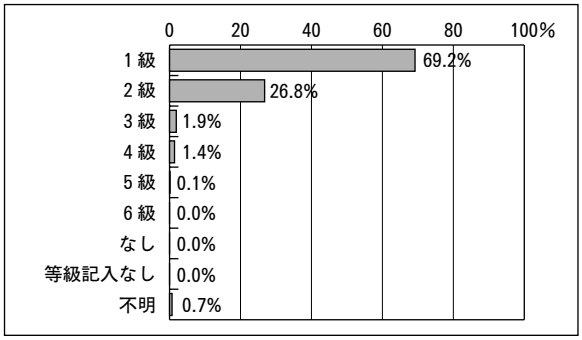
（５） 身体障がい者手帳の程度

- 身体障がい者施設利用者は、857人（99.3%）の所持が確認されており、そのうち69.2%の人が１級の手帳を所持し、２級は26.8%であり、一般的に重度障害者といわれる１、２級の手帳所持者と併せると96%にのぼる。
- 知的障がい者施設利用者も、不明の６人を除き314人（17.1%）の人が所持しているが、手帳の程度はさまざまで、所持者314人のうち、重度の１級は16.2%、２級は25%である。

図Ⅰ－５－１　身体障がい者手帳程度
（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－５－２　身体障がい者手帳程度
（身体障がい者施設利用者）



表Ⅰ－５：身体障がい者手帳の程度

			身体障がい者手帳の程度								合計
			１級	２級	３級	４級	５級	６級	なし	等級記入なし	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	51	77	77	65	27	17	1,511	3	3	1,831
			2.8%	4.2%	4.2%	3.5%	1.5%	0.9%	82.5%	0.2%	0.2%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	597	231	16	12	1	0	0	0	6	863
			69.2%	26.8%	1.9%	1.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
合計		人数	648	308	93	77	28	17	1,511	3	9	2,694
			24.1%	11.4%	3.5%	2.9%	1.0%	0.6%	56.1%	0.1%	0.3%	100.0%

（6） 精神障がい者保健福祉手帳の程度

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者とも所持している人が少なく、それぞれ11人と5人の所持が確認された。

表Ⅰ－6：精神障がい者保健福祉手帳の程度

			精神障がい者保健福祉手帳の程度					合　計
			1級	2級	3級	なし	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	4	6	1	1,817	3	1,831
			0.2%	0.3%	0.1%	99.2%	0.2%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	3	2	0	856	2	863
			0.3%	0.2%	0.0%	99.2%	0.2%	100.0%
合　計		人数	7	8	1	2,673	5	2,694
			0.3%	0.3%	0.0%	99.2%	0.2%	100.0%

（7） 障がい程度区分

- 障害者自立支援法の障がい程度区分の認定が終了したのは、知的障がい者施設では240人（13.1%）、身体障がい者施設では76人（8.8%）であり、認定は進んでいない。
- 認定が終了している人のうち知的障がい者施設利用者では42.9%が区分6であり、身体障がい者施設利用者でも51.3%が区分6である。新体系の施設入所支援では対象外とされる区分3までの人は、認定が終了している人のうち、知的障がい者施設利用者では11.7%、身体障がい者施設利用者では15.8%である。

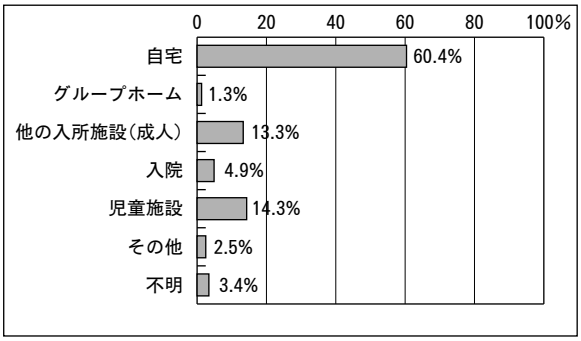
表Ⅰ－7：障がい程度区分

			障　が　い　程　度　区　分							合　計
			1	2	3	4	5	6	未実施	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	0	13	15	37	72	103	1,591	1,831
			0.0%	0.7%	0.8%	2.0%	3.9%	5.6%	86.9%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	6	0	6	6	19	39	787	863
			0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	2.2%	4.5%	91.2%	100.0%
合　計		人数	6	13	21	43	91	142	2,378	2,694
			0.2%	0.5%	0.8%	1.6%	3.4%	5.3%	88.3%	100.0%

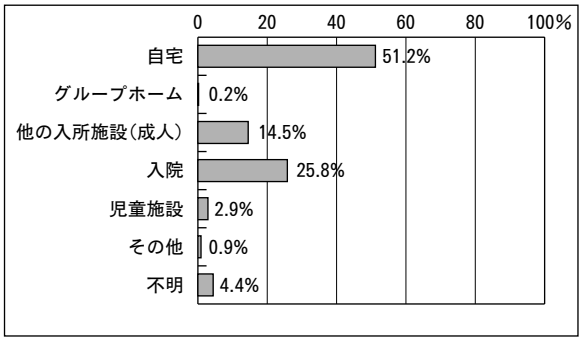
（8） 入所直前の生活の場

- 入所前の生活の場は、知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者とも自宅が最も多い（それぞれ60.4%、51.2%）。
- 次に多いものは、知的障がい者施設利用者では児童施設（14.3%）であり、身体障がい者施設利用者では入院（25.8%）である。なお本調査では障がい児施設と児童養護施設との区別をせず、「児童施設」として調査したため、施設種別ごとの人数は確認できていない。
- つづいて、他の成人施設で、知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともそれぞれ13.3%、14.5%である。
- グループホームからの入所も、実数は少ないが、知的障がい者施設利用者で23人（1.3%）、身体障がい者施設利用者で2人（0.2%）見られる。

図Ｉ－８－１　入所直前の生活の場
（知的障がい者施設利用者）



図Ｉ－８－２　入所直前の生活の場
（身体障がい者施設利用者）



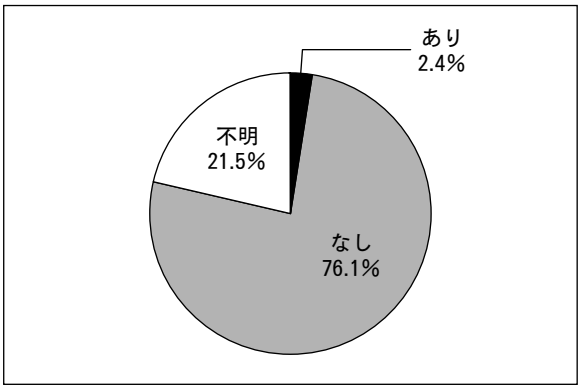
表Ｉ－８：入所直前の生活の場

			入所前生活場所							合計
			自宅	グループホーム	他の入所施設（成人）	入院	児童施設	その他	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	1,106	23	244	89	261	46	62	1,831
			60.4%	1.3%	13.3%	4.9%	14.3%	2.5%	3.4%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	442	2	125	223	25	8	38	863
			51.2%	0.2%	14.5%	25.8%	2.9%	0.9%	4.4%	100.0%
合計		人数	1,548	25	369	312	286	54	100	2,694
			57.5%	0.9%	13.7%	11.6%	10.6%	2.0%	3.7%	100.0%

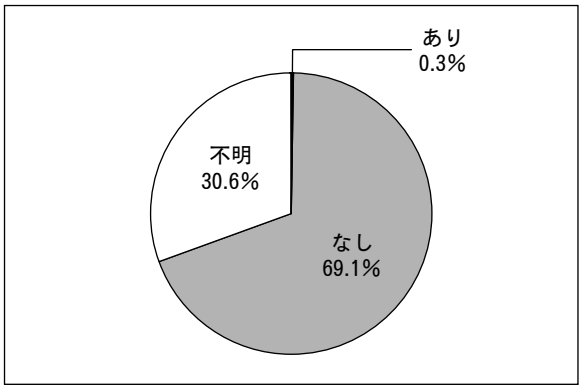
（9） グループホームでの生活経験

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者とも、「あり」と答えた人は極わずかである。
- グループホームへの入居経験ありの割合が知的障がい者施設利用者より身体障がい者施設利用者の方が低い。これは、身体障がい者のグループホームの制度が未整備であることが要因であると考えられる。

図Ｉ－９－１　グループホーム入居経験
（知的障がい者施設利用者）



図Ｉ－９－２　グループホーム入居経験
（身体障がい者施設利用者）



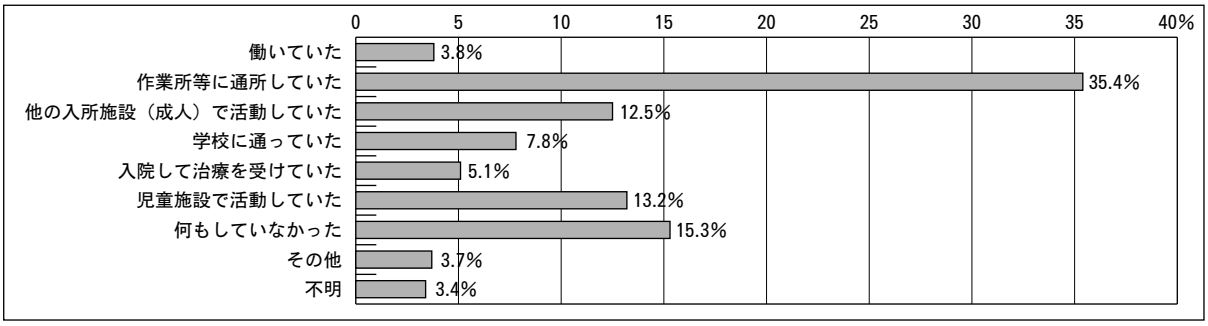
表Ｉ－９：グループホーム入居経験

			グループホーム入居経験			合計
			あり	なし	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	44	1,394	393	1,831
			2.4%	76.1%	21.5%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	3	596	264	863
			0.3%	69.1%	30.6%	100.0%
合計		人数	47	1,990	657	2,694
			1.7%	73.9%	24.4%	100.0%

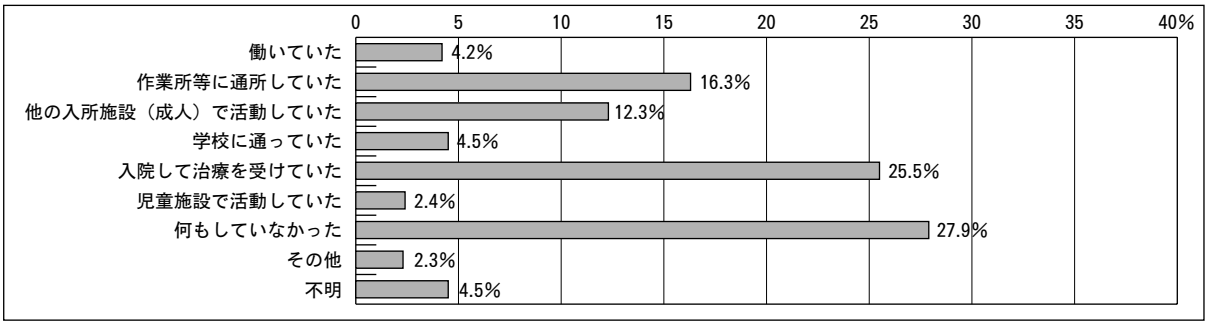
(10) 入所直前の日中活動の場

- 知的障がい者施設利用者では「作業所等に通所していた」が35.4%で最も多く、次いで「何もしていなかった」が15.3%となっている。身体障がい者施設利用者では「何もしていなかった」が27.9%で最も多く、次いで「入院して治療を受けていた」が25.5%であった。

図Ⅰ－10－１　入所直前の日中活動の場（知的障がい者施設利用者）



図Ⅰ－10－２　入所直前の日中活動の場（身体障がい者施設利用者）



表Ⅰ－10：入所直前の日中活動の場

			入所前日中活動									合計
			働いていた	作業所等に通所していた	他の入所施設（成人）で活動していた	学校に通っていた	入院して治療を受けていた	児童施設で活動していた	何もしていなかった	その他	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	69	648	228	143	93	241	280	67	62	1,831
			3.8%	35.4%	12.5%	7.8%	5.1%	13.2%	15.3%	3.7%	3.4%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	36	141	106	39	220	21	241	20	39	863
			4.2%	16.3%	12.3%	4.5%	25.5%	2.4%	27.9%	2.3%	4.5%	100.0%
合計		人数	105	789	334	182	313	262	521	87	101	2,694
			3.9%	29.3%	12.4%	6.8%	11.6%	9.7%	19.3%	3.2%	3.7%	100.0%

Ⅱ　調査結果の分析

1　地域移行希望者の定義

- 本調査目的は、地域移行希望者の実数把握のほか、地域移行を円滑に進めるにあたり、入所施設利用者の地域移行に関するニーズを調査するとともに、地域移行希望者の意思形成に対して施設での取り組みや入所施設利用者の属性や周囲の環境・条件がどのような影響を与えているかを分析することであり、別添「意向調査　設計図」のとおり本調査票を設計したところである。
- ところで、本調査においては、回答には多様な要素が反映され、本人用調査票のみの分析では意向確認が困難な入所施設利用者のデータが反映されず正確な全体像の把握が困難となる。このため本調査では、本人用調査票と支援者用調査票との両方から分析し、これらを重ね合わせることで地域移行希望者を捉えることとした。

（1） 地域移行希望者の考え方

- 地域移行希望者とは、入所施設や病院ではない居住の場を選択した意向が確認された者である。
- このため本調査では、「本人用調査票」において本人の地域移行希望の意向が確認された者、および「支援者用調査票」における個別支援計画関連の設問において本人の地域移行希望の意向が確認された者を地域移行希望者とする。

（ア） 「本人調査票」で本人の地域移行に関する意向が確認された者

以下の 3 条件(a)、(b)、(c)を満たす者である。

(a) 「本人調査票」回答において

・本人が記入　または　**・本人からの聴き取りで支援者が記入**　を選択

本人の意向が確認できたのは、全調査回答者2,694人中、1,243人（46.1%）である（表Ⅱ－１）。

表Ⅱ－１：障がい種類別　本人用調査の回答状況

			本人が記入	本人からの聴き取りで支援者が記入	意向確認困難	合　計
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	158 8.6%	559 30.5%	1,114 60.8%	1,831 100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	64 7.4%	462 53.5%	337 39.0%	863 100.0%
合　計		人数	222 8.2%	1,021 37.9%	1,451 53.9%	2,694 100.0%

(b) 「本人調査票」**質問１あなたはこれからどこで暮らしたいと思っていますか？**　において、

②　今の施設とは違うところで暮らしたい　を選択

今の施設とは違うところで暮らしたいと希望している人は、本人の意向が確認できた1,243人中306人（24.6%）であった（表Ⅱ－２）。

表Ⅱ－２：障がい種類別　地域移行の希望

			地域移行の希望					合計
			今の施設で暮らしたい	今の施設とは違うところで暮らしたい	どちらでもよい、決められない、わからない	その他	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	281	236	136	35	29	717
			39.2%	32.9%	19.0%	4.9%	4.0%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	305	70	106	36	9	526
			58.0%	13.3%	20.2%	6.8%	1.7%	100.0%
合計		人数	586	306	242	71	38	1,243
			47.1%	24.6%	19.5%	5.7%	3.1%	100.0%

(c)　「本人調査票」　**質問４－１あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのようなところで暮らしたいですか？**　において

①グループホームやケアホームで、暮らしたい

②自分の家に帰って暮らしたい

③住むところを借りて暮らしたい　の何れかを選択した者、及び、

⑦その他　を選択した者の内、記述欄に入院入所ではない居住の場の記載がある者

上記(b)で、**今の施設とは違うところで暮らしたい**　を選んだ306人のうち、(c)の条件を満たすものは256人であった。（14ページ　表Ⅱ－５　Ａ＋Ｂ）

（イ）　「支援者調査票」で本人の地域移行に関する意向が確認された者

以下の２条件(a)、(b)を満たす者である

(a)　個別支援計画に地域移行の記載がある。「支援者調査票」**問９付問２個別支援計画に地域移行に向けた支援内容が明記されていますか？**　で

①　**明記されている**　を選択している。（表Ⅱ－３）

表Ⅱ－３：障がい種類別　個別支援計画における地域移行支援内容明記状況

			個別支援計画に地域移行支援内容明記				合計
			明記されている	明記されていない	どちらとも言えない	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	360	1,009	436	10	1,815
			19.8%	55.6%	24.0%	0.6%	100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	72	630	137	4	843
			8.5%	74.7%	16.3%	0.5%	100.0%
合計		人数	432	1,639	573	14	2,658
			16.3%	61.7%	21.6%	0.5%	100.0%

(b)　「支援者調査票」**問９付問１個別支援計画の作成にあたって、どのように作成しましたか？**　において、

①　計画策定にあたって本人の希望を聞いている

②　計画策定会議に本人が参加している

③　計画策定後、本人に説明し同意を得ている　の、いずれかを選択している

上記(a)の条件を満たす432人について、個別支援計画の作成過程を示したものが表Ⅱ－４である。

①「策定にあたり本人に希望を聞く」が218人（50.5%）、②「策定会議に本人が参加」が31人（7.2%）、③「策定後、本人に説明し同意を得る」が203人（47.0%）である。

表Ⅱ－4：障がい種類別　個別支援計画の作成過程（地域移行が明記されている人）

			対象者数	個別支援計画の作成過程				
				①	②	③	④	⑤
				策定にあたり本人に希望を聞く	策定会議に本人が参加	策定後、本人に説明し同意を得る	策定後、家族に説明し同意を得る	いずれにも該当しない
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	360 100.0%	172 47.8%	26 7.2%	160 44.4%	273 75.8%	12 3.3%
	身体障がい者入所施設	人数	72 100.0%	46 63.9%	5 6.9%	43 59.7%	50 69.4%	1 1.4%
合　　計		人数	432 100.0%	218 50.5%	31 7.2%	203 47.0%	323 74.8%	13 3.0%

実人数　281人

上記(b)①～③を選択した延べ人数は452人であるが、複数回答の設問であるため、上記(b)①～③の条件を満たす実人数を抽出したところ281人であった。（表Ⅱ－5　A＋C）

（ウ）　地域移行希望者

（ア）、（イ）により、地域移行希望者は451人（調査回答者の16.7%）とされる。その内訳は以下の通りである。（下表Ⅱ－5　A＋B＋C）

（ア）.「本人調査票」で本人の地域移行に関する意向が確認された者　256人

うち、個別支援計画に地域移行が明記されている者で表Ⅱ－5におけるA　86人

個別支援計画に地域移行が明記されていない者で表Ⅱ－5におけるB　170人

（イ）.（ア）の条件にはあてはまらないが、地域移行の意向が確認できる者で表Ⅱ－5におけるC　195人

なお、上記（ア）（イ）いずれにも該当しない者が2,243人（下表Ⅱ－5　D）である。

表Ⅱ－5：地域移行希望者の内訳

本人調査票 ＼ 支援者調査票		本人の地域移行に関する意思 あり	本人の地域移行に関する意思 なし	合計
本人同意のある地域移行を明記した個別支援計画の作成	あり	A　86人（3.2%）	C　195人（7.2%）	281人（10.4%）
	なし	B　170人（6.3%）	D　2,243人（83.3%）	2,413人（89.6%）
合　　計		256人（9.5%）	2,438人（90.5%）	2,694人（100.0%）

（2） ＡＢＣＤ群の概観

- 本人用調査、支援者用調査の回答を分析した結果、表Ⅱ－5においてＡＢＣＤの4つにわけたが、ＡＢＣＤ各群の対象者の概観について述べる。
- なお、地域移行が進まない要因については、「8．地域移行が進まない要因」にて詳しく考察する。

Ａ群：「地域移行希望あり、移行計画明記あり」群
（86人：知的障がい者施設利用者75人・身体障がい者施設利用者11人）
・本人が地域移行の意思を表明し、支援者も本人の意思を確認したうえで個別支援計画に地域移行を明記している。

Ｂ群：「地域移行希望あり、移行計画明記なし」群
（170人：知的障がい者施設利用者130人・身体障がい者施設利用者40人）
・本人は地域移行の意思を表明しているが、支援者が地域移行への取り組みをしていないか、支援者が地域移行に向けた取り組みはしているが本人の意思確認をしていない。

Ｃ群：「地域移行希望なし、移行計画明記あり」群
（195人：知的障がい者施設利用者148人、身体障がい者施設利用者47人）
・今回の調査では本人の地域移行の意思は確認されなかった（「今の施設」「別の施設」「これからどこで暮らせばよいかわからない」を選択）が、支援者は本人の意思を確認したうえで個別支援計画に地域移行を明記している。

Ｄ群：「地域移行希望なし、移行計画明記なし」群
（2,243人：知的障がい者施設利用者1,478人、身体障がい者施設利用者765人）
・本人は地域移行への意思を表明しておらず、支援者も地域移行に向けた取り組みをしていないか、地域移行に向けた取り組みはしているが本人の意思確認をしていない。最も対象者が多いが、多様な要因が絡み合っており、要因の関連性などを分析しながら、支援についての検討が必要とされる。

上述のとおり、地域移行希望者は451人である。

ただし、以下の分析においては、本人の思いやニーズ、支援者のアセスメント等の様々な要因に対して、「本人の地域移行に関する意思の有無」が関連しているのか、それとも「本人同意のある地域移行を明記した個別支援計画の作成の有無」が関連しているのかを明らかにすることが重要である。そのうえで、本人の希望を具体化していくための支援あるいは地域移行を明記した個別支援計画作成に向けた支援を検討するという目的のため、次のように群にわけて分析をすすめることとする。

本人が地域移行の意思を表明した人（Ａ群、Ｂ群）を「地域移行希望あり」群、今回の調査では地域移行の意思が確認されなかったり地域移行への意思を表明していない人（Ｃ群、Ｄ群）を「地域移行希望なし」群とする。

また、個別支援計画に地域移行が明記されている人（Ａ群、Ｃ群）を「移行計画明記あり」群、明記されていない人（Ｂ群、Ｄ群）を「移行計画明記なし」群とする。

＜参考＞

施設における個別支援計画の作成状況を示したものが表である。

知的障がい者入所施設、身体障がい者入所施設ともにほぼ作成されている。少数ではあるが作成されていない場合もあり、支援者用調査票問11でその理由を調査したところ、「その他」を選んだ人がほとんどで、具体的理由として入所して間もないことや、作成のため現在検討中ということが記入されている。

表：障がい種類別　個別支援計画の有無

			個別支援計画作成			合計
			作成している	作成していない	不明	
施設種別	知的障がい者入所施設	人数	1815 99.1%	12 0.7%	4 0.2%	1,831 100.0%
	身体障がい者入所施設	人数	843 97.7%	18 2.1%	2 0.2%	863 100.0%
合　　計		人数	2658 98.7%	30 1.1%	6 0.2%	2,694 100.0%

2　地域移行希望者の特性

- 年齢・性別・障がい種別等は、支援者用調査票の問1～問8（以下、「支問」とする）に設定している。
- ＡＢＣＤ群それぞれの特徴を捉えるために、性別、年齢、入所期間、障がい程度などとクロス集計を行う。
- なお、以下、ＡＢＣＤ群による分析のうち、知的障がい者施設利用者のデータを「－１（例Ａ－１）」、身体障がい者施設利用者のデータを「－２（例Ａ－２）」と表現する。

表Ⅱ－６　ＡＢＣＤ群別　性別

	性　別			合　計
	男　性	女　性	不　明	
Ａ：地域移行希望あり・移行計画明記あり	57 (66.3%)	27 (31.4%)	2 (2.3%)	86 (100.0%)
Ｂ：地域移行希望あり・移行計画明記なし	101 (59.4%)	69 (40.6%)	0 (0.0%)	170 (100.0%)
Ｃ：地域移行希望なし・移行計画明記あり	129 (66.2%)	66 (33.8%)	0 (0.0%)	195 (100.0%)
Ｄ：地域移行希望なし・移行計画明記なし	1,413 (63.0%)	825 (36.8%)	5 (0.2%)	2,243 (100.0%)
合　　計	1,700 (63.1%)	987 (36.6%)	7 (0.3%)	2,694 (100.0%)

表Ⅱ－７　ＡＢＣＤ群別　年齢（年代）

	年齢（年代）							合　計
	10歳代 (～19歳)	20歳代 (20～29歳)	30歳代 (30～39歳)	40歳代 (40～49歳)	50歳代 (50～59歳)	60歳以上	不　明	
Ａ：地域移行希望あり・移行計画明記あり	2 (2.3%)	9 (10.5%)	19 (22.1%)	25 (29.1%)	15 (17.4%)	14 (16.3%)	2 (2.3%)	86 (100.0%)
Ｂ：地域移行希望あり・移行計画明記なし	1 (0.6%)	21 (12.4%)	39 (22.9%)	32 (18.8%)	41 (24.1%)	31 (18.2%)	5 (2.9%)	170 (100.0%)
Ｃ：地域移行希望なし・移行計画明記あり	3 (1.5%)	22 (11.3%)	42 (21.5%)	56 (28.7%)	36 (18.5%)	34 (17.4%)	2 (1.0%)	195 (100.0%)
Ｄ：地域移行希望なし・移行計画明記なし	6 (0.3%)	285 (12.7%)	704 (31.4%)	470 (21.0%)	380 (16.9%)	370 (16.5%)	28 (1.2%)	2,243 (100.0%)
合　　計	12 (0.4%)	337 (12.5%)	804 (29.8%)	583 (21.6%)	472 (17.5%)	449 (16.7%)	37 (1.4%)	2,694 (100.0%)

表Ⅱ－8　ＡＢＣＤ群別　入所期間

	入所期間						合　計
	1年未満	1～2年	3～4年	5～9年	10年以上	不　明	
A：地域移行希望あり・移行計画明記あり	8 (9.3%)	8 (9.3%)	11 (12.8%)	25 (29.1%)	32 (37.2%)	2 (2.3%)	86 (100.0%)
B：地域移行希望あり・移行計画明記なし	7 (4.1%)	13 (7.6%)	31 (18.2%)	64 (37.6%)	51 (30.0%)	4 (2.4%)	170 (100.0%)
C：地域移行希望なし・移行計画明記あり	12 (6.2%)	14 (7.2%)	25 (12.8%)	49 (25.1%)	94 (48.2%)	1 (0.5%)	195 (100.0%)
D：地域移行希望なし・移行計画明記なし	105 (4.7%)	150 (6.7%)	267 (11.9%)	757 (33.7%)	933 (41.6%)	31 (1.4%)	2,243 (100.0%)
合　計	132 (4.9%)	185 (6.9%)	334 (12.4%)	895 (33.2%)	1,110 (41.2%)	38 (1.4%)	2,694 (100.0%)

表Ⅱ－9　ＡＢＣＤ群別　療育手帳の程度（知的障がい者施設利用者）

	療育手帳の程度				合　計
	A	B1	B2	不　明	
A－1：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	46 61.3%	25 33.3%	1 1.3%	3 4.0%	75 100.0%
B－1：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	95 73.1%	30 23.1%	3 2.3%	2 1.5%	130 100.0%
C－1：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	122 82.4%	22 14.9%	4 2.7%	0 0.0%	148 100.0%
D－1：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,366 92.4%	87 5.9%	5 0.3%	20 1.4%	1,478 100.0%
合　計	1,629 89.0%	164 9.0%	13 0.7%	25 1.4%	1,831 100.0%

- 地域移行希望あり（ＡＢ）群に比べて、地域移行希望なし（ＣＤ）群のほうが療育手帳A（重度）の割合が高い。

表Ⅱ－10　ＡＢＣＤ群別　身体障がい者手帳の程度（身体障がい者施設利用者）

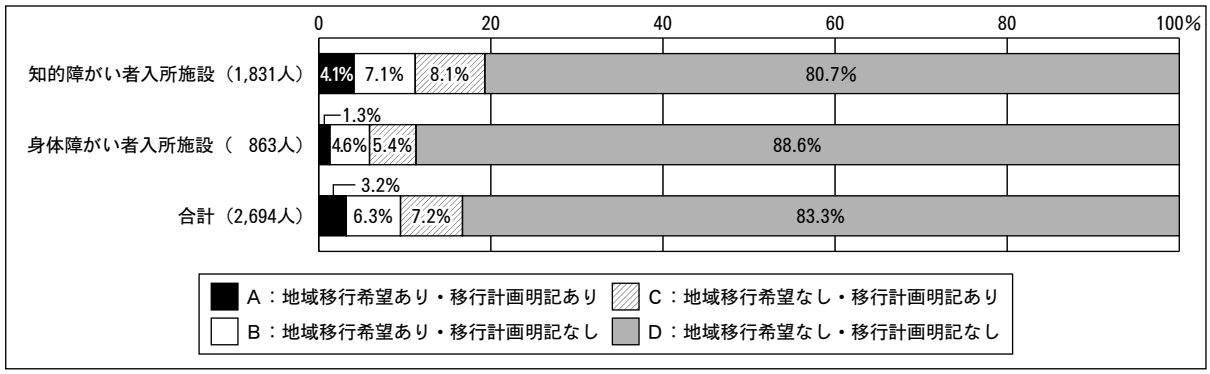
	身体障がい者手帳の程度						合　計
	1　級	2　級	3　級	4　級	5　級	不　明	
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	7 63.6%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
B－2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	30 75.0%	8 20.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	40 100.0%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	26 55.3%	13 27.7%	0 0.0%	5 10.6%	0 0.0%	3 6.4%	47 100.0%
D－2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	534 69.8%	206 26.9%	15 2.0%	7 0.9%	1 0.1%	2 0.3%	765 100.0%
合　計	597 69.2%	231 26.8%	16 1.9%	12 1.4%	1 0.1%	6 0.7%	863 100.0%

- 移行計画明記あり（ＡＣ）群に比べて、移行計画明記なし（ＢＤ）群の方が手帳の程度で１級の割合が高い。

（1） 地域移行希望者の施設種別ごとの集計

- 施設種別ごとにＡＢＣＤ群の比率を集計したものが、図Ⅱ－１である。

図Ⅱ－１：施設種別×地域移行希望者の比率



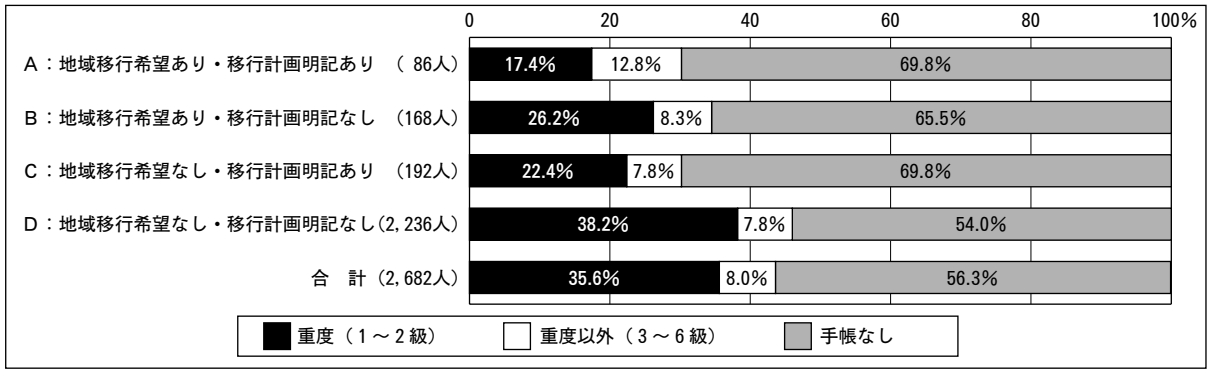
- 地域移行希望者と定義したABC群が占める割合は、知的障がい者施設利用者の方が身体障がい者施設利用者よりも割合が高い。一方、地域移行希望者に該当しないD群では、身体障がい者施設利用者の方が知的障がい者施設利用者よりも割合が高い。
- ＡＢＣＤ群別に身体障がい者手帳の程度を示したものが表Ⅱ－11である。４群間に差があるかどうかについてクロス集計をもとにカイ２乗検定を行った。身体障がい者手帳制度において重度区分という設定はないものの、一般的に重度障がい者といわれる１、２級と、それ以外の身体障がい者手帳程度と合わせて分布を表す。

表Ⅱ－11　ＡＢＣＤ群別　身体障がい者手帳別集計

	身体障がい者手帳の程度			合　計
	重度（１～２級）	重度以外（３～６級）	手帳なし	
A：地域移行希望あり・移行計画明記あり	15 17.4%	11 12.8%	60 69.8%	86 100.0%
B：地域移行希望あり・移行計画明記なし	44 26.2%	14 8.3%	110 65.5%	168 100.0%
C：地域移行希望なし・移行計画明記あり	43 22.4%	15 7.8%	134 69.8%	192 100.0%
D：地域移行希望なし・移行計画明記なし	854 38.2%	175 7.8%	1,207 54.0%	2,236 100.0%
合　　計	956 35.6%	215 8.0%	1,511 56.3%	2,682 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	＊＊＊

図Ⅱ－２：ＡＢＣＤ群別　身体障がい者手帳別集計



- これによると、移行計画が明記されている（ＡＣ）群よりも、移行計画が明記されていない（ＢＤ）群の方が、重度の人の割合が高い。身体障がい者手帳の程度が重度であっても地域移行に向けた何ら

かの取り組みが行なわれている現状は読み取れるが、重度障がいという要因が地域移行に向けた取り組みに対してマイナスに働いていることがうかがえる。

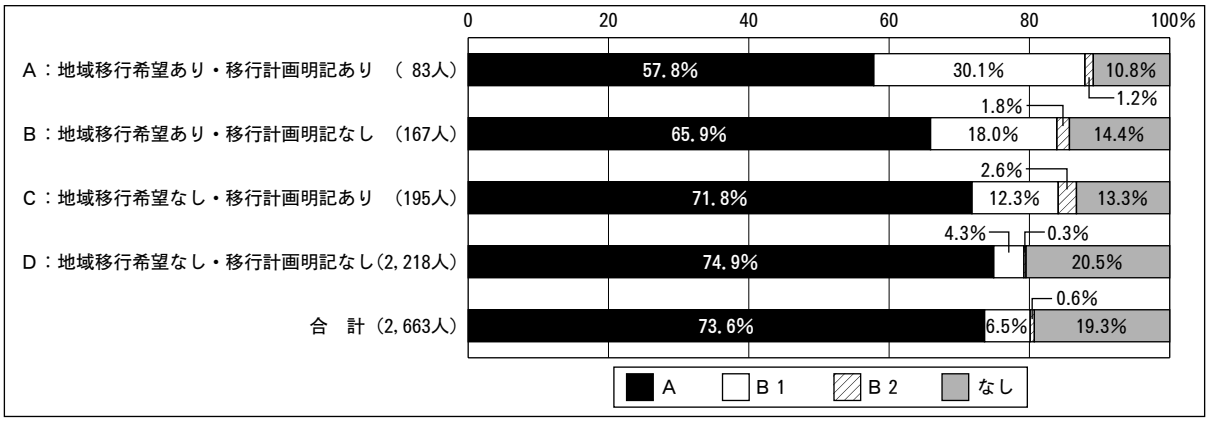
- ＡＢＣＤ群別に療育手帳の程度を示したものが表Ⅱ－12である。４群間に差があるかどうかを確かめるためにクロス集計をもとにカイ２乗検定を行ったところ、統計的に有意な関連が見られた。
- いずれの群においても、重度（療育手帳Ａ）の人が過半数を占めている。身体障がいと同様に知的な障がいが重度であっても地域移行に向けた何らかの取り組みがなされていることが読み取れる。
- ＤＣＢＡの順に重度（療育手帳Ａ）の人の割合が多く、逆にＡＢＣＤの順に中度（療育手帳Ｂ１）の割合が多くなっている。

表Ⅱ－12　ＡＢＣＤ群別　療育手帳程度別集計

	療育手帳の程度				合　計
	Ａ	Ｂ１	Ｂ２	なし	
Ａ：地域移行希望あり、移行計画明記あり	48 57.8%	25 30.1%	1 1.2%	9 10.8%	83 100.0%
Ｂ：地域移行希望あり、移行計画明記なし	110 65.9%	30 18.0%	3 1.8%	24 14.4%	167 100.0%
Ｃ：地域移行希望なし、移行計画明記あり	140 71.8%	24 12.3%	5 2.6%	26 13.3%	195 100.0%
Ｄ：地域移行希望なし、移行計画明記なし	1,662 74.9%	95 4.3%	7 0.3%	454 20.5%	2,218 100.0%
合　　計	1,960 73.6%	174 6.5%	16 0.6%	513 19.3%	2,663 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	＊＊＊

図Ⅱ－３：ＡＢＣＤ群別　療育手帳程度別集計



（２）　地域移行希望者の入所前の生活歴

①　生活場所とグループホームの影響

- 本調査では、地域移行への意思形成について、地域生活の経験やグループホーム体験等の入所前の生活歴がどれだけの影響を与えているかを見るために支問７～８を設定している。

支問７　ご本人が施設に入所される直前は、どこで生活されていましたか。該当するものに○をつけて下さい（○は一つ）。
支問８　ご本人が施設に入所される直前は、日中は何をされていましたか。該当するものに○をつけて下さい（○は一つ）。

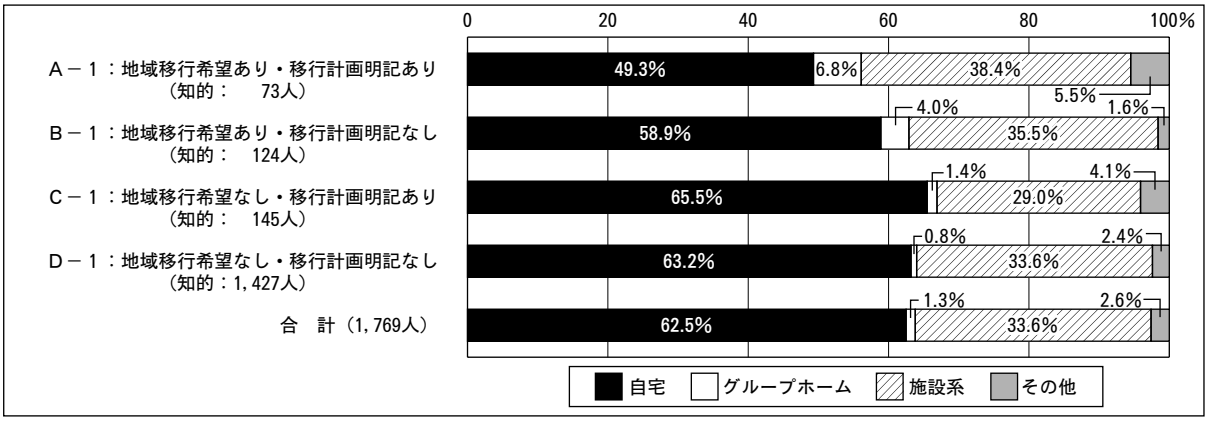
- 単純集計については、P.10 表Ⅰ－８、P.11 表Ⅰ－10に掲載しているが、ここでは「他の入所施設」「入院」「児童施設」を「施設系」として集計しグラフ化した。

・　知的障がい者施設利用者全体では、「自宅」が62.5%、「グループホーム」が1.3%、「施設系」が33.6%、「その他」が2.6%となっている（図Ⅱ－４）。

ＡＢＣＤ群ごとでは、A群が他の群に比べて自宅で暮らしていた人の割合が少なく、グループホームで生活していた人の割合が高い（表Ⅱ－13）。

・　グループホームで生活していた人の割合がA群に多いことは、次のグループホーム入居経験（図Ⅱ－５）でも確認できる。全体平均では2.4%であるのに対して、A群では9.3%と高い値となっている。

図Ⅱ－４：ＡＢＣＤ群別　入所前生活場所（知的障がい者施設利用者）

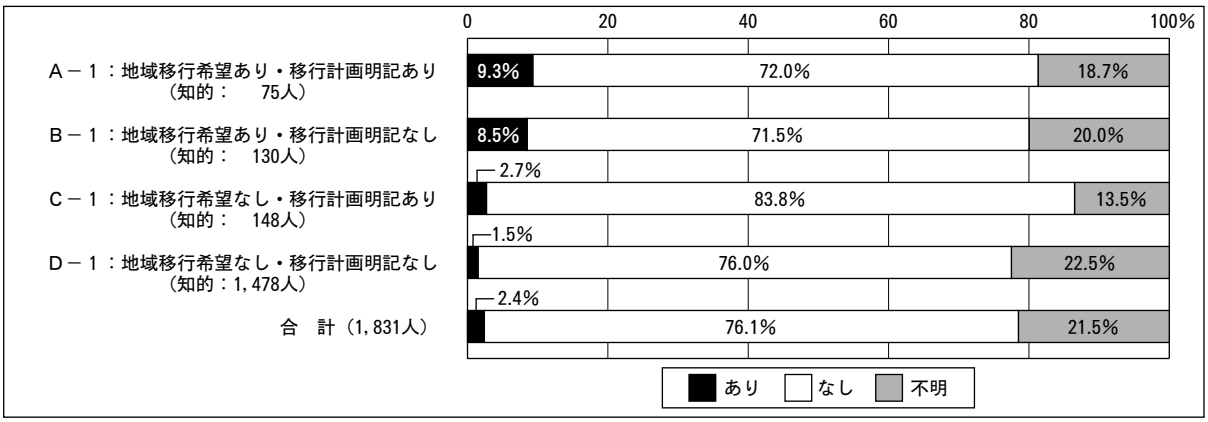


表Ⅱ－13　ＡＢＣＤ群別　入所前生活場所（知的障がい者施設利用者）

	入所前生活場所				合　計
	自宅	グループホーム	施設系	その他	
A－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	36 49.3%	5 6.8%	28 38.4%	4 5.5%	73 100.0%
B－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	73 58.9%	5 4.0%	44 35.5%	2 1.6%	124 100.0%
C－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	95 65.5%	2 1.4%	42 29.0%	6 4.1%	145 100.0%
D－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	902 63.2%	11 0.8%	480 33.6%	34 2.4%	1,427 100.0%
合　　計	1,106 62.5%	23 1.3%	594 33.6%	46 2.6%	1,769 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	＊＊＊

図Ⅱ－５：ＡＢＣＤ群別　グループホーム入居経験（知的障がい者施設利用者）

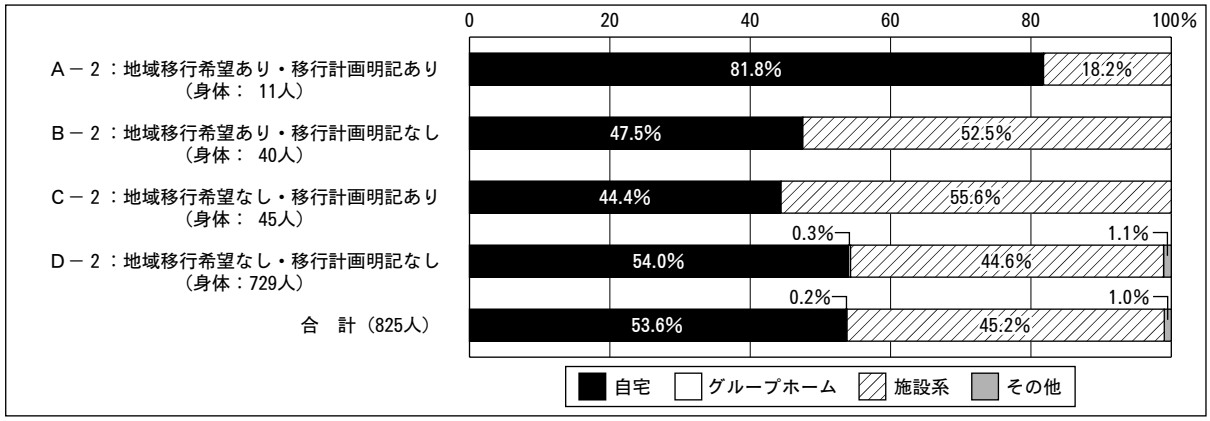


・　身体障がい者施設利用者全体では、「自宅」が53.6%、「グループホーム」が0.2%、「施設系」が45.2%となっている。

・　ＡＢＣＤ群ごとでは、Ａ群の母数が少ないため偏りがみられるかもしれないが、Ａ群では自宅で暮らしていた人が８割を超えている。他のＢＣＤ群では、いずれも自宅と施設系との割合がほぼ５割ずつである（図Ⅱ－６）。

・　知的障がい者施設利用者にみられたような、Ａ群にグループホーム入居経験者の割合が高いという傾向は、身体障がい者施設利用者には認められない（図Ⅱ－７）。

図Ⅱ－６：ＡＢＣＤ群別　入所前生活場所（身体障がい者施設利用者）

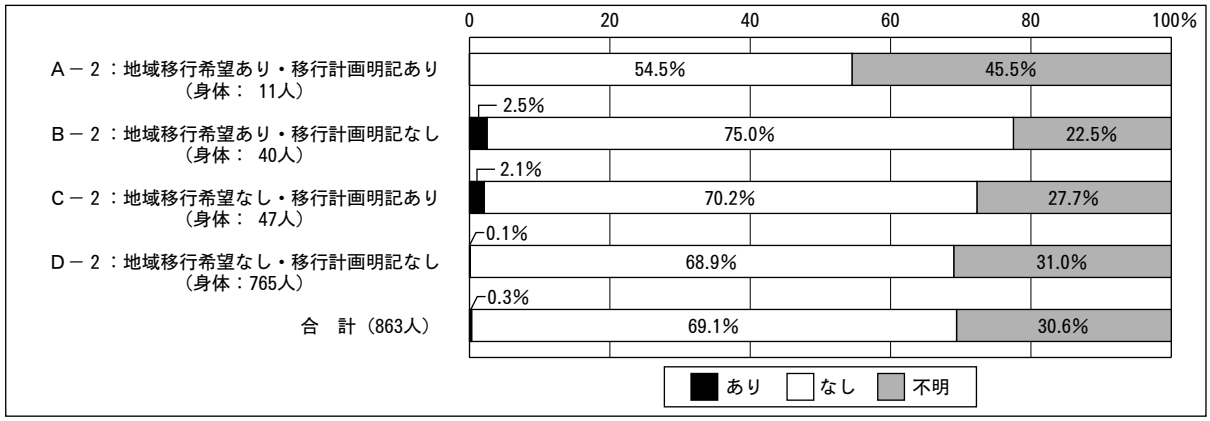


表Ⅱ－14　ＡＢＣＤ群別　入所前生活場所（身体障がい者施設利用者）

	入所前生活場所				合　計
	自宅	グループホーム	施設系	その他	
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	9 81.8%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	19 47.5%	0 0.0%	21 52.5%	0 0.0%	40 100.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	20 44.4%	0 0.0%	25 55.6%	0 0.0%	45 100.0%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	394 54.0%	2 0.3%	325 44.6%	8 1.1%	729 100.0%
合　　計	442 53.6%	2 0.2%	373 45.2%	8 1.0%	825 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	－

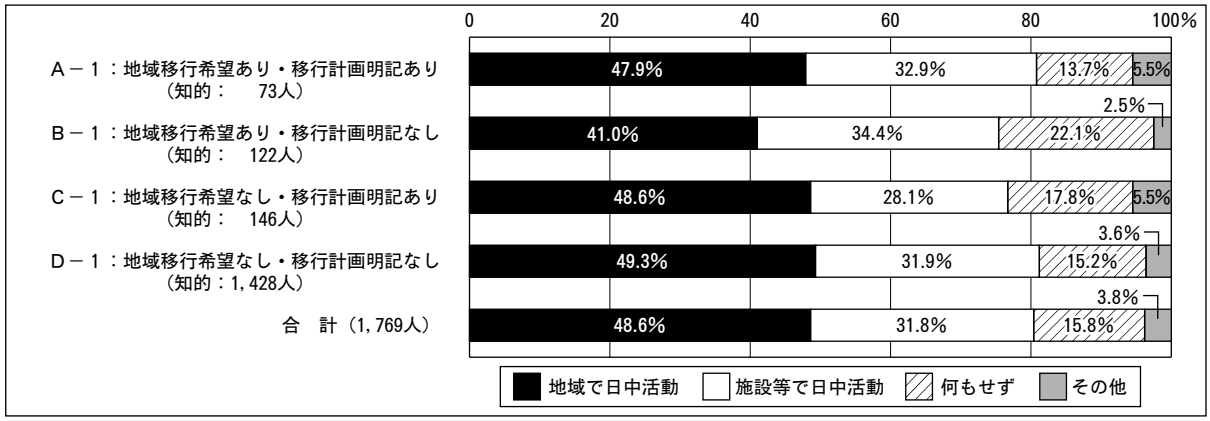
図Ⅱ－７：ＡＢＣＤ群別　グループホーム入居経験（身体障がい者施設利用者）



② 入所前の日中活動経験の影響

- 入所前の日中活動経験を地域系と施設系に区分し、「①働いていた」「②作業所などに通所していた」「④学校に通っていた」を「地域系」に、「③他の入所施設（成人）で活動していた」「⑤入院して治療を受けていた」「⑥児童施設で活動していた」を「施設系」に分類しグラフ化したものが図Ⅱ－８、９である。
- 知的障がい者施設利用者全体では、「地域系」は48.6%、「施設系」は31.8%、「何もしていない」が15.8%である。ＡＢＣＤ群で有意な差は見られない（表Ⅱ－８）。
- 身体障がい者施設利用者全体では、「地域系」は26.2%、「施設系」は42.1%、「何もしていない」が29.2%である。ＡＢＣＤ群で有意な差は見られない（表Ⅱ－９）。

図Ⅱ－８：ＡＢＣＤ群別　入所前日中活動（知的障がい者施設利用者）

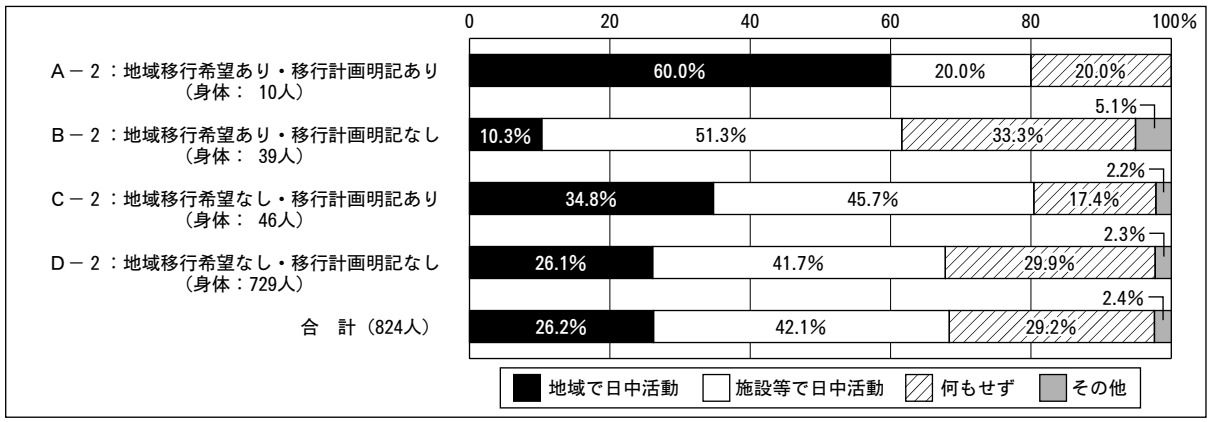


表Ⅱ－15　ＡＢＣＤ群別　入所前日中活動（知的障がい者施設利用者）

	入所前日中活動				合　計
	地域で日中活動	施設等で日中活動	何もせず	その他	
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	35 47.9%	24 32.9%	10 13.7%	4 5.5%	73 100.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	50 41.0%	42 34.4%	27 22.1%	3 2.5%	122 100.0%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	71 48.6%	41 28.1%	26 17.8%	8 5.5%	146 100.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	704 49.3%	455 31.9%	217 15.2%	52 3.6%	1,428 100.0%
合　　計	860 48.6%	562 31.8%	280 15.8%	67 3.8%	1,769 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	－

図Ⅱ－９：ＡＢＣＤ群別　入所前日中活動（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－16　ＡＢＣＤ群別　入所前日中活動（身体障がい者施設利用者）

	入所前日中活動				合計
	地域で日中活動	施設等で日中活動	何もせず	その他	
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	6 60.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	4 10.3%	20 51.3%	13 33.3%	2 5.1%	39 100.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	16 34.8%	21 45.7%	8 17.4%	1 2.2%	46 100.0%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	190 26.1%	304 41.7%	218 29.9%	17 2.3%	729 100.0%
合　　計	216 26.2%	347 42.1%	241 29.2%	20 2.4%	824 100.0%

ＡＢＣＤ群間の有意水準	－

3　施設利用者の思い

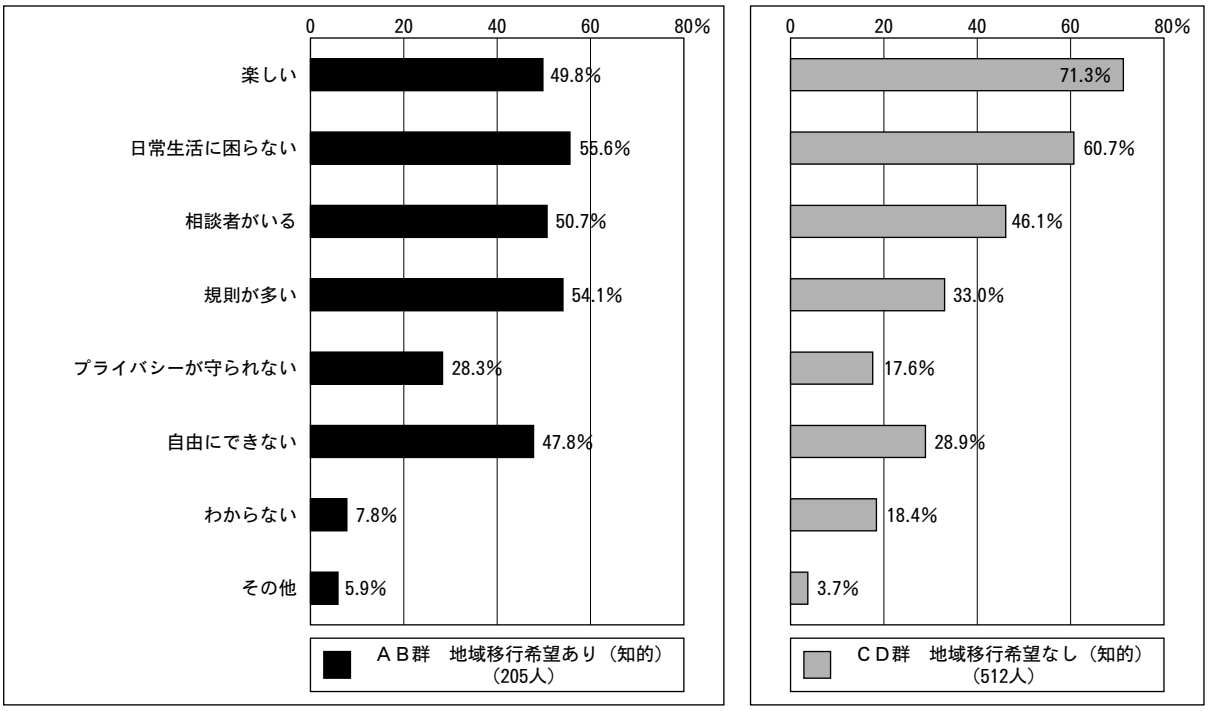
（1）　今の施設での暮らしについて

- 施設利用者が今の施設での暮らしについてどのような感想を抱いているのかを知るために本人用調査票問（以下本問とする）２を設けている。

> **本問２　今の施設での暮らしについて、あなたが思っていることに、いくつでも○をつけてください。**

- 知的障がい者施設利用者全体では、「楽しい」（65.1%）、「日常生活に困らない」（59.3%）、「相談者がいる」（47.4%）が高い（表Ⅱ－17）。
- 身体障がい者施設利用者全体では、「日常生活に困らない」（70.2%）、「相談者がいる」（50.4%）、「楽しい」（49.2%）が高い（表Ⅱ－18）。
- 地域移行希望の有無と、今の施設での暮らしについての感想との関連では、障がい種別に関わらず、以下のような特徴が見られる。
- 地域移行希望あり（ＡＢ）群の方が地域移行希望なし（ＣＤ）群に比べて、「いろいろな規則が多い」、「プライバシーが守られない」、「自分のしたいことを自由にできない」を選んだ人の割合が高く、地域移行を希望している人の方がこうした感想をもつことが多い。
- 地域移行希望なし（ＣＤ）群の方が地域移行希望あり（ＡＢ）群に比べて「楽しい」を選んだ人の割合が高く、地域移行を希望している人よりも希望していない人の方が施設生活を楽しいと思っている人の割合が高い。

図Ⅱ－10：ＡＢ－ＣＤ群別　今の施設での暮らしについて（知的障がい者施設利用者）

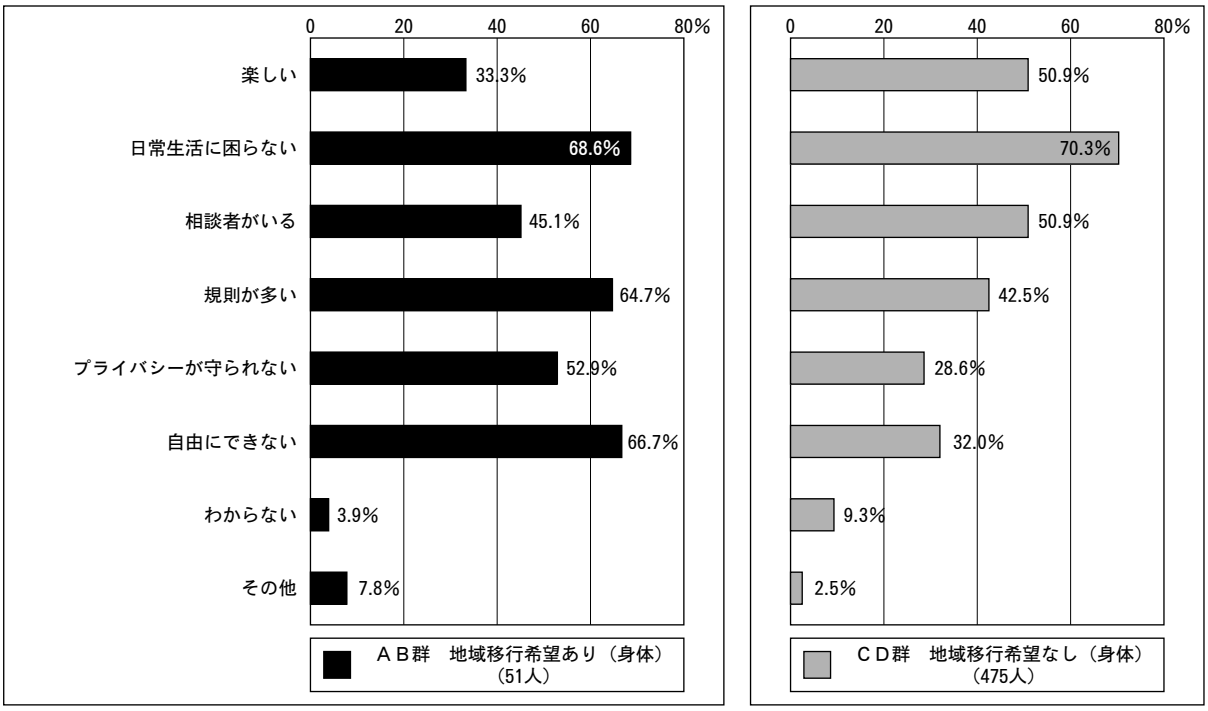


表Ⅱ－17　ＡＢ－ＣＤ群別　今の施設での暮らしについて（知的障がい者施設利用者）

	対象者	楽しい	日常生活に困らない	相談者がいる	規則が多い	プライバシーが守られない	自由にできない	わからない	その他
ＡＢ群	205	102	114	104	111	58	98	16	12
地域移行希望あり（知的）	100.0%	49.8%	55.6%	50.7%	54.1%	28.3%	47.8%	7.8%	5.9%
ＣＤ群	512	365	311	236	169	90	148	94	19
地域移行希望なし（知的）	100.0%	71.3%	60.7%	46.1%	33.0%	17.6%	28.9%	18.4%	3.7%
合計	717	467	425	340	280	148	246	110	31
	100.0%	65.1%	59.3%	47.4%	39.1%	20.6%	34.3%	15.3%	4.3%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊＊＊	－	－	＊＊＊	＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－11：ＡＢ－ＣＤ群別　今の施設での暮らしについて（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－18　ＡＢ－ＣＤ群別　今の施設での暮らしについて（身体障がい者施設利用者）

	対象者	楽しい	日常生活に困らない	相談者がいる	規則が多い	プライバシーが守られない	自由にできない	わからない	その他
ＡＢ群	51	17	35	23	33	27	34	2	4
地域移行希望あり（身体）	100.0%	33.3%	68.6%	45.1%	64.7%	52.9%	66.7%	3.9%	7.8%
ＣＤ群	475	242	334	242	202	136	152	44	12
地域移行希望なし（身体）	100.0%	50.9%	70.3%	50.9%	42.5%	28.6%	32.0%	9.3%	2.5%
合計	526	259	369	265	235	163	186	46	16
	100.0%	49.2%	70.2%	50.4%	44.7%	31.0%	35.4%	8.7%	3.0%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊	－	－	＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－	＊

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

（2） 施設を出て暮らすことについて

・　施設を出て暮らすことについて、施設利用者がどのように感じたり思ったりしているかを知るために、本問3を設けている。

本問3　施設を出て暮らすことについて、あなたが感じたり、思ったりすることはどのようなことですか？
（複数回答可）

表Ⅱ－19：施設種別×施設を出て暮らすことについて（全体）

	対象者	困ることはない	楽しそう	支えてくれる人がいて安心	なんとか暮らしていけそう	相談する人がいなくなり困りそう	日中活動や仕事が見つかるか心配	家族が心配するから退所したくない	自信がない	自分のお金で生活できるか心配	家事援助で困る	身体介護で困る	診てくれる病院があるか心配	わからない
合計（全体）	1,243	211	445	258	296	475	450	439	538	592	646	548	441	213
	100.0%	17.0%	35.8%	20.8%	23.8%	38.2%	36.2%	35.3%	43.3%	47.6%	52.0%	44.1%	35.5%	17.1%
知的障がい者入所施設	717	149	292	178	188	271	264	215	244	306	301	192	220	155
	100.0%	20.8%	40.7%	24.8%	26.2%	37.8%	36.8%	30.0%	34.0%	42.7%	42.0%	26.8%	30.7%	21.6%
身体障がい者入所施設	526	62	153	80	108	204	186	224	294	286	345	356	221	58
	100.0%	11.8%	29.1%	15.2%	20.5%	38.8%	35.4%	42.6%	55.9%	54.4%	65.6%	67.7%	42.0%	11.0%
知的－身体（障がい種別による有意水準）		＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊	－	－	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊

- 知的障がい者施設利用者全体の傾向をみると、「自分のお金で生活できるか心配」（42.7%）、「調理、掃除、洗濯等（家事援助）で困る」（42.0%）、「相談する人がいなくなり困りそう」（37.8%）が高い。
- 一方、身体障がい者施設利用者全体の傾向をみると、「食事、入浴、排泄など（身体介護）で困る」（67.7%）、「調理、掃除、洗濯等（家事援助）で困る」（65.6%）、「自信がない」（55.9%）が高い（表Ⅱ－19）。
- 障がい種別によって、本人が施設を出て暮らすことについて抱く思いに差があるかどうかを調べた。
- その結果、身体障がい者施設利用者の方が知的障がい者施設利用者よりも、「食事、入浴、排泄など（身体介護）で困る」、「調理、掃除、洗濯等（家事援助）で困る」、「自信がない」、「家族が心配するから退所したくない」、「自分のお金で生活できるか心配」、「診てくれる病院があるか心配」という点で困難や不安を感じていることがわかる。
- 「わからない」については、知的障がい者施設利用者の方が選択した人の割合が高い。
- 「相談する人がいなくなり困りそう」、「日中活動の場がみつかるか心配」の 2 項目については、障がい種別を問わず、どちらの利用者も不安や心配を抱いていることがわかる。

知的障がい者施設利用者と身体障がい者施設利用者のどちらも施設以外での生活について心配や不安を抱えているが、身体障がい者施設利用者の方がより具体的なことで困ると感じている。一方、知的障がい者施設利用者は地域移行のイメージの不十分さから「わからない」という回答が多くなったと考えられる。

- 図Ⅱ－12、13、表Ⅱ－20、21は、地域移行希望の有無、個別支援計画への地域移行支援明記の有無によって、施設を出て暮らすことについての不安や心配に差があるかどうかをみたものである。
- 個別支援計画への地域移行支援明記の有無との関連については、知的障がい者施設利用者では、移行計画明記なし（ＢＤ）群の方が移行計画明記あり（ＡＣ）群よりも「自信がない」、「調理、掃除、洗濯（家事援助）などで困る」、「食事、入浴、排泄（身体介護）などで困る」の各項目を選んだ人の割合が有意に高い。
- 身体障がい者施設利用者では、移行計画明記なし（ＢＤ）群の方が移行計画明記あり（ＡＣ）群よりも「食事、入浴、排泄（身体介護）などで困る」の項目を選んだ人の割合が有意に高いことがわかる。

知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者とも、本人が地域移行へ積極的であれば個別支援計画で地域移行が目標とされやすく、自信のなさや家事援助や介護支援の必要度や期待度が高いと目標とはされにくい。

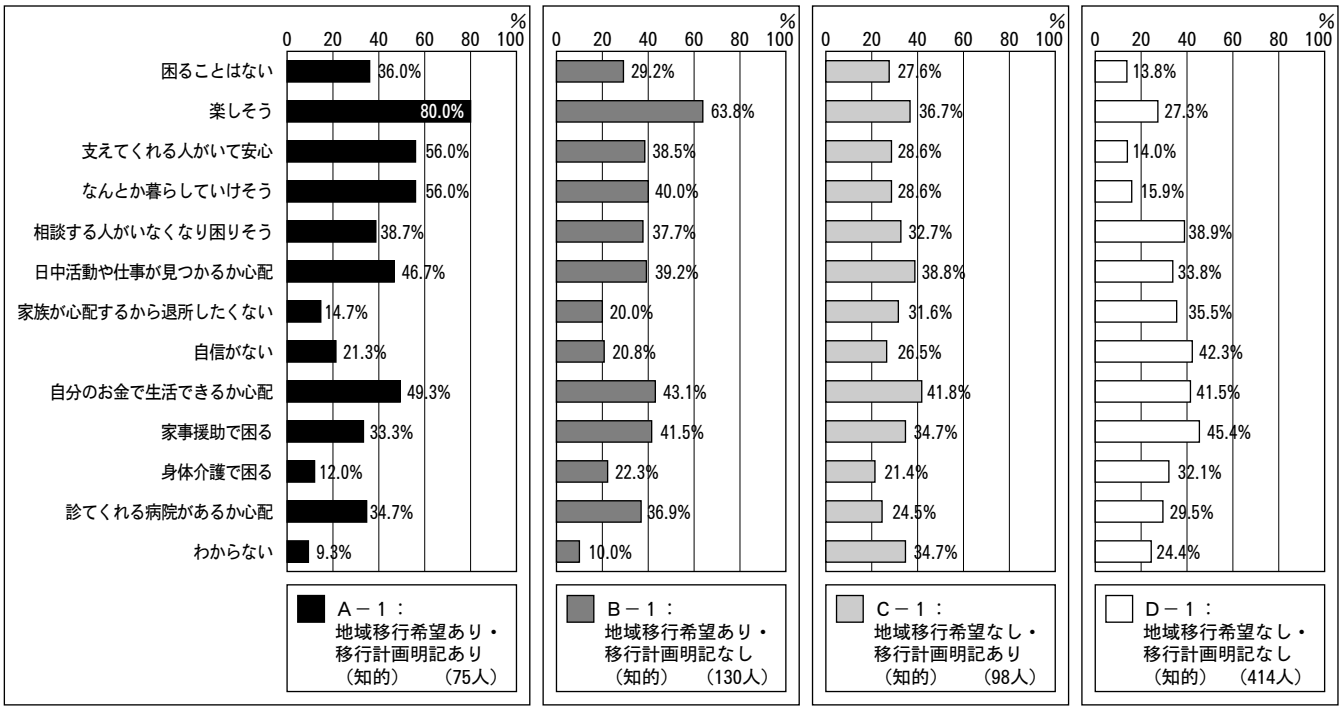
- また、表Ⅱ－20、21から、知的障がい者施設利用者のＡ群では、「楽しそう」と地域移行の具体化に伴う期待感が増加する一方、支えてくれる人、金銭面、及び日中活動等に対する地域移行後の不安も増加している状況が読み取れる。身体障がい者施設利用者のＡ群についても「なんとか暮らせそう」と期待を抱きつつも、支えてくれる人、金銭面、及び日中活動等に対する不安がある。地域移行の希望があり、計画に地域移行が明記されている群でも、地域移行に対して不安を抱いていることが分かる。

（3） 地域移行の意思形成に不安を与えている要因について

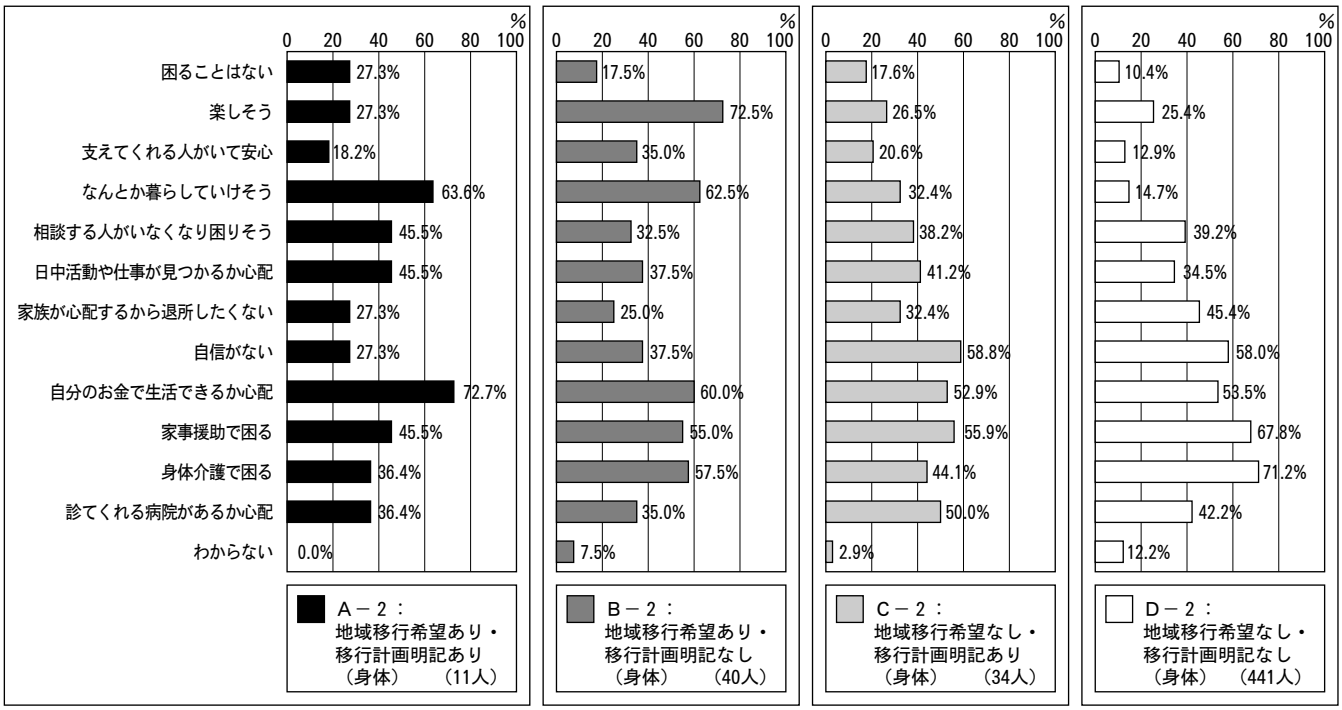
- 地域移行希望なし（ＣＤ）群と地域移行希望あり（ＡＢ）群で回答に差のある項目は、地域移行希望なし（ＣＤ）群が、地域移行に消極的になっている不安要因を反映している項目と考えられる。
- 不安要因を探り出し、その不安要因を軽減できれば、地域移行希望なし（ＣＤ）群を地域移行希望あり（ＡＢ）群へと変容させることができるのではないか。こうした仮説のもとに、以下に地域移行希望なし（ＣＤ）群の回答が地域移行希望あり（ＡＢ）群を上回っている項目について、知的障がい者、身体障がい者施設利用者ごとに取り上げる。
- 知的障がい者施設利用者では、地域移行希望なし（ＣＤ）群の方が希望あり（ＡＢ）群よりも「家族が心配するから退所したくない」、「自信がない」、「食事、入浴、排泄など（身体介護）で困る」傾向が高いことがわかる（表Ⅱ－20）。
- こうした点から、地域移行の希望の有無は、本人の自信の有無、家族の意向や介護面での心配の程度と密接な関連のあることが示唆される。身体障がい者施設利用者についても、同様の結果となっている（表Ⅱ－21）。

障がいを問わず、地域移行の推進には、家族の不安や心配を軽減するような仕組みや、本人がエンパワメントできるような支援、介護支援の充実などが重要であると考えられる。

図Ⅱ－12：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについて（知的障がい者施設利用者）



図Ⅱ－13：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについて（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－20：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについて（知的障がい者施設利用者）

	対象者	困ることはない	楽しそう	支えてくれる人がいて安心	なんとか暮らしていけそう	相談する人がいなくなり困りそう	日中活動や仕事が見つかるか心配	家族が心配するから退所したくない	自信がない	自分のお金で生活できるか心配	家事援助で困る	身体介護で困る	診てくれる病院があるか心配	わからない
合計（知的）	717	149	292	178	188	271	264	215	244	306	301	192	220	155
	100.0%	20.8%	40.7%	24.8%	26.2%	37.8%	36.8%	30.0%	34.0%	42.7%	42.0%	26.8%	30.7%	21.6%
A−1：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	27	60	42	42	29	35	11	16	37	25	9	26	7
	100.0%	36.0%	80.0%	56.0%	56.0%	38.7%	46.7%	14.7%	21.3%	49.3%	33.3%	12.0%	34.7%	9.3%
B−1：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	38	83	50	52	49	51	26	27	56	54	29	48	13
	100.0%	29.2%	63.8%	38.5%	40.0%	37.7%	39.2%	20.0%	20.8%	43.1%	41.5%	22.3%	36.9%	10.0%
C−1：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	27	36	28	28	32	38	31	26	41	34	21	24	34
	100.0%	27.6%	36.7%	28.6%	28.6%	32.7%	38.8%	31.6%	26.5%	41.8%	34.7%	21.4%	24.5%	34.7%
D−1：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	57	113	58	66	161	140	147	175	172	188	133	122	101
	100.0%	13.8%	27.3%	14.0%	15.9%	38.9%	33.8%	35.5%	42.3%	41.5%	45.4%	32.1%	29.5%	24.4%
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	205	65	143	92	94	78	86	37	43	93	79	38	74	20
	100.0%	31.7%	69.8%	44.9%	45.9%	38.0%	42.0%	18.0%	21.0%	45.4%	38.5%	18.5%	36.1%	9.8%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	512	84	149	86	94	193	178	178	201	213	222	154	146	135
	100.0%	16.4%	29.1%	16.8%	18.4%	37.7%	34.8%	34.8%	39.3%	41.6%	43.4%	30.1%	28.5%	26.4%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－	－	＊＊＊	＊＊＊	－	－	＊＊	＊	＊＊＊
AC群 移行計画明記あり（知的）	173	54	96	70	70	61	73	42	42	78	59	30	50	41
	100.0%	31.2%	55.5%	40.5%	40.5%	35.3%	42.2%	24.3%	24.3%	45.1%	34.1%	17.3%	28.9%	23.7%
ＢＤ群 移行計画明記なし（知的）	544	95	196	108	118	210	191	173	202	228	242	162	170	114
	100.0%	17.5%	36.0%	19.9%	21.7%	38.6%	35.1%	31.8%	37.1%	41.9%	44.5%	29.8%	31.3%	21.0%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－	－	－	＊＊	－	＊	＊＊	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

表Ⅱ－21：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについて（身体障がい者施設利用者）

	対象者	困ることはない	楽しそう	支えてくれる人がいて安心	なんとか暮らしていけそう	相談する人がいなくなり困りそう	日中活動や仕事が見つかるか心配	家族が心配するから退所したくない	自信がない	自分のお金で生活できるか心配	家事援助で困る	身体介護で困る	診てくれる病院があるか心配	わからない
合計（身体）	526	62	153	80	108	204	186	224	294	286	345	356	221	58
	100.0%	11.8%	29.1%	15.2%	20.5%	38.8%	35.4%	42.6%	55.9%	54.4%	65.6%	67.7%	42.0%	11.0%
A−2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	3	3	2	7	5	5	3	3	8	5	4	4	0
	100.0%	27.3%	27.3%	18.2%	63.6%	45.5%	45.5%	27.3%	27.3%	72.7%	45.5%	36.4%	36.4%	0.0%
B−2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	7	29	14	25	13	15	10	15	24	22	23	14	3
	100.0%	17.5%	72.5%	35.0%	62.5%	32.5%	37.5%	25.0%	37.5%	60.0%	55.0%	57.5%	35.0%	7.5%
C−2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	6	9	7	11	13	14	11	20	18	19	15	17	1
	100.0%	17.6%	26.5%	20.6%	32.4%	38.2%	41.2%	32.4%	58.8%	52.9%	55.9%	44.1%	50.0%	2.9%
D−2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	46	112	57	65	173	152	200	256	236	299	314	186	54
	100.0%	10.4%	25.4%	12.9%	14.7%	39.2%	34.5%	45.4%	58.0%	53.5%	67.8%	71.2%	42.2%	12.2%
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	51	10	32	16	32	18	20	13	18	32	27	27	18	3
	100.0%	19.6%	62.7%	31.4%	62.7%	35.3%	39.2%	25.5%	35.3%	62.7%	52.9%	52.9%	35.3%	5.9%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	475	52	121	64	76	186	166	211	276	254	318	329	203	55
	100.0%	10.9%	25.5%	13.5%	16.0%	39.2%	34.9%	44.4%	58.1%	53.5%	66.9%	69.3%	42.7%	11.6%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		－	＊＊＊	＊＊	＊＊＊	－	－	＊＊	＊＊	－	＊	＊	－	－
ＡＣ群 移行計画明記あり（身体）	45	9	12	9	18	18	19	14	23	26	24	19	21	1
	100.0%	20.0%	26.7%	20.0%	40.0%	40.0%	42.2%	31.1%	51.1%	57.8%	53.3%	42.2%	46.7%	2.2%
ＢＤ群 移行計画明記なし（身体）	481	53	141	71	90	186	167	210	271	260	321	337	200	57
	100.0%	11.0%	29.3%	14.8%	18.7%	38.7%	34.7%	43.7%	56.3%	54.1%	66.7%	70.1%	41.6%	11.9%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		－	－	－	＊＊	－	－	－	－	－	－	＊＊＊	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

地域移行希望の有無と施設を出て暮らすことについての評価との関連

- 上記では施設を出て暮らすことについての思いを各項目ごとに分析したが、ここでは地域移行希望の有無と、施設を出て暮らすことについての評価との間に関連がみられるかどうかについて検討する。それに先立ち、施設を出て暮らすことの思いに関する項目について、共通の意味によってまとめるために、因子分析の技法を用いることにする。
- 因子分析とは、いくつかの変量間に潜む共通の要因（共通因子）を探り出す手法である。
- 問３の項目を因子分析した。最尤法によりプロマックス回転を行い、さらに、因子負荷量の低い項目を削除して得られた最終的な結果が表Ⅱ－22である。それによると、２因子が抽出された。なお、問３の⑬は、逆転項目としている。

表Ⅱ－22：施設をでることの思い　因子分析表

施設を出ることの思い	第1因子	第2因子
⑩調理、掃除、洗濯などで困る	0.727	－0.112
⑨自分のお金で生活できるか心配	0.670	0.099
⑪食事、入浴、排泄などで困る	0.661	－0.195
⑧自信がない	0.616	－0.177
⑤相談する人がいなくなり困りそう	0.551	0.078
⑫今の病気を定期的に診てくれる病院があるか心配	0.550	0.103
⑥日中活動の場がみつかるか心配	0.512	0.241
⑦家族が心配するから退所したくない	0.492	－0.092
⑬わからない・逆	0.406	0.245
④なんとか暮らしていけそう	0.010	0.663
③支えてくれる人がいるので安心	0.030	0.619
②楽しそう	0.029	0.595
①困ることはない	－0.073	0.544
寄与率	23.673	13.129
累積寄与率	23.673	36.802
解釈	困りごとあり	自信あり
クロンバッハの信頼性係数	0.819	0.701

因子抽出法：最尤法　　回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

- 第1因子は、「調理、掃除、洗濯などで困る」、「自分のお金で生活できるか心配」、「食事、入浴、排泄などで困る」、「自信がない」、「相談する人がいなくなり困りそう」、「今の病気を定期的に診てくれる病院があるか心配」、「日中活動の場がみつかるか心配」、「家族が心配するから退所したくない」、「わからない」の項目が含まれ、施設を出ることについての「困りごとあり」因子（マイナス評価）と解釈される。
- 第2因子は、「なんとか暮らしていけそう」、「支えてくれる人がいるので安心」、「楽しそう」、「困ることはない」の項目が含まれ、「自信あり」因子（プラス評価）と解釈できる。
- それぞれの因子に高い因子負荷量を示す項目について、○がついていれば1点、ついていなければ0点として、個々の対象者におけるそれぞれの項目の点数を加算し、得点とする。
- 施設を出ることのマイナス評価得点は0～9点に分布しているが、これを次のように4つに分類する。マイナス評価得点が0点の場合は「まったくない」、1点～3点の場合は「やや低い」、4～6点の場合は「やや高い」、7～9点の場合は「非常に高い」と分類する。
- プラス評価得点は0～4点に分布しているが、マイナス評価得点と同様に、プラス評価得点が0点の場合は「まったくない」、1点の場合は「やや低い」、2点の場合は「やや高い」、3～4点の場合は「非常に高い」と分類する。

- 以下は、本人の地域移行の希望の有無により、施設を出て暮らすことについて、プラス評価とマイナス評価に差があるかどうかを分析したものである。

表Ⅱ－23：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについてのプラス評価（知的障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのプラス評価				合　計
	まったくない（０点）	やや低い（１点）	やや高い（２点）	非常に高い（３～４点）	
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	32 15.9%	47 23.4%	54 26.9%	68 33.8%	201 100.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	287 57.2%	101 20.1%	57 11.4%	57 11.4%	502 100.0%
合計	319 45.4%	148 21.1%	111 15.8%	125 17.8%	703 100.0%
ＡＢ群－ＣＤ群 （本人希望有無による有意水準）	＊＊＊				

表Ⅱ－24：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについてのマイナス評価（知的障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのマイナス評価				合　計
	まったくない（０点）	やや低い（１～３点）	やや高い（４～６点）	非常に高い（７～９点）	
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	13 6.5%	91 45.3%	76 37.8%	21 10.4%	201 100.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	93 18.5%	169 33.7%	128 25.5%	112 22.3%	502 100.0%
合計	106 15.1%	260 37.0%	204 29.0%	133 18.9%	703 100.0%
ＡＢ群－ＣＤ群 （本人希望有無による有意水準）	＊＊＊				

表Ⅱ－25：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについてのプラス評価（身体障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのプラス評価				合　計
	まったくない（０点）	やや低い（１点）	やや高い（２点）	非常に高い（３～４点）	
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	5 9.8%	19 37.3%	12 23.5%	15 29.4%	51 100.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	288 61.3%	100 21.3%	45 9.6%	37 7.9%	470 100.0%
合計	293 56.2%	119 22.8%	57 10.9%	52 10.0%	521 100.0%
ＡＢ群－ＣＤ群 （本人希望有無による有意水準）	＊＊＊				

表Ⅱ－26：ＡＢＣＤ群別　施設を出て暮らすことについてのマイナス評価（身体障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのマイナス評価				合　計
	まったくない（０点）	やや低い（１～３点）	やや高い（４～６点）	非常に高い（７～９点）	
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	1 2.0%	21 41.2%	16 31.4%	13 25.5%	51 100.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	33 7.0%	101 21.5%	183 38.9%	153 32.6%	470 100.0%
合計	34 6.5%	122 23.4%	199 38.2%	166 31.9%	521 100.0%
ＡＢ群－ＣＤ群 （本人希望有無による有意水準）	＊				

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、地域移行希望あり（ＡＢ）群の方が希望なし（ＣＤ）群よりも、施設を出て暮らすことについてのプラス評価が高く（表Ⅱ－23、25)、肯定的な評価をしやすいという結果になっている。
- 一方、施設を出て暮らすことについてのマイナス評価は、知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、地域移行希望なし（ＣＤ）群の方が希望あり（ＡＢ）群よりも施設を出て暮らすことについてのマイナス評価が「非常に高い」と「まったくない」の両極に分かれる傾向にある(表Ⅱ－24、26)。

4　支援者、施設として考える地域移行支援への課題

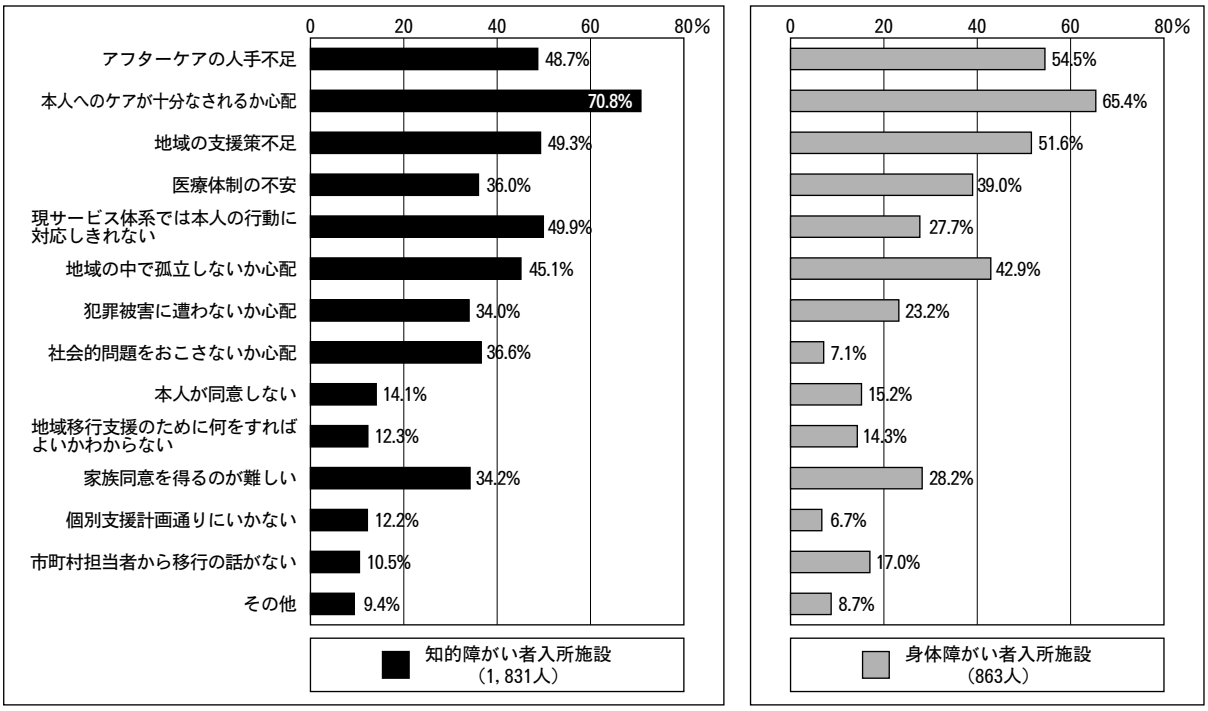
- 支援者として、施設として地域移行支援に関してどのような点を心配し、課題と考えているのかを知るために、支問15を設けている。

> **支問15　支援者、施設として、ご本人の地域移行支援に関して、心配なこと、課題と考えておられることは何ですか（複数回答可)。**

- 支援者全体でみると、「本人へのケアが十分なされるか心配」の選択が多く（知的70.8%、身体65.4%)、さまざまな要因で移行後を不安視していることがわかる。ついで、「アフターケアのための人手が出せない（知的48.7%、身体54.5%)」や「地域の支援策が不足している現状では勧められない（知的49.3%、身体51.6%)」など、地域移行した後も引き続きフォローしたいが人手が足りないという施設の人員体制の課題や地域での支援体制に対する不安が多い。(表Ⅱ－27)
- また「地域の中で孤立しないか心配」を選択した人の割合も知的障がい者施設支援者、身体障がい者施設支援者ともに半数近くにのぼり、利用者が地域社会の一員として生活していけるかどうかを心配している割合が高い。

- 障がい種別ごとの差が顕著にみられたため、以下に分析する（図Ⅱ－14、表Ⅱ－27)。
- 知的障がい者施設支援者では身体障がい者施設支援者よりも、「現サービス体系では本人の行動に対応しきれない（49.9%)」、「犯罪被害に遭わないか心配（34.0%)」、「社会的問題をおこさないか心配(36.6%)」を選択する割合が高く、地域移行についての地域社会の準備不足や移行支援でのスキル導入の不十分さを懸念しているのではないかと考えられる。
- また、「家族の同意を得るのが難しい（34.2%)」、「個別支援計画が計画通りに進まない（12.2%)」についても知的障がい者施設支援者の方が身体障がい者施設支援者よりも選択している割合が高く、地域移行にむけて家族の理解を得ることも課題の一つになっていることがうかがえる。
- 一方、身体障がい者施設支援者では、医療体制に対する不安を挙げた人が39.0%あり、上述の地域移行後の支援体制に対する不安に次いで医療面についての不安が続く。知的障がい者施設支援者と比べると、「アフターケアのための人手が出せない」、「市町村担当者から移行の話がない」を選択した人の割合が高い。

図Ⅱ－14：障がい種類別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと

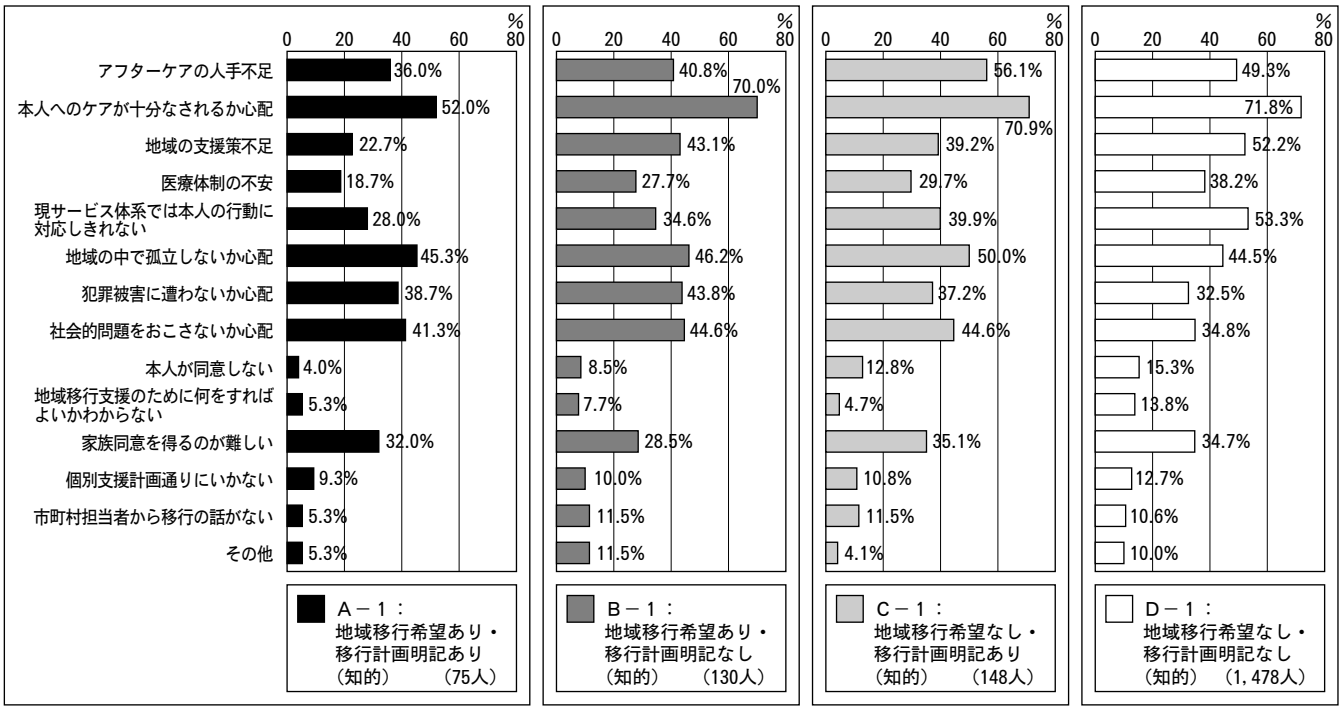


表Ⅱ－27：障がい種類別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと

		対象者	アフターケアの人手不足	本人へのケアが十分なされるか心配	地域の支援策不足	医療体制の不安	現サービス体系では本人の行動に対応しきれない	地域の中で孤立しないか心配	犯罪被害に遭わないか心配	社会的問題をおこさないか心配	本人が同意しない	地域移行支援のために何をすればよいかわからない	家族同意を得るのが難しい	個別支援計画通りにいかない	市町村担当者から移行の話がない	その他
施設種別	知的障がい者入所施設	1,831	892	1,296	903	659	913	825	622	670	259	225	626	224	193	173
			48.7%	70.8%	49.3%	36.0%	49.9%	45.1%	34.0%	36.6%	14.1%	12.3%	34.2%	12.2%	10.5%	9.4%
	身体障がい者入所施設	863	470	564	445	337	239	370	200	61	131	123	243	58	147	75
			54.5%	65.4%	51.6%	39.0%	27.7%	42.9%	23.2%	7.1%	15.2%	14.3%	28.2%	6.7%	17.0%	8.7%
合　　計		2,694	1,362	1,860	1,348	996	1,152	1,195	822	731	390	348	869	282	340	248
			50.6%	69.0%	50.0%	37.0%	42.8%	44.4%	30.5%	27.1%	14.5%	12.9%	32.3%	10.5%	12.6%	9.2%
知的－身体（障がい種別による有意水準）			＊＊	＊	－	－	＊＊＊	－	＊＊＊	＊＊＊	－	－	＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－

- 障がい種別ごとに、ABCDのばらつきについて分析する。特に、個別支援計画への地域移行支援明記の有無と、支援者が地域移行の課題と捉えていることとがどのように関連しているのかを調べるために、移行計画明記の有無と支援者の意識との関連に着目する。

図Ⅱ－15：ＡＢＣＤ群別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと（知的障がい者施設）



表Ⅱ－28：ＡＢＣＤ群別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと（知的障がい者施設）

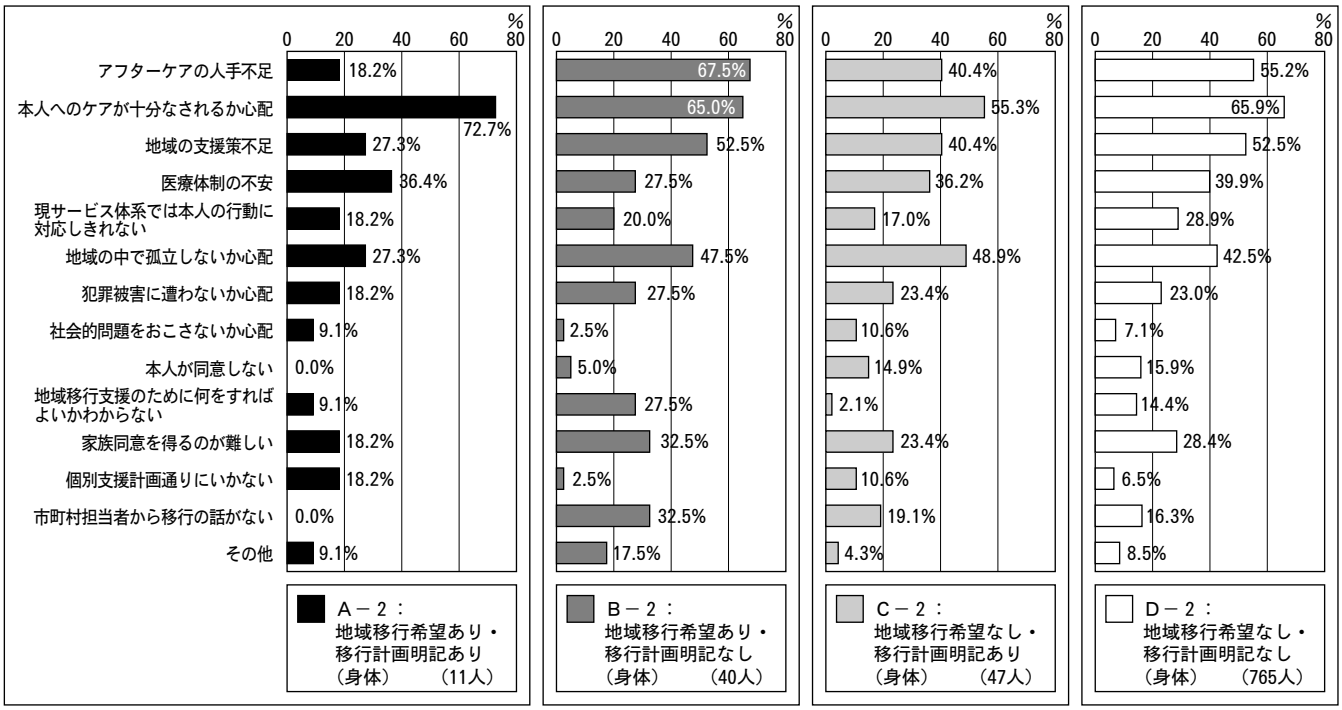
	対象者	アフターケアの人手不足	本人へのケアが十分なされるか心配	地域の支援策不足	医療体制の不安	現サービス体系では本人の行動に対応しきれない	地域の中で孤立しないか心配	犯罪被害に遭わないか心配	社会的問題をおこさないか心配	本人が同意しない	地域移行支援のために何をすればよいかわからない	家族同意を得るのが難しい	個別支援計画通りにいかない	市町村担当者から移行の話がない	その他
合　　計	1,831	892	1,296	903	659	913	825	622	670	259	225	626	224	193	173
	100.0%	48.7%	70.8%	49.3%	36.0%	49.9%	45.1%	34.0%	36.6%	14.1%	12.3%	34.2%	12.2%	10.5%	9.4%
A－1：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	27	39	17	14	21	34	29	31	3	4	24	7	4	4
	100.0%	36.0%	52.0%	22.7%	18.7%	28.0%	45.3%	38.7%	41.3%	4.0%	5.3%	32.0%	9.3%	5.3%	5.3%
B－1：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	53	91	56	36	45	60	57	58	11	10	37	13	15	15
	100.0%	40.8%	70.0%	43.1%	27.7%	34.6%	46.2%	43.8%	44.6%	8.5%	7.7%	28.5%	10.0%	11.5%	11.5%
C－1：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	148	83	105	58	44	59	74	55	66	19	7	52	16	17	6
	100.0%	56.1%	70.9%	39.2%	29.7%	39.9%	50.0%	37.2%	44.6%	12.8%	4.7%	35.1%	10.8%	11.5%	4.1%
D－1：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,478	729	1,061	772	565	788	657	481	515	226	204	513	188	157	148
	100.0%	49.3%	71.8%	52.2%	38.2%	53.3%	44.5%	32.5%	34.8%	15.3%	13.8%	34.7%	12.7%	10.6%	10.0%
AC群 移行計画明記あり（知的）	223	110	144	75	58	80	108	84	97	22	11	76	23	21	10
	100.0%	49.3%	64.6%	33.6%	26.0%	35.9%	48.4%	37.7%	43.5%	9.9%	4.9%	34.1%	10.3%	9.4%	4.5%
BD群 移行計画明記なし（知的）	1,608	782	1,152	828	601	833	717	538	573	237	214	550	201	172	163
	100.0%	48.6%	71.6%	51.5%	37.4%	51.8%	44.6%	33.5%	35.6%	14.7%	13.3%	34.2%	12.5%	10.7%	10.1%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		－	＊	＊＊＊	＊＊	＊＊＊	－	－	＊	－	＊＊＊	－	－	－	＊＊

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

・　知的障がい者施設支援者では、「本人へのケアが十分なされるか心配」「地域の支援策不足」「医療体制の不安」「現サービス体系では本人の行動に対応しきれない」「地域移行のために何をすればよいかわからない」の項目について、移行計画明記あり（ＡＣ）群よりも移行計画明記なし（ＢＤ）群の方が選択した人の割合が高い。

・　知的障がい者施設支援者の場合は、計画に地域移行が明記されるかどうかは、本人の障がい特性に応じたケアが十分になされるかという支援の質の要因と、地域移行をどのように行ってよいかわからないという手法的な要因があると考えられる。

図Ⅱ－16：ＡＢＣＤ群別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと（身体障がい者施設）



表Ⅱ－29：ＡＢＣＤ群別　支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと（身体障がい者施設）

	対象者	アフターケアの人手不足	本人へのケアが十分なされるか心配	地域の支援策不足	医療体制の不安	現サービス体系では本人の行動に対応しきれない	地域の中で孤立しないか心配	犯罪被害に遭わないか心配	社会的問題をおこさないか心配	本人が同意しない	地域移行支援のために何をすればよいかわからない	家族同意を得るのが難しい	個別支援計画通りにいかない	市町村担当者から移行の話がない	その他
合　　計	863	470	564	445	337	239	370	200	61	131	123	243	58	147	75
	100.0%	54.5%	65.4%	51.6%	39.0%	27.7%	42.9%	23.2%	7.1%	15.2%	14.3%	28.2%	6.7%	17.0%	8.7%
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	2	8	3	4	2	3	2	1	0	1	2	2	0	1
	100.0%	18.2%	72.7%	27.3%	36.4%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%
B－2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	27	26	21	11	8	19	11	1	2	11	13	1	13	7
	100.0%	67.5%	65.0%	52.5%	27.5%	20.0%	47.5%	27.5%	2.5%	5.0%	27.5%	32.5%	2.5%	32.5%	17.5%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	47	19	26	19	17	8	23	11	5	7	1	11	5	9	2
	100.0%	40.4%	55.3%	40.4%	36.2%	17.0%	48.9%	23.4%	10.6%	14.9%	2.1%	23.4%	10.6%	19.1%	4.3%
D－2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	765	422	504	402	305	221	325	176	54	122	110	217	50	125	65
	100.0%	55.2%	65.9%	52.5%	39.9%	28.9%	42.5%	23.0%	7.1%	15.9%	14.4%	28.4%	6.5%	16.3%	8.5%
AC群 移行計画明記あり（身体）	58	21	34	22	21	10	26	13	6	7	2	13	7	9	3
	100.0%	36.2%	58.6%	37.9%	36.2%	17.2%	44.8%	22.4%	10.3%	12.1%	3.4%	22.4%	12.1%	15.5%	5.2%
BD群 移行計画明記なし（身体）	805	449	530	423	316	229	344	187	55	124	121	230	51	138	72
	100.0%	55.8%	65.8%	52.5%	39.3%	28.4%	42.7%	23.2%	6.8%	15.4%	15.0%	28.6%	6.3%	17.1%	8.9%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		*	－	－	－	－	－	－	－	－	*	－	－	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

・　身体障がい者施設支援者では、「アフターケアの人手不足」「地域移行のために何をすればよいかわからない」の項目については移行計画明記あり（ＡＣ）群よりも移行計画明記なし（ＢＤ）群の方が選択

した人の割合が高い。

- 身体障がい者施設支援者の場合は、計画に地域移行が明記されるかどうかは、アフターケアにどのくらいの人手が必要となるかという支援量の要因と、地域移行をどのように行ってよいかわからないという手法的な要因があると考えられる。

5　本人ニーズと支援者のアセスメント

- 本人の地域移行に関する希望やニーズを知るために、本問４－１～４－４、５を設けている。
- なお、これらの設問は単一回答の設問ではあるが、集計時に複数回答されているものが見受けられるため、本人のニーズをなるべく多く拾い上げるために複数回答の設問として処理している（本問４－４のみ複数回答がみられなかったため、単一回答として処理している）。あわせて、個別支援計画に地域移行が明記されている人については、地域移行後にどのような生活を希望しているのかを知るために支問９－７～９－９を設定している。
- また、個別支援計画に地域移行が明記されていない人も含めて、施設利用者全員について支援者として本人にどのような支援があれば地域での生活が可能になると考えているかを知るために支問13を設定している。
- 地域移行に際して本人がどのようなニーズを持っており、支援者がどのような支援が必要と考えているかについて、「知的障がい者施設利用者」「身体障がい者施設利用者」の順に、本人のニーズごとに分析した。

（１）　住みたいところ

①　知的障がい者施設利用者について

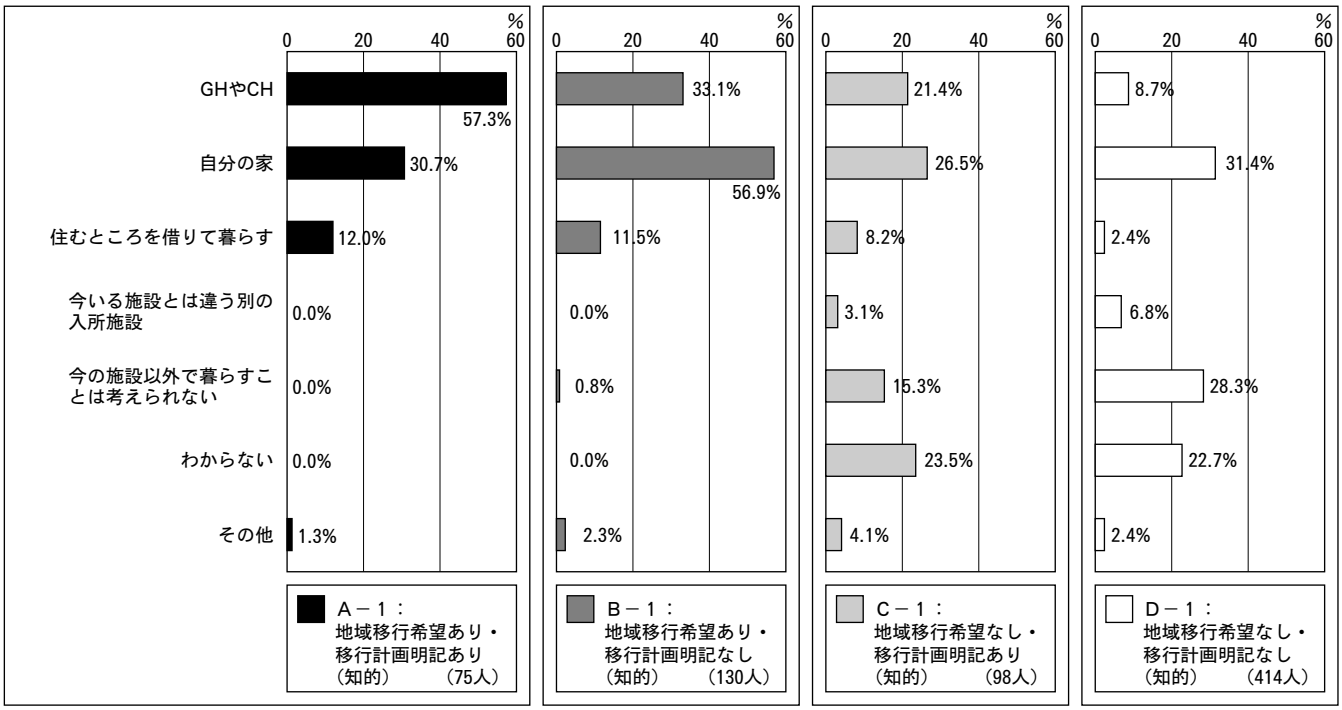
- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、希望する生活の場を知るために本問４－１を設けている。

> **本問４－１　あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのようなところで暮らしたいですか？**

- 利用者全体でみると、「自分の家」が35.3%、「グループホーム等」が19.9%、「今の施設以外で暮らすことは考えられない」が18.5%である。（図Ⅱ－17、表Ⅱ－30）
- ＡＢＣＤ群と希望する生活の場との関連をみると、本人が地域移行を希望しているＡＢ群の中でも本人のニーズに違いがある。A群では「グループホーム等」を希望する割合が最も多く（57.3%）、次に「自分の家」（30.7%）となっているが、Ｂ群では反対に「自分の家」に帰りたいという希望が最も多く（56.9%）、次に「グループホーム等」（33.1%）となる。本人が地域移行を希望していないＣＤ群についてみると、Ｃ群では、「自分の家」が最も多く（26.5%）、次に「わからない」（23.5%）、「グループホーム等」（21.4%）となる。Ｄ群でも、「自分の家」が最も多く（31.4%）、次に「今の施設以外で暮らすことは考えられない」（28.3%）、「わからない」（22.7%）となる。「グループホーム等」の希望はＣ群（21.4%）、Ｄ群（8.7%）と低くなる。

- グループホーム等を希望する人の割合はＡＢＣＤの順で高い。
- 後の分析においてとりあげるが、グループホーム等の認知度もＡＢＣＤ順で高い（表Ⅱ－56）。
- グループホーム等についての情報提供を十分になされ、グループホーム等を知っている人は、施設以外の生活の場としてグループホーム等を希望する傾向が高まる。
- このことから、本人が地域移行を希望し個別支援計画にも地域移行が明記されているＡ群に対しては、グループホーム等に関する情報提供が行われ、本人もグループホーム等での生活を希望しているのではないかと推察される。
- 一方、本人のみが地域移行を希望しており計画には明記されていないＢ群は、本人が希望しているにもかかわらず自分の家には帰れない理由として本人をとりまく環境面の課題があることも考えられるが、グループホーム等の情報提供が十分にはされておらず、本人が住むところとして施設か自分の家しかイメージできていないこともその理由として想定される。
- グループホーム等の情報提供不足については、ＣＤ群についても同様のことが言える。

図Ⅱ－17：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する生活の場（知的障がい者施設利用者）



表Ⅱ－30：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する生活の場（知的障がい者施設利用者）

	対象者	GHやCH	自分の家	住むところを借りて暮らす	今いる施設とは違う別の入所施設	今の施設以外で暮らすことは考えられない	わからない	その他
A－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75 100.0%	43 57.3%	23 30.7%	9 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%
B－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130 100.0%	43 33.1%	74 56.9%	15 11.5%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	3 2.3%
C－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98 100.0%	21 21.4%	26 26.5%	8 8.2%	3 3.1%	15 15.3%	23 23.5%	4 4.1%
D－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414 100.0%	36 8.7%	130 31.4%	10 2.4%	28 6.8%	117 28.3%	94 22.7%	10 2.4%
合　　計	717 100.0%	143 19.9%	253 35.3%	42 5.9%	31 4.3%	133 18.5%	117 16.3%	18 2.5%

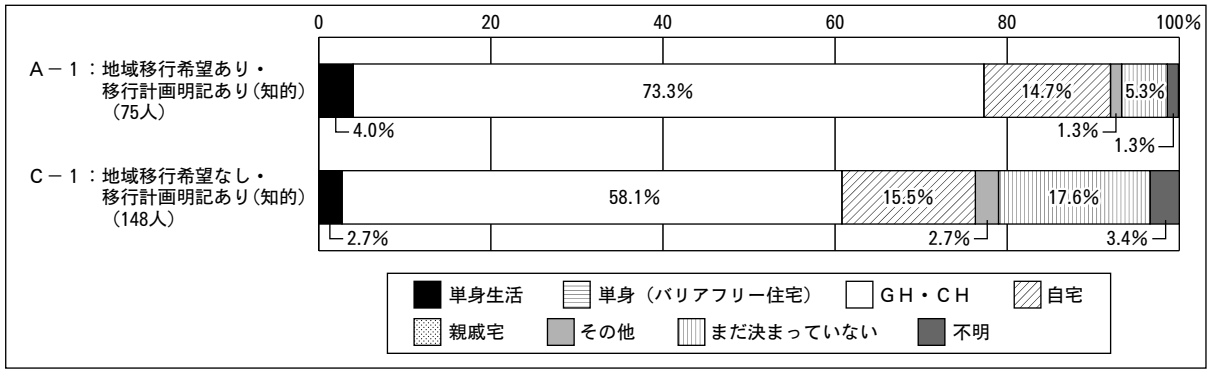
・　次に、個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人の希望する生活の場をどのように捉えているかを知るために支問９－８を設けている。

> **支問９－８　地域移行後、ご本人の希望する生活の場について該当するものに○をつけてください（○は一つ）。ご本人の意向が明確でない場合は、支援者としてわかる範囲でお答えください。**

・　ＡＣ群と地域移行後に希望する生活の場との関連をみたものが図Ⅱ－18、表Ⅱ－31である。

・　Ａ群、Ｃ群ともにグループホーム等が最も多く（Ａ群73.3%、Ｃ群58.1%）、自宅は多くない。具体的に地域移行にむけて計画が立てられている人の多くはグループホーム等への移行を考えていることがわかる。また本人希望がないＣ群には、移行先の希望についてもまだ決まっていない人が17.6%いる。

図Ⅱ－18：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の生活の場（知的障がい者施設利用者）



表Ⅱ－31：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の生活の場（知的障がい者施設利用者）

	単身生活	単身（バリアフリー住宅）	GH・CH	自　宅	親戚宅	その他	まだ決まっていない	不　明	合　計
A－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	3 4.0%	0 0.0%	55 73.3%	11 14.7%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	1 1.3%	75 100.0%
C－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	4 2.7%	0 0.0%	86 58.1%	23 15.5%	0 0.0%	4 2.7%	26 17.6%	5 3.4%	148 100.0%
合　　計	7 3.1%	0 0.0%	141 63.2%	34 15.2%	0 0.0%	5 2.2%	30 13.5%	6 2.7%	223 100.0%

- 希望する生活の場について、本人からの回答では「自分の家」が多いが、支援者からの回答では「グループホーム等」が多く、本人希望と支援者の捉え方にずれがみられる。
- ずれを検証するために、本人希望と支援者の捉え方を比べたものが表Ⅱ－32、33である。
- 左の表は本問４－１の回答、右の表は支問９－８の回答である（本問４－１を複数回答として扱ったため、支援者が考える本人が希望する地域での生活の場の合計（右表の合計）が左表と必ずしも一致しない)。

表Ⅱ－32：本人が住みたいところ（本問４－１）×支援者が考える本人が希望する地域での生活の場（Ａ群）（知的障がい者施設利用者）

本人が住みたいところ	
住みたいところ	人数
GH・CH	43
自分の家	23
住むところを借りて暮らす	9
その他	1

支援者が考える本人が希望する地域での生活の場						
単身	GH	自宅	親戚宅	その他	まだ決まらず	不明
1	40	0	0	1	0	1
0	9	10	0	0	4	0
2	6	1	0	0	0	0
0	1	0	0	0	0	0

- Ａ群で本人がグループホーム等を希望している43人のうち、支援者も本人がグループホーム等を希望していると捉えている人は40人で大きなずれはみられない。
- しかし、自分の家を希望している23人のうち、支援者も自宅と捉えている人は10人のみで他の多くはグループホーム等を希望していると捉えている。本人が住むところを借りて暮らしたいと思っている９人についても、本人が単身生活を望んでいると捉えられている人は２人のみで、グループホーム等を希望していると捉えられている人が６人もおり、本人希望と支援者の捉え方にずれがみられる。

表Ⅱ－33：本人が住みたいところ（本問４－１）×支援者が考える本人が希望する地域での生活の場（Ｃ群）（知的障がい者施設利用者）

本人が住みたいところ	
住みたいところ	人数
GH・CH	21
自分の家	26
住むところを借りて暮らす	8
今いる施設とは別の入所施設	3
今の施設以外で暮らすことは考えられない	15
わからない	23
その他	4

支援者が考える本人が希望する地域での生活の場						
単身	GH	自宅	親戚宅	その他	まだ決まらず	不明
1	14	3	0	0	2	1
2	14	9	0	0	0	1
0	7	0	0	0	1	0
0	3	0	0	0	0	0
1	7	3	0	2	2	0
0	10	1	0	1	11	0
0	4	0	0	0	0	0

- Ｃ群についてもＡ群と同様のことがみられる。本人は自分の家を希望する人が多く26人いるが、そのうち支援者からも自宅と捉えられている人は9人のみで、他の多くはグループホーム等と捉えられている。

・　知的障がい者施設利用者の場合は、本人がどこで暮らすことを希望していても、また必ずしも積極的とはいいがたい場合も含め、支援計画において実際の移行先としてはグループホーム等が選択される可能性が高い。
・　その理由として、現在の福祉サービス水準では、在宅介護量やバリアフリー等の環境面の整備が十分とは言いがたいため、地域移行を具体化する段階で、グループホームが相対的に選択されている可能性は否定できない。

・　表Ⅱ－53に示すように、本人の地域移行に必要なサービスやシステムに「生活の場」を選択した支援者は、知的障がい者施設支援者全体では77.8%を占めている。
・　ＡＣ群の支援者ほど生活の場が必要と考えている傾向が強くみられ、支援者としては、計画に地域移行が明記されて支援が具体的になっている利用者について、より強く生活の場が必要と考えていることがうかがわれる。

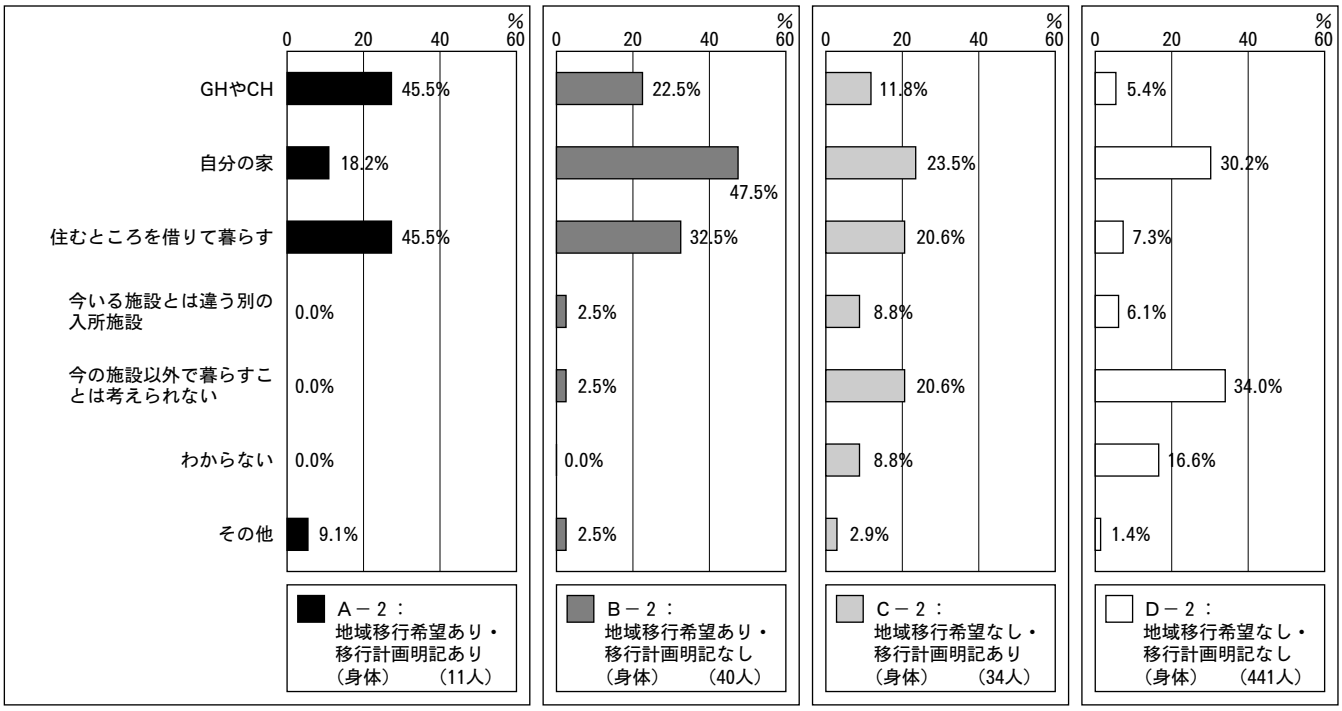
②　身体障がい者施設利用者について

・　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、希望する生活の場をみると、全体としては、「自分の家（30.8%）」、「今の施設以外で暮らすことは考えられない（30.0%）」が多い。（図Ⅱ－19、表Ⅱ－34）
・　ＡＢＣＤ群ごとに希望する生活の場を調べると、Ａ群では「グループホーム等」と「住むところを借りて暮らす」を希望する人が同率で最も多い（どちらも45.5%）。
・　Ｂ群では「自分の家」を希望する人が最も多く（47.5%）、「住むところを借りて暮らす」（32.5%）、「グループホーム等」（22.5%）と続く。
・　Ｃ群では「自分の家」を希望する人が最も多く（23.5%）、「住むところを借りて暮らす」と「今の施設以外で暮らすことは考えられない」は同率で続く（どちらも20.6%）。
・　Ｄ群では「今の施設以外で暮らすことは考えられない」と考えている人が最も多く（34.0%）、次に「自分の家」を希望する人が続く（30.2%）。

身体障がい者施設利用者のうち、本人が地域移行を希望している人は、グループホーム等や自分の家の他、住むところを借りて単身生活を希望する人の割合が高い。

・　グループホーム等の認知度（表Ⅱ－57）との関連も、知的障がい者施設利用者のように顕著にはみられない。
・　グループホーム等を希望する人の割合は知的障がい者施設利用者と同様にＤＣＢＡの順で高くなっているが、グループホーム等の認知度はＤ群が低いほかはＡＢＣ群にはさほど差がみられない。

図Ⅱ－19：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する生活の場（身体障がい者施設利用者）

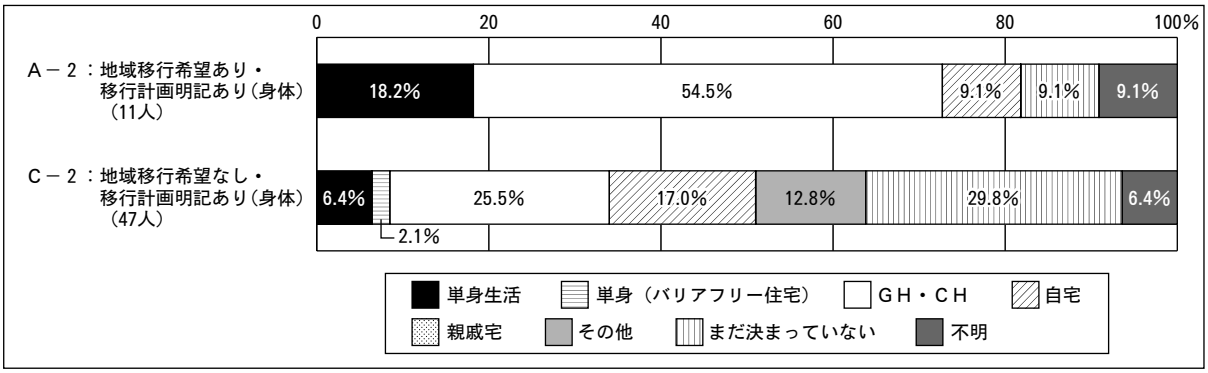


表Ⅱ－34：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する生活の場（身体障がい者施設利用者）

	対象者	GHやCH	自分の家	住むところを借りて暮らす	今いる施設とは違う別の入所施設	今の施設以外で暮らすことは考えられない	わからない	その他
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	5	2	5	0	0	0	1
	100.0%	45.5%	18.2%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
B－2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	9	19	13	1	1	0	1
	100.0%	22.5%	47.5%	32.5%	2.5%	2.5%	0.0%	2.5%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	4	8	7	3	7	3	1
	100.0%	11.8%	23.5%	20.6%	8.8%	20.6%	8.8%	2.9%
D－2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	24	133	32	27	150	73	6
	100.0%	5.4%	30.2%	7.3%	6.1%	34.0%	16.6%	1.4%
合　　計	526	42	162	57	31	158	76	9
	100.0%	8.0%	30.8%	10.8%	5.9%	30.0%	14.4%	1.7%

- 個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人の希望する生活の場をどのように捉えているかを示したものが図Ⅱ－20、表Ⅱ－35である。
- Ａ群では「グループホーム等」が最も多く（54.5%）、次に「単身生活」（18.2%）と続く。Ｃ群では「まだ決まっていない」が最も多く（29.8%）、「グループホーム等」（25.5%）と続く。

図Ⅱ－20　ＡＣ群別：本人が希望する地域移行後の生活の場（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－35：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の生活の場（身体障がい者施設利用者）

	単身生活	単身（バリアフリー住宅）	GH・CH	自　宅	親 戚 宅	そ の 他	まだ決まっていない	不　明	合　計
A－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	2 18.2%	0 0.0%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	11 100.0%
C－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	3 6.4%	1 2.1%	12 25.5%	8 17.0%	0 0.0%	6 12.8%	14 29.8%	3 6.4%	47 100.0%
合　　計	5 8.6%	1 1.7%	18 31.0%	9 15.5%	0 0.0%	6 10.3%	15 25.9%	4 6.9%	58 100.0%

本人の希望と支援者の捉え方を比べたものが表Ⅱ-36、37である。

表Ⅱ－36：本人が住みたいところ（本問４－１）×支援者が考える本人が希望する地域での生活の場（Ａ群）（身体障がい者施設利用者）

本人が住みたいところ	
住みたいところ	人数
GH・CH	5
自分の家	2
住むところを借りて暮らす	5
その他	1

支援者が考える本人が希望する地域での生活の場						
単身	GH	自宅	親戚宅	その他	まだ決まらず	不明
0	4	0	0	0	0	1
0	1	0	0	0	1	0
2	2	1	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	0

- Ａ群で本人がグループホーム等を希望している人が５人おり、うち４人は支援者もグループホーム等と捉えており、さほど開きはみられない。本人が住むところを借りて暮らしたいという希望を持っている人が５人いるが、支援者も単身と捉えている人は２人で、グループホーム等と捉えている人が２人、自宅と捉えている人は１人だった。
- 身体障がい者施設利用者の地域移行の場合、いきなり単身生活へ移行するのではなく、社会生活力を身につけるための訓練の場や次のステップへのつなぎの場としてグループホームが活用されることがあり、本人と支援者との生活の場に関する回答のズレは、この影響ではないかと考えられる。

表Ⅱ－37：本人が住みたいところ（本問４－１）×支援者が考える本人が希望する地域での生活の場（Ｃ群）（身体障がい者施設利用者）

本人が住みたいところ	
住みたいところ	人数
GH・CH	4
自分の家	8
住むところを借りて暮らす	7
今いる施設とは別の入所施設	3
今の施設以外で暮らすことは考えられない	7
わからない	3
その他	1

支援者が考える本人が希望する地域での生活の場						
単身	GH	自宅	親戚宅	その他	まだ決まらず	不明
0	4	0	0	0	0	0
0	1	4	0	0	3	0
2	1	0	0	1	3	0
0	1	1	0	1	0	0
1	0	0	0	1	3	2
0	0	0	0	1	2	0
0	0	0	0	1	0	0

- Ｃ群で本人がグループホーム等を希望している人は４人おり、４人とも支援者もグループホーム等と捉えている。本人が自分の家を希望している人は８人おり、うち４人は支援者も自宅と捉えており、１人はグループホーム等、３人はまだ決まらずと捉えている。
- また本人が住むところを借りて暮らすことを希望している人は７人おり、支援者が単身またはグループホーム等と捉えている人が計３人、まだ決まらずと捉えている人が３人、その他が１人である。

- 本人の意向に沿いつつも、本人の希望通りに進みにくい人が「まだ決まらず」の人ではないかと考えられる。
- 表Ⅱ－54に示すように、身体障がい者施設支援者が「生活の場」があれば地域生活が可能になると考えている割合は高く、61.0%を占めている。
- 特に、住宅改造が必要と考えている支援者は、知的障がい者施設利用者では18.5%であるのに対し、身体障がい者施設利用者では45.3%と高い（表Ⅱ－55)。

身体障がい者施設利用者の地域移行を進めるうえでは、バリアフリー住宅を生活の場として確保する必要性が高い。

（2） 同居したい人

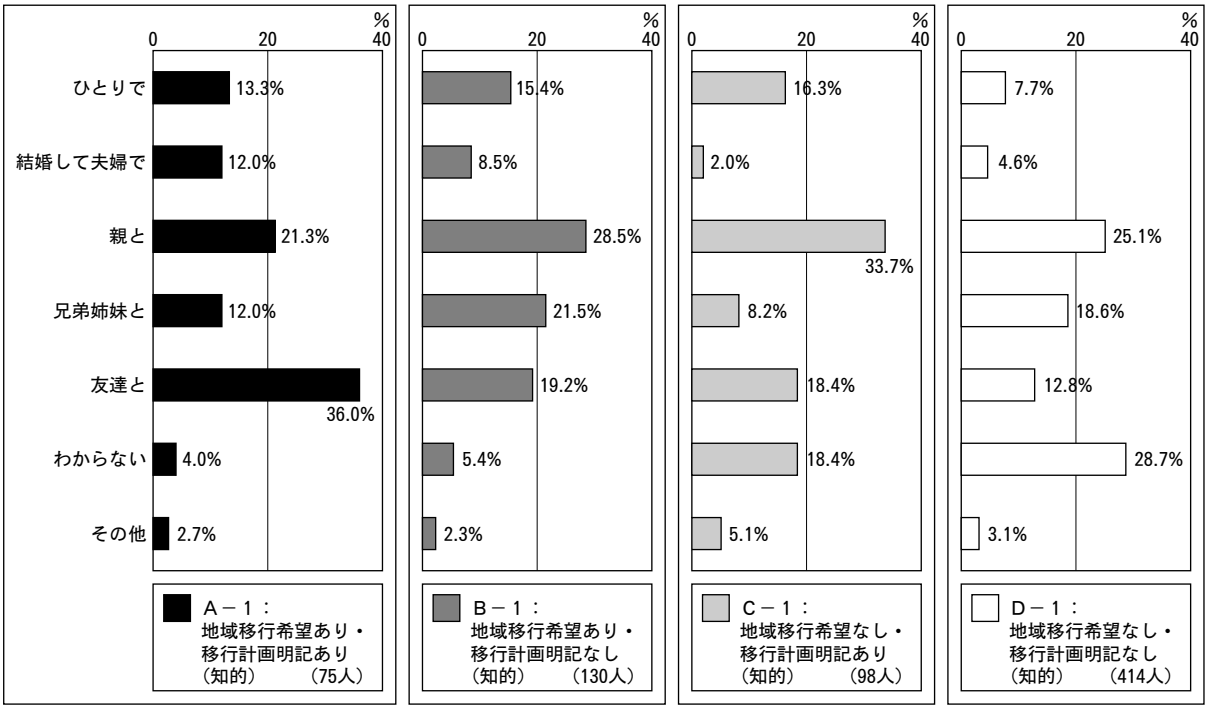
① 知的障がい者施設利用者について

- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、誰と一緒に暮らすことを希望するかを知るために、本問４－２を設けている。

本問４－2　あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、誰と暮らしたいですか？

- 全体では、親と暮らしたいとの希望が最も多く（26.5%)、次に「わからない」(20.5%)、「友達」(17.2%)、「兄弟姉妹」(17.0%）となっている。(図Ⅱ－21、表Ⅱ－38)
- ＡＢＣＤ群ごとに調べると、Ａ群では友達と暮らしたいとの希望が最も多く（36.0%)、親(21.3%)、ひとりで（13.3%）と続く。ＢＣ群では、親と暮らしたいとの希望が最も多い。Ｄ群では「わからない」(28.7%）が最も多く、次に多いのが、親と暮らしたいとの希望である（25.1%)。
- Ａ群は地域移行後にグループホーム等での生活を希望する人の割合が多かったことから、同居を希望するのも友達が多いと考えられる。
- 一方、ＢＣＤ群では自分の家に帰って暮らしたいとの希望が多かったことから、自宅で親と一緒に暮らしたいと思っている人が多いものと考えられる。

図Ⅱ－21：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する同居人
（知的障がい者施設利用者）



表Ⅱ－38：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する同居人
（知的障がい者施設利用者）

	対象者	ひとりで	結婚して夫婦で	親と	兄弟姉妹と	友達と	わからない	その他
A－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	10	9	16	9	27	3	2
	100.0%	13.3%	12.0%	21.3%	12.0%	36.0%	4.0%	2.7%
B－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	20	11	37	28	25	7	3
	100.0%	15.4%	8.5%	28.5%	21.5%	19.2%	5.4%	2.3%
C－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	16	2	33	8	18	18	5
	100.0%	16.3%	2.0%	33.7%	8.2%	18.4%	18.4%	5.1%
D－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	32	19	104	77	53	119	13
	100.0%	7.7%	4.6%	25.1%	18.6%	12.8%	28.7%	3.1%
合　　計	717	78	41	190	122	123	147	23
	100.0%	10.9%	5.7%	26.5%	17.0%	17.2%	20.5%	3.2%

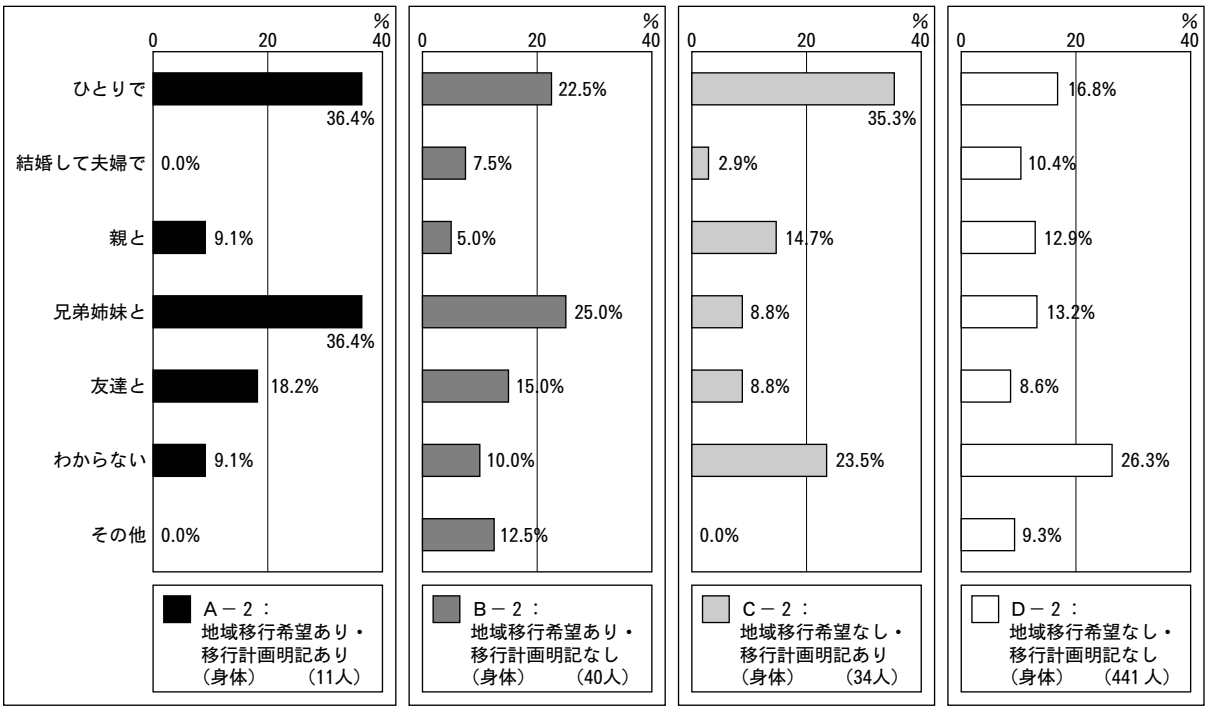
②　身体障がい者施設利用者について

- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、希望する同居人は、全体では「わからない」が最も多く（24.5%）、つぎに「ひとりで」（18.8%）、「兄弟姉妹」（14.3%）となっている。（図Ⅱ－22、表Ⅱ－39）
- ＡＢＣＤ群ごとに調べると、Ａ群では単身あるいは兄弟姉妹との暮らしを希望する人の割合が最も高く（どちらも36.4%）、次に友達（18.2%）と続く。Ｂ群では兄弟姉妹との暮らしが最も高く（25.0%）、次に単身（22.5%）が多い。Ｃ群でも単身を希望する人の割合が高い。しかし、Ｄ群では「わからない」が最も高い（26.3%）。
- 身体障がい者施設利用者のうち地域移行を希望している人は、地域移行後に住むところを借りて

暮らしたいという希望が多かったことから、身体障がい者施設利用者は、地域でグループホーム等において友達と暮らすというよりは、住むところを借りて単身で暮らすことを望んでいることがうかがえる。

- また知的障がい者施設利用者では親との暮らしを希望する人が多かったのに対し、身体障がい者施設利用者では親よりも兄弟姉妹との暮らしを希望する人が多い。
- このような結果となっている理由として、今回の調査対象となった身体障がい者施設利用者が知的障がい者施設利用者よりも平均年齢が高く、3割の人が60歳以上であることから、その親の世代となるとさらに高齢になるため、親世代よりはむしろ兄弟姉妹世代との同居を選択したことが考えられる。

図Ⅱ－22：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する同居人（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－39：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する同居人（身体障がい者施設利用者）

	対象者	ひとりで	結婚して夫婦で	親と	兄弟姉妹と	友達と	わからない	その他
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	4	0	1	4	2	1	0
	100.0%	36.4%	0.0%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%
B－2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	9	3	2	10	6	4	5
	100.0%	22.5%	7.5%	5.0%	25.0%	15.0%	10.0%	12.5%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	12	1	5	3	3	8	0
	100.0%	35.3%	2.9%	14.7%	8.8%	8.8%	23.5%	0.0%
D－2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	74	46	57	58	38	116	41
	100.0%	16.8%	10.4%	12.9%	13.2%	8.6%	26.3%	9.3%
合　　計	526	99	50	65	75	49	129	46
	100.0%	18.8%	9.5%	12.4%	14.3%	9.3%	24.5%	8.7%

（３） 住みたい地域

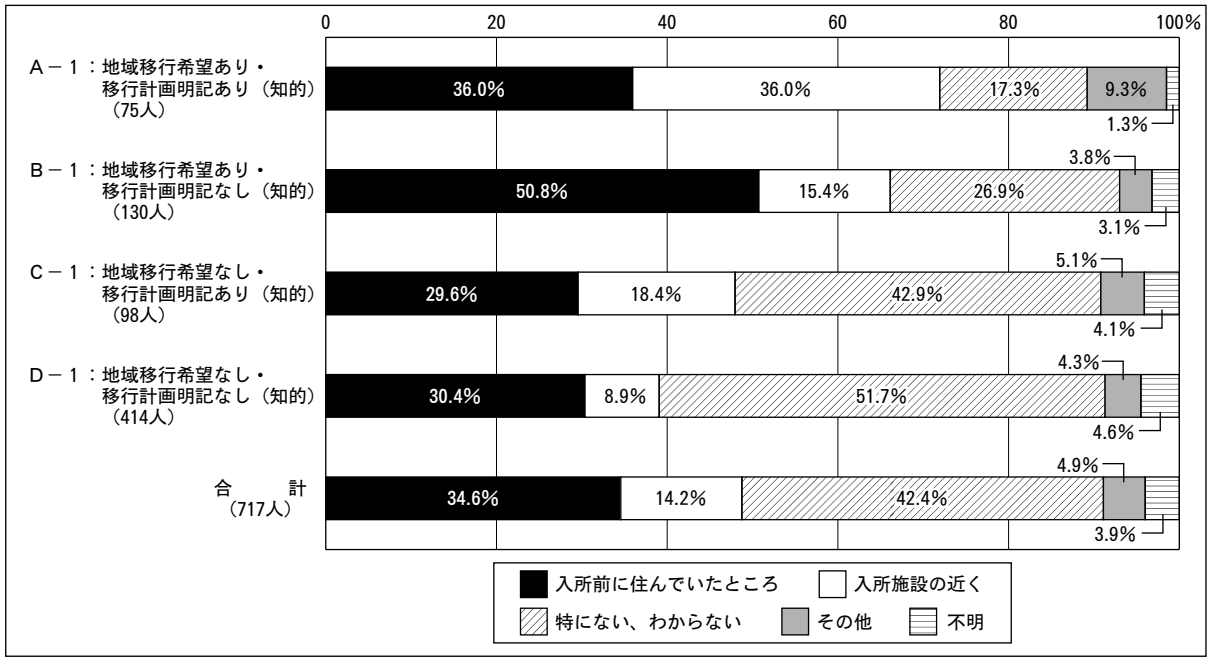
① 知的障がい者施設利用者について

- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、住みたいと思う地域を知るために本問4－4を設けている。

> **本問４－４　あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのようなところで暮らしたいですか？**

- 全体では、「特にない、わからない」が最も多く（42.4%）、次に「入所前に住んでいたところ」（34.6%）、「入所施設の近く」（14.2%）となっている。（図Ⅱ－23、表Ⅱ－40）
- ＡＢＣＤ群ごとに調べると、Ａ群は入所前に住んでいたところと入所施設の近くとを希望する人の割合は同じだが、Ｂ群では入所前に住んでいたところを希望する人の割合が多い。ＣＤ群は半数近くが「特にない、わからない」を選択している。

図Ⅱ－23：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に住みたいと思う地域（知的障がい者施設利用者）



表Ⅱ－40：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に住みたいと思う地域（知的障がい者施設利用者）

	入所前に住んでいたところ	入所施設の近く	特にない、わからない	その他	不明	合計
A－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	27 36.0%	27 36.0%	13 17.3%	7 9.3%	1 1.3%	75 100.0%
B－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	66 50.8%	20 15.4%	35 26.9%	5 3.8%	4 3.1%	130 100.0%
C－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	29 29.6%	18 18.4%	42 42.9%	5 5.1%	4 4.1%	98 100.0%
D－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	126 30.4%	37 8.9%	214 51.7%	18 4.3%	19 4.6%	414 100.0%
合　　計	248 34.6%	102 14.2%	304 42.4%	35 4.9%	28 3.9%	717 100.0%

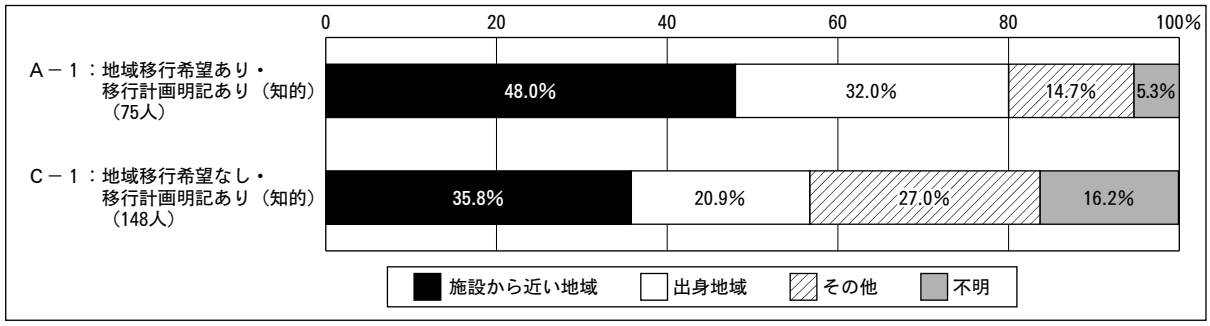
・　次に、個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人及び家族の希望する居住地域をどのように捉えているかを知るために支問9－7を設けている。

> **支問９－７　地域移行後、ご本人、ご家族はどこで生活したいと考えておられますか。ご本人、ご家族の意向をそれぞれ該当するものに○をつけてください（○は一つ）**

・　ここでは支援者が捉える 本人の希望する居住地域について分析する。
・　ＡＣ群とのクロス表が図Ⅱ－24、表Ⅱ－41である。
・　ＡＣ群ともに、出身地域（入所前に住んでいた地域）よりも施設から近い地域を選択した支援者の割合が高い。

・　本人希望としては、ＡＢ群では、施設から近い地域か出身地域（入所前に住んでいた地域）を希望しているが、個別支援計画が立てられる段階では、支援者は本人が施設から近い地域を希望していると捉える割合が高くなっている。
・　地域移行先としてはグループホーム等が多く活用されている。地域移行後も施設支援者が引き続き継続して関わることが本人の安心につながるため、施設支援者としては施設から近い地域で引き続き支援していきたいという思いがあり、またグループホームが施設周辺に設置されてきたという事業の経緯も影響を与えていると考えられる。

図Ⅱ－24：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の居住地域（知的障がい者施設利用者）



表Ⅱ－41：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の居住地域（知的障がい者施設利用者）

	施設から近い地域	出身地域	その他	不明	合計
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	36 48.0%	24 32.0%	11 14.7%	4 5.3%	75 100.0%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	53 35.8%	31 20.9%	40 27.0%	24 16.2%	148 100.0%
合　　計	89 39.9%	55 24.7%	51 22.9%	28 12.6%	223 100.0%

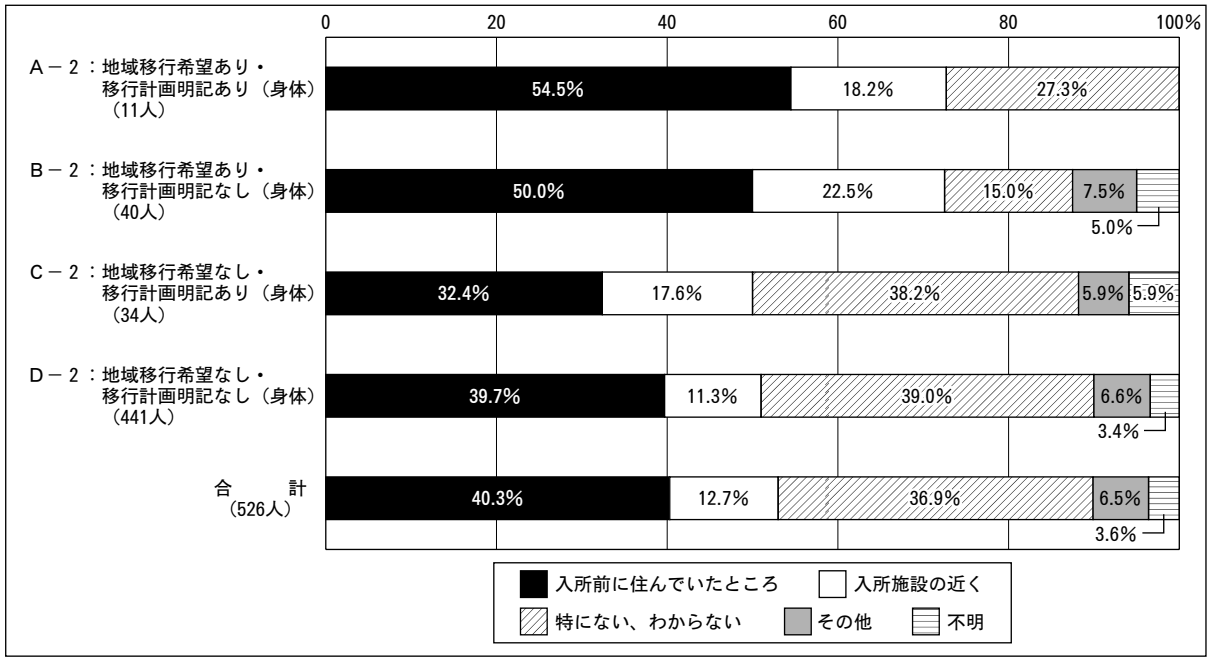
②　身体障がい者施設利用者について

・　全体では「入所前に住んでいたところ」が最も多く（40.3%）、次に「特にない、わからない」（36.9%）、「入所施設の近く」（12.7%）となっている。入所前に住んでいた所に帰りたいという意向の他、具体的な意向を持ちえていない人も多い。（図Ⅱ－25、表Ⅱ－42）

・　ＡＢＣＤ群ごとにみると、ＡＢＣＤいずれの群においても希望する移行先が明確になっていない人が多いが、明確になっている人のなかでは、入所施設の近くよりも入所前に住んでいたところを希望する人の割合の方が高い。

・　特に地域移行希望あり（ＡＢ）群では、約半数の人が入所前に暮らしていたところに帰りたいと希望していることがうかがわれる。

図Ⅱ－25：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に住みたいと思う地域（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－42：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に住みたいと思う地域（身体障がい者施設利用者）

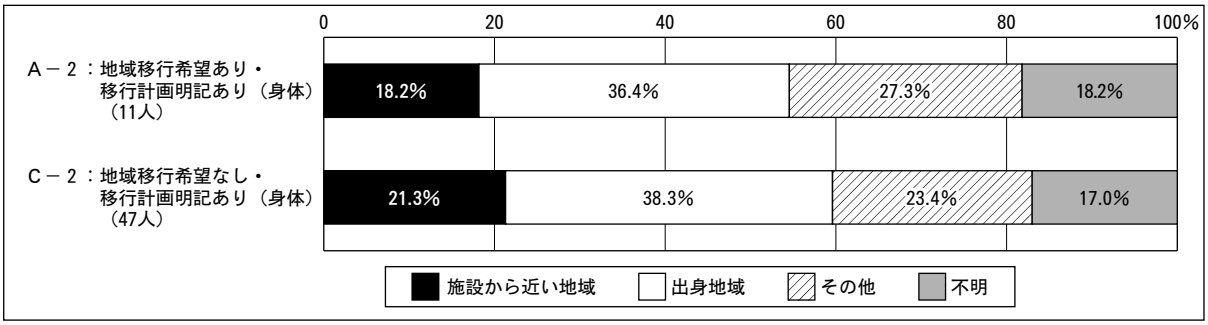
	入所前に住んでいたところ	入所施設の近く	特にない、わからない	その他	不明	合計
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	6 54.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
B－2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	20 50.0%	9 22.5%	6 15.0%	3 7.5%	2 5.0%	40 100.0%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	11 32.4%	6 17.6%	13 38.2%	2 5.9%	2 5.9%	34 100.0%
D－2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	175 39.7%	50 11.3%	172 39.0%	29 6.6%	15 3.4%	441 100.0%
合　　計	212 40.3%	67 12.7%	194 36.9%	34 6.5%	19 3.6%	526 100.0%

・　次に、図Ⅱ－26、表Ⅱ－43は、個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人の希望する居住地域をどのように捉えているかを示したものである。

・　ＡＣ群ともに「出身地域」が多く、施設から近い地域よりも出身地域（入所前に住んでいたところ）を選択した支援者の割合の方が高い。

- 身体障がい者施設利用者の場合は、本人希望も、個別支援計画が立てられる段階でも、移行先についての具体的な意向をもちえていない割合が高いが、移行先が具体的になっている人については、施設から近い地域よりも出身地域（入所前に住んでいたところ）が選択されている割合が高い。
- 施設支援者が地域移行後も引き続いて支援するというよりは、地域の相談支援事業者との連携によって支えようとしていることがうかがわれる（６.（７） 個別支援計画に地域移行が明記されている人への取り組みの現状参照)。

図Ⅱ－26：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の居住地域（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－43：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の居住地域（身体障がい者施設利用者）

	施設から近い地域	出身地域	その他	不明	合計
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	2 18.2%	4 36.4%	3 27.3%	2 18.2%	11 100.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	10 21.3%	18 38.3%	11 23.4%	8 17.0%	47 100.0%
合　　計	12 20.7%	22 37.9%	14 24.1%	10 17.2%	58 100.0%

- 本人が地域移行後に住みたいと希望する市町村名（障がい保健福祉圏域ごとの集計も含む）を示したものが表Ⅱ－44である。ここでは、本人の地域移行希望の有無に関わらず、「もし施設を出るとしたら」と仮定した場合の移行先を尋ねている。もし仮に施設を出て暮らすとした場合に、大阪府内に住みたい場所の希望がある人が535人である。
- また、個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人の住みたい市町村名をどのように捉えているかを示したものが表Ⅱ－45である。
- 個別支援計画に地域移行が明記されている人でも、移行先として希望する市町村名を「不明」と回答する人が半数近くを占めており、地域移行後に住みたい市町村を具体的に挙げている人は半数だけである。

表Ⅱ－44：圏域・市町村別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に住みたいと思う地域（本問４－４）

障がい保健福祉圏域	市町村	知的障がい者入所施設	身体障がい者入所施設	合計
豊能北	池田市	4	4	8
	豊能町	1	2	3
	能勢町	4	1	5
	箕面市	15	3	18
	圏域計	24	10	34
豊能豊中	豊中市	16	7	23
	圏域計	16	7	23
豊能吹田	吹田市	14	9	23
	圏域計	14	9	23
三島	茨木市	12	15	27
	摂津市	6	1	7
	島本町	1	1	2
	圏域計	19	17	36
三島高槻	高槻市	28	7	35
	圏域計	28	7	35
北河内枚方	枚方市	7	15	22
	圏域計	7	15	22
北河内寝屋川	寝屋川市	11	11	22
	圏域計	11	11	22
北河内西	守口市	4	6	10
	門真市	5	6	11
	圏域計	9	12	21
北河内東	大東市	3	7	10
	四條畷市	1	1	2
	交野市	2	4	6
	圏域計	6	12	18
中河内南	八尾市	8	14	22
	柏原市	5	2	7
	圏域計	13	16	29
中河内東大阪	東大阪市	19	20	39
	圏域計	19	20	39
南河内北	松原市	3	3	6
	羽曳野市	4	4	8
	藤井寺市	3	9	12
	圏域計	10	16	26
南河内南	富田林市	6	7	13
	河内長野市	11	3	14
	大阪狭山市	2	0	2
	河南町	7	0	7
	太子町	1	0	1
	千早赤坂村	0	0	0
	圏域計	27	10	37
堺市	堺市	25	28	53
	圏域計	25	28	53
泉州北	泉大津市	5	3	8
	和泉市	10	7	17
	高石市	3	3	6
	忠岡町	1	0	1
	圏域計	19	13	32
泉州中	岸和田市	13	16	29
	貝塚市	6	2	8
	圏域計	19	18	37
泉州南	泉佐野市	9	13	22
	泉南市	4	2	6
	阪南市	2	0	2
	熊取町	6	9	15
	田尻町	1	0	1
	岬町	2	0	2
	圏域計	24	24	48
大阪府内（17圏域合計）		290	245	535
大阪府外		17	27	44
不明		410	254	664
合計（17圏域合計＋大阪府外＋不明）		717	526	1,243

表Ⅱ－45：圏域・市町村別　支援者が推測する 本人が希望する地域移行後の居住地域（支問９－７）

障がい保健福祉圏域	市町村	知的障がい者入所施設	身体障がい者入所施設	合計
豊能北	池田市	6	1	7
	豊能町	0	0	0
	能勢町	3	0	3
	箕面市	12	0	12
	圏域計	21	1	22
豊能豊中	豊中市	3	1	4
	圏域計	3	1	4
豊能吹田	吹田市	6	1	7
	圏域計	6	1	7
三島	茨木市	3	2	5
	摂津市	0	0	0
	島本町	0	0	0
	圏域計	3	2	5
三島高槻	高槻市	16	1	17
	圏域計	16	1	17
北河内枚方	枚方市	2	4	6
	圏域計	2	4	6
北河内寝屋川	寝屋川市	5	1	6
	圏域計	5	1	6
北河内西	守口市	0	0	0
	門真市	3	0	3
	圏域計	3	0	3
北河内東	大東市	1	1	2
	四條畷市	0	0	0
	交野市	0	0	0
	圏域計	1	1	2
中河内南	八尾市	1	2	3
	柏原市	0	0	0
	圏域計	1	2	3
中河内東大阪	東大阪市	4	0	4
	圏域計	4	0	4
南河内北	松原市	1	0	1
	羽曳野市	2	0	2
	藤井寺市	0	0	0
	圏域計	3	0	3
南河内南	富田林市	5	1	6
	河内長野市	3	0	3
	大阪狭山市	0	0	0
	河南町	1	0	1
	太子町	1	0	1
	千早赤坂村	0	0	0
	圏域計	10	1	11
堺市	堺市	9	3	12
	圏域計	9	3	12
泉州北	泉大津市	2	0	2
	和泉市	2	0	2
	高石市	2	0	2
	忠岡町	0	0	0
	圏域計	6	0	6
泉州中	岸和田市	2	3	5
	貝塚市	2	0	2
	圏域計	4	3	7
泉州南	泉佐野市	10	0	10
	泉南市	0	2	2
	阪南市	1	0	1
	熊取町	1	0	1
	田尻町	0	0	0
	岬町	1	0	1
	圏域計	13	2	15
大阪府内（17圏域合計）		110	23	133
大阪府外		5	2	7
不明		108	33	141
合計（17圏域合計＋大阪府外＋不明）		223	58	281

（4） 日中の過ごし方

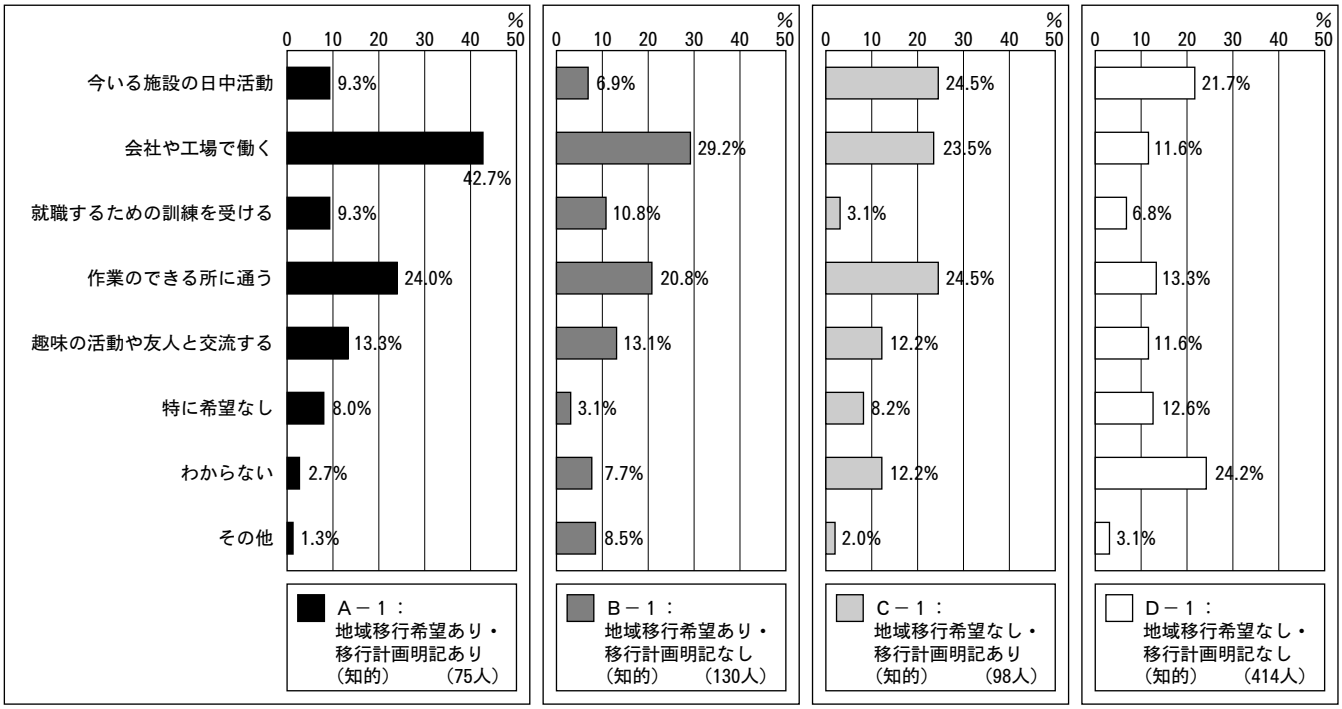
- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、希望する日中活動を知るために本問5を設けている。

> 本問５　あなたが施設を出て暮らすとしたら、平日の日中（昼間）は、どのようにして過ごしたいですか？

①　知的障がい者施設利用者について

- 全体では、「会社や工場で働く」が最も高く（19.7%）、ついで「今いる施設の日中活動」（18.1%）、「作業のできる所に通う」（17.3%）、「わからない」（17.3%）となっている。（図Ⅱ－27、表Ⅱ－46）
- ＡＢＣＤ群ごとに調べると、地域移行希望あり（ＡＢ）群では「会社や工場で働く」ことを希望している人の割合が最も高く（Ａ：42.7%、Ｂ：29.2%）、次に「作業のできる所に通う」ことを希望する人が多い（Ａ：24.0%、Ｂ：20.8%）。地域で生活していくための収入を得たいという気持ちが反映されているものと考えられる。
- 一方、地域移行希望なし（ＣＤ）群では「今いる施設の日中活動」を希望する人の割合が高く、特にＤ群については、約半数の人が「わからない」と「今いる施設の日中活動」を選択しており、地域における日中活動を具体的にイメージしづらいことがうかがわれる。

図Ⅱ－27：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する日中活動(知的障がい者施設利用者)



表Ⅱ－46：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する日中活動（知的障がい者施設利用者）

	対象者	今いる施設の日中活動	会社や工場で働く	就職するための訓練を受ける	作業のできる所に通う	趣味の活動や友人と交流する	特に希望なし	わからない	その他
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	7	32	7	18	10	6	2	1
	100.0%	9.3%	42.7%	9.3%	24.0%	13.3%	8.0%	2.7%	1.3%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	9	38	14	27	17	4	10	11
	100.0%	6.9%	29.2%	10.8%	20.8%	13.1%	3.1%	7.7%	8.5%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	24	23	3	24	12	8	12	2
	100.0%	24.5%	23.5%	3.1%	24.5%	12.2%	8.2%	12.2%	2.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	90	48	28	55	48	52	100	13
	100.0%	21.7%	11.6%	6.8%	13.3%	11.6%	12.6%	24.2%	3.1%
合計	717	130	141	52	124	87	70	124	27
	100.0%	18.1%	19.7%	7.3%	17.3%	12.1%	9.8%	17.3%	3.8%

- 個別支援計画に地域移行が明記されている（ＡＣ）群について、支援者が本人の希望する日中活動をどのように捉えているかを知るために支問９－９を設けている。

> **支問９－９　「地域移行後、ご本人の希望する日中活動の場について該当するものに○をつけてください（○は一つ）。ご本人の意向が明確でない場合は、支援者としてわかる範囲でお答えください」**

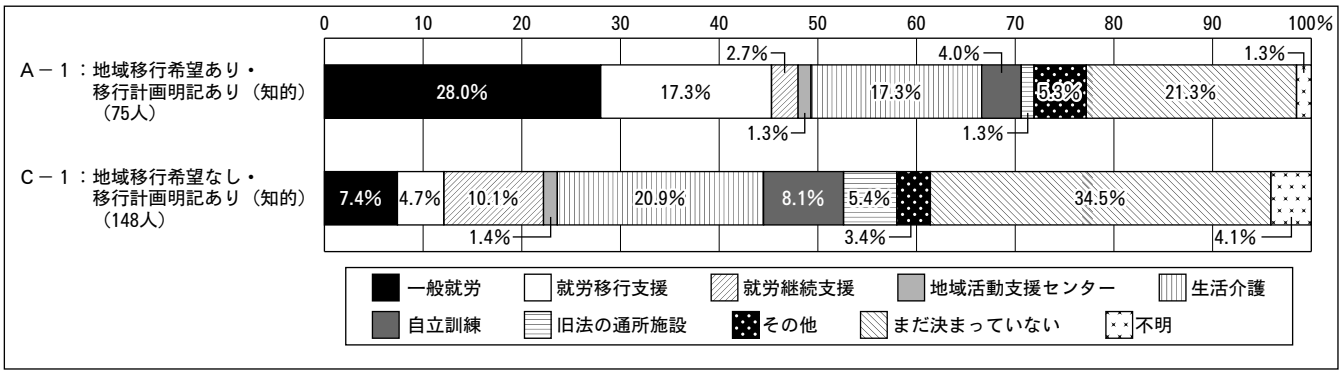
- ＡＣ群との関連をみたものが図Ⅱ－28、表Ⅱ－47である。
- 「まだ決まっていない」が多いが、具体的に挙がっている希望のなかでは、Ａ群では「一般就労」を希望している人の割合が最も高く（28.0%）、ついで「就労移行支援」（17.3%）、「生活介護」（17.3%）となる。

本人が地域移行を希望し、支援者も地域移行に向けた計画をたてているＡ群では、本人も支援者も移行後の日中活動として就労を選択している人の割合が高いことから、就労支援を充実させることが重要である。

- 一方、Ｃ群では「生活介護」（20.9%）、「就労継続支援」（10.1%）が多く、Ａ群に比べると介護が必要なより重度の人が多く存在することが推察される。
- もっとも、ＡＣ群ともに「まだ決まっていない」人の割合が比較的高く、移行後の日中活動について具体的に決まっていない人も多い。

- 表Ⅱ－53に示すように、支援者として本人の地域移行に必要なサービスやシステムに「日中活動の場」を選択した人は、ＡＢＣＤすべての群において７～８割を超えており、特に個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群においてその割合が高い。
- 知的障がい者施設利用者ＡＢＣＤすべての群において、地域移行を進めるにあたり日中活動の場の確保が重要である。

図Ⅱ－28：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の日中活動（知的障がい者施設利用者）



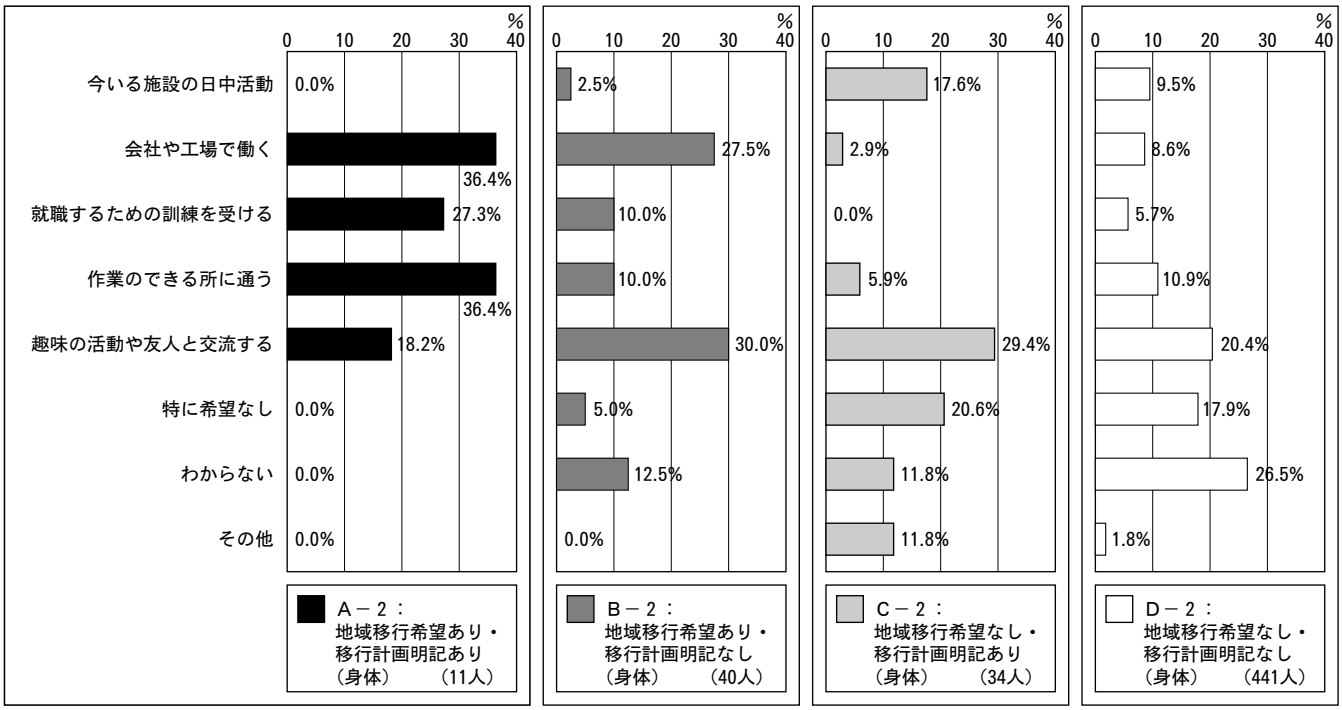
表Ⅱ－47：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の日中活動（知的障がい者施設利用者）

	一般就労	就労移行支援	就労継続支援	地域活動支援センター	生活介護	自立訓練	旧法の通所施設	その他	まだ決まっていない	不明	合計
Ａ－１： 地域移行希望あり・ 移行計画明記あり（知的）	21 28.0%	13 17.3%	2 2.7%	1 1.3%	13 17.3%	3 4.0%	1 1.3%	4 5.3%	16 21.3%	1 1.3%	75 100.0%
Ｃ－１： 地域移行希望なし・ 移行計画明記あり（知的）	11 7.4%	7 4.7%	15 10.1%	2 1.4%	31 20.9%	12 8.1%	8 5.4%	5 3.4%	51 34.5%	6 4.1%	148 100.0%
合計	32 14.3%	20 9.0%	17 7.6%	3 1.3%	44 19.7%	15 6.7%	9 4.0%	9 4.0%	67 30.0%	7 3.1%	223 100.0%

②　身体障がい者施設利用者について

- まず全体の傾向をみると、「わからない」が最も多く（24.0%）、ついで「趣味の活動や友人と交流する」（21.7%）、「特に希望なし」（16.7%）、「作業のできる所に通う」（11.0%）、「会社や工場で働く」（10.3%）となっている。（図Ⅱ－29、表Ⅱ－48）
- ＡＢＣＤ群ごとに調べると、本人に地域移行の希望があるＡＢ群では、会社や工場で働くことを希望している人の割合が比較的高く、地域で生活していくための収入を得たいという気持ちが反映されているものと考えられる。
- また知的障がい者施設利用者に比べるとＡＢＣＤ群すべての群において、趣味の活動や友人と交流することを希望する人の割合が高い。
- 身体障がい者施設利用者は知的障がい者施設利用者に比べると高齢の人が多いことから、就労よりは余暇を楽しもうとする人が多いものと推察される。
- また、本人希望のないＣＤ群では、「特に希望なし」「わからない」を選択する人も多く、地域における日中活動を具体的にイメージしづらいことがうかがえる。

図Ⅱ－29：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する日中活動（身体障がい者施設利用者）



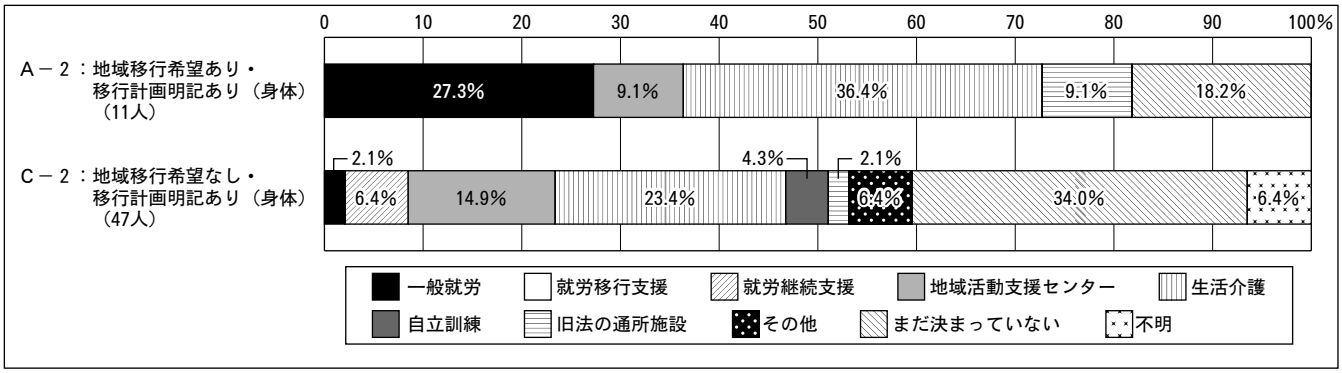
表Ⅱ－48：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する日中活動（身体障がい者施設利用者）

	対象者	今いる施設の日中活動	会社や工場で働く	就職するための訓練を受ける	作業のできる所に通う	趣味の活動や友人と交流する	特に希望なし	わからない	その他
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	0	4	3	4	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	36.4%	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	1	11	4	4	12	2	5	0
	100.0%	2.5%	27.5%	10.0%	10.0%	30.0%	5.0%	12.5%	0.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	6	1	0	2	10	7	4	4
	100.0%	17.6%	2.9%	0.0%	5.9%	29.4%	20.6%	11.8%	11.8%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	42	38	25	48	90	79	117	8
	100.0%	9.5%	8.6%	5.7%	10.9%	20.4%	17.9%	26.5%	1.8%
合計	526	49	54	32	58	114	88	126	12
	100.0%	9.3%	10.3%	6.1%	11.0%	21.7%	16.7%	24.0%	2.3%

- 図Ⅱ－30、表Ⅱ－49は、個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、支援者が本人の希望する日中活動をどのように捉えているかを示したものである。
- 本人希望があるＡ群では「生活介護」が最も多く（36.4%）、「一般就労」（27.3%）と続く。本人希望がないＣ群では「まだ決まっていない」が最も多く（34.0%）、次いで「生活介護」（23.4%）と続く。

- 就労支援に加え、介護等の支援を受けながら創作的な活動ができる場が求められている。
- 表Ⅱ－54に示したように、支援者として本人の地域移行に必要なサービスやシステムに「日中活動の場」を選択した人は、A群において8割を超えており、具体的に地域移行にむけて取り組みが進められる人にとっては日中活動の場の確保が急務であると考えられる。
- ＢＣＤ群においても5～6割の人が日中活動の場を選択しており、地域移行を進めるにあたっては日中活動の場の確保が重要である。
- 身体障がい者施設利用者ＡＢＣＤすべての群において、地域移行を進めるにあたり日中活動の場の確保が重要である。

図Ⅱ－30：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の日中活動（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－49：ＡＣ群別　本人が希望する地域移行後の日中活動（身体障がい者施設利用者）

	一般就労	就労移行支援	就労継続支援	地域活動支援センター	生活介護	自立訓練	旧法の通所施設	その他	まだ決まっていない	不明	合計
A－2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	3	0	0	1	4	0	1	0	2	0	11
	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	100.0%
C－2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	1	0	3	7	11	2	1	3	16	3	47
	2.1%	0.0%	6.4%	14.9%	23.4%	4.3%	2.1%	6.4%	34.0%	6.4%	100.0%
合計	4	0	3	8	15	2	2	3	18	3	58
	6.9%	0.0%	5.2%	13.8%	25.9%	3.4%	3.4%	5.2%	31.0%	5.2%	100.0%

（5） 支援してほしいこと

- 本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に、必要としている支援を知るために本問4－3を設定した。

本問4－3　　あなたが施設以外のところで暮らすとしたら、どのような支援が必要ですか？

- まず全体の傾向をみると、「相談支援」や「食事・入浴・排泄などの介護支援」が最も高く（57.7%）、「医療・看護の支援」（54.6%）、「余暇活動参加のための支援」（45.2%）、「バリアフリー住宅」（36.4%）となっている（表Ⅱ－50）。

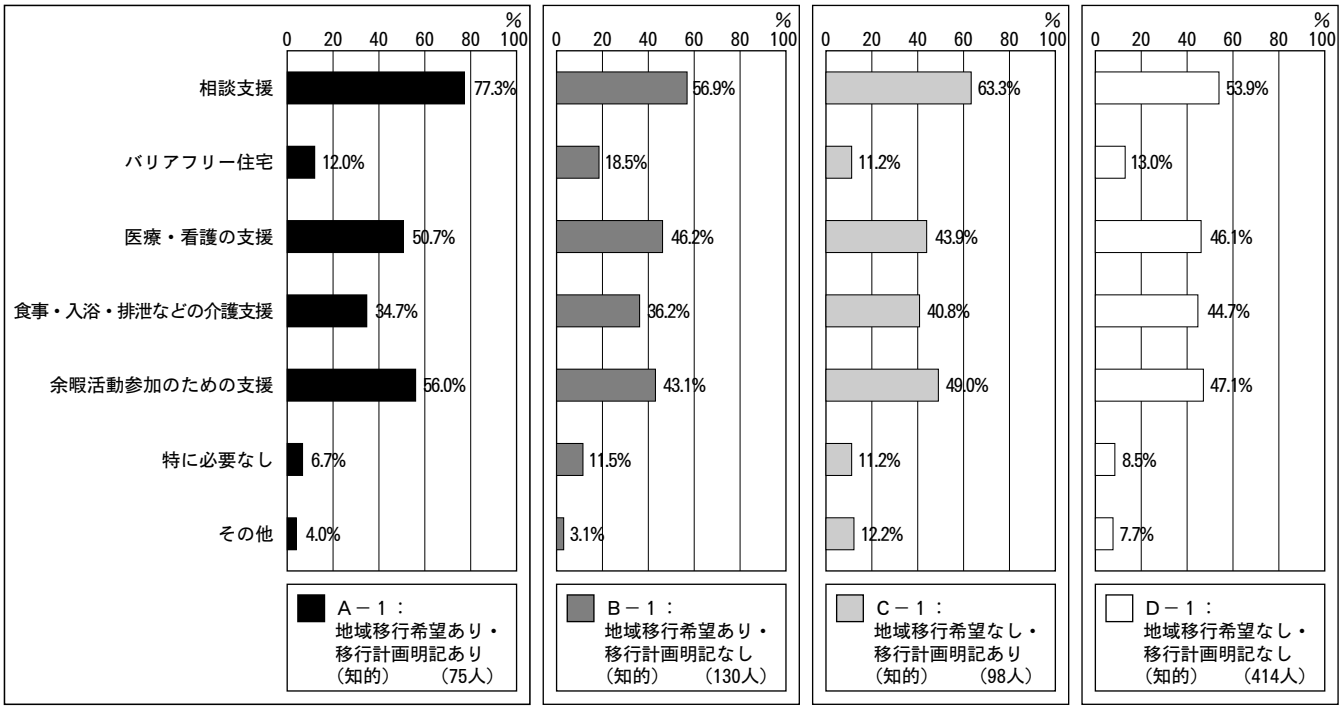
表Ⅱ－50：障がい種類別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する支援（全体）

	対象者	相談支援	バリアフリー住宅	医療・看護の支援	食事・入浴・排泄などの介護支援	余暇活動参加のための支援	特に必要なし	その他
合計（全体）	1,243	717	453	679	717	562	90	69
	100.0%	57.7%	36.4%	54.6%	57.7%	45.2%	7.2%	5.6%
知的障がい者入所施設	717	417	98	332	298	341	66	51
	100.0%	58.2%	13.7%	46.3%	41.6%	47.6%	9.2%	7.1%
身体障がい者入所施設	526	300	355	347	419	221	24	18
	100.0%	57.0%	67.5%	66.0%	79.7%	42.0%	4.6%	3.4%
知的－身体（障がい種別による有意水準）		－	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊	＊＊	＊＊

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

- 障がい種別にＡＢＣＤ群とのクロス表を示したものが図Ⅱ－31、32、表Ⅱ－51、52である。
- 以下、本人が支援してほしいと希望していることについて、前掲の表Ⅱ－20、21も活用しながら総合的に分析を進めていくために、各選択肢別に分析する。

図Ⅱ－31：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する支援（知的障がい者施設利用者）

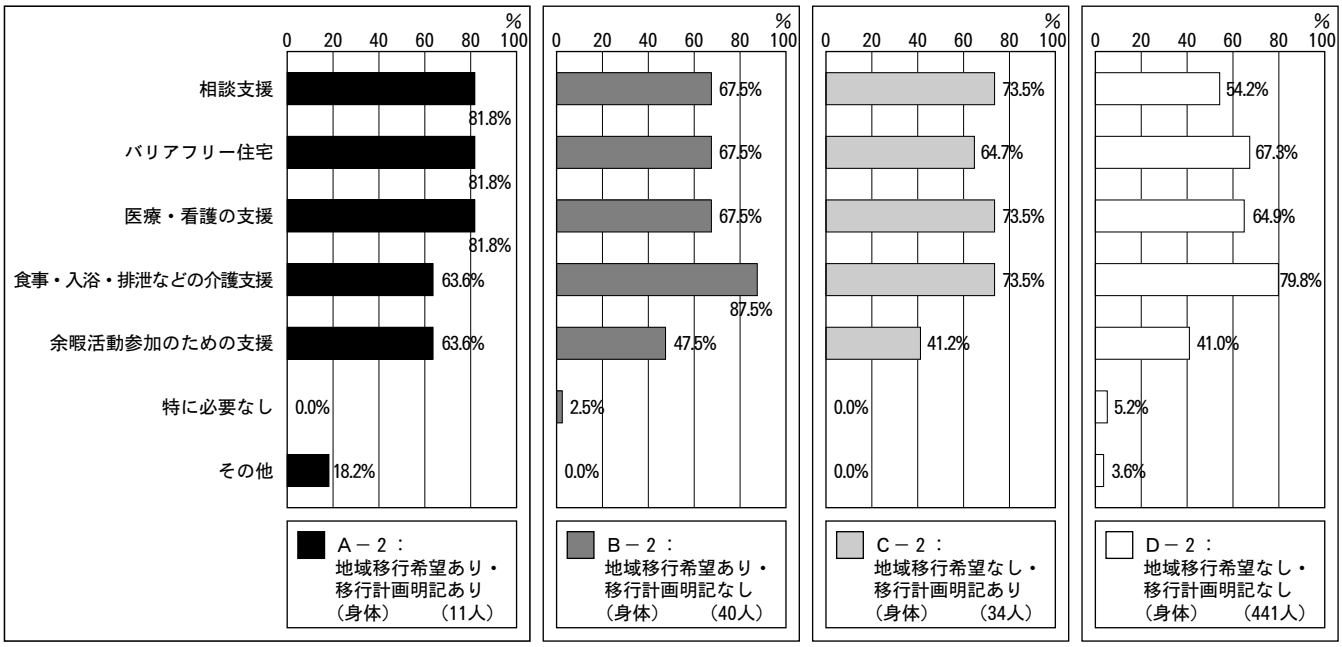


表Ⅱ－51：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合の希望する支援（知的障がい者施設利用者）

	対象者	相談支援	バリアフリー住宅	医療・看護の支援	食事・入浴・排泄などの介護支援	余暇活動参加のための支援	特に必要なし	その他
合計	717	417	98	332	298	341	66	51
	100.0%	58.2%	13.7%	46.3%	41.6%	47.6%	9.2%	7.1%
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	58	9	38	26	42	5	3
	100.0%	77.3%	12.0%	50.7%	34.7%	56.0%	6.7%	4.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	74	24	60	47	56	15	4
	100.0%	56.9%	18.5%	46.2%	36.2%	43.1%	11.5%	3.1%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	62	11	43	40	48	11	12
	100.0%	63.3%	11.2%	43.9%	40.8%	49.0%	11.2%	12.2%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	223	54	191	185	195	35	32
	100.0%	53.9%	13.0%	46.1%	44.7%	47.1%	8.5%	7.7%
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	205	132	33	98	73	98	20	7
	100.0%	64.4%	16.1%	47.8%	35.6%	47.8%	9.8%	3.4%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	512	285	65	234	225	243	46	44
	100.0%	55.7%	12.7%	45.7%	43.9%	47.5%	9.0%	8.6%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		－	－	－	＊	－	－	＊
ＡＣ群 移行計画明記あり（知的）	173	120	20	81	66	90	16	15
	100.0%	69.4%	11.6%	46.8%	38.2%	52.0%	9.2%	8.7%
ＢＤ群 移行計画明記なし（知的）	544	297	78	251	232	251	50	36
	100.0%	54.6%	14.3%	46.1%	42.6%	46.1%	9.2%	6.6%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		＊＊	－	－	－	－	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－32：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する支援（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－52：ＡＢＣＤ群別　本人が施設以外での暮らしを仮定した場合に希望する支援（身体障がい者施設利用者）

	対象者	相談支援	バリアフリー住宅	医療・看護の支援	食事・入浴・排泄などの介護支援	余暇活動参加のための支援	特に必要なし	その他
合計	526	300	355	347	419	221	24	18
	100.0%	57.0%	67.5%	66.0%	79.7%	42.0%	4.6%	3.4%
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	9	9	9	7	7	0	2
	100.0%	81.8%	81.8%	81.8%	63.6%	63.6%	0.0%	18.2%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	27	27	27	35	19	1	0
	100.0%	67.5%	67.5%	67.5%	87.5%	47.5%	2.5%	0.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	25	22	25	25	14	0	0
	100.0%	73.5%	64.7%	73.5%	73.5%	41.2%	0.0%	0.0%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	239	297	286	352	181	23	16
	100.0%	54.2%	67.3%	64.9%	79.8%	41.0%	5.2%	3.6%
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	51	36	36	36	42	26	1	2
	100.0%	70.6%	70.6%	70.6%	82.4%	51.0%	2.0%	3.9%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	475	264	319	311	377	195	23	16
	100.0%	55.6%	67.2%	65.5%	79.4%	41.1%	4.8%	3.4%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		－	－	－	－	－	－	－
ＡＣ群 移行計画明記あり（身体）	45	34	31	34	32	21	0	2
	100.0%	75.6%	68.9%	75.6%	71.1%	46.7%	0.0%	4.4%
ＢＤ群 移行計画明記なし（身体）	481	266	324	313	387	200	24	16
	100.0%	55.3%	67.4%	65.1%	80.5%	41.6%	5.0%	3.3%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		*	－	－	－	－	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

① 相談支援

- 本人が施設を出て暮らすことへの思いのなかで「相談する人がいなくなり困りそう」を選択した人は、障がい種別やＡＢＣＤ群で大きな違いはない。いずれの障がいやいずれの群でも 3 ～ 4 割の人が地域で相談する人がいないことへの不安を抱いている（表Ⅱ－20、21)。
- 本人が相談支援を必要としている人は、障がい種別で大きな違いはなく、いずれの障がいにおいても半数以上の人が施設以外で暮らす場合に相談支援が必要と感じている（表Ⅱ－51、52)。

- 特にＡ群の人が相談支援を必要とする割合は非常に高く、知的障がい者施設利用者で77.3%、身体障がい者施設利用者で81.8%にのぼる。地域移行が明記されて具体的な取り組みがされている（ＡＣ）群の方が、明記されていない（ＢＤ）群に比べて相談支援を必要とする人の割合が多い傾向がみうけられる。

- 支援者側が本人の地域移行に必要な支援として相談支援を挙げた人の割合は表Ⅱ－53、54に示されている。

- 知的障がい者施設支援者の 4 ～ 6 割、身体障がい者施設支援者の 5 ～ 7 割が相談支援を必要と考えている（表Ⅱ－53、54、55)。
- 障がい種別に関わりなく、相談支援の充実が必要である。

② バリアフリー住宅

- 知的障がい者施設利用者と身体障がい者施設利用者とで顕著な違いが認められる。
- 表Ⅱ－50、51、52からわかるように、知的障がい者施設利用者ではバリアフリー住宅を希望する人は 1 割超であるが、身体障がい者施設利用者では 6 ～ 8 割の人が希望している。
- 特にＡ群では81.8%もの人がバリアフリー住宅を希望している。ＢＣＤ群についても、 6 割の人がバリアフリー住宅を希望している。
- 一方、支援者側が本人の地域移行に必要な支援として「住宅改造」を挙げた人の割合は表Ⅱ－53、54、55に示されている。
- こちらでも知的障がい者施設利用者では 1 ～ 2 割程度であるが、身体障がい者施設利用者では 3 ～ 5 割の人に対して住宅改造が必要であると考えられている。

- 身体障がい者施設利用者の地域移行に際しては、住宅環境を整備することが必要とされている。

③ 医療、看護

- 本人が施設を出て暮らす際に、現在の病気（障がい）を定期的に診てくれる病院が地域にあるかどうかを心配している人が、知的障がい者施設利用者では約3割程度、身体障がい者施設利用者では約 4 割程度いる。(表Ⅱ－20、21)。

- 本人が医療や看護の支援を必要と感じている人の割合は、身体障がい者施設利用者の方が知的障がい者施設利用者よりも多い（表Ⅱ－50、51、52)。
- 特に身体障がい者施設利用者のＡ群では81.8%の人が必要と感じている。施設入所中から医療や看護の支援を必要とする人が多いことが想定され、地域移行後も引き続き支援を受けたいと考えているものと考えられる。
- また、身体障がい者施設利用者に比べると割合は低いものの、知的障がい者施設利用者でも50%前後の人が医療、看護の支援を必要と感じている。
- 一方支援者として、本人の地域移行支援に際して医療体制面での不安を感じている人が、身体障がい者施設支援者（39.0%)、知的障がい者施設支援者（36.0%）ともに約4割弱いる（表Ⅱ－27)。
- また、支援者側が本人の地域移行に必要な支援として「医療体制の充実」を挙げた人の割合は表Ⅱ－53、54、55に示されている。
- 身体障がい者施設支援者は、Ａ群のうち90.9%の人に医療体制の充実が必要と考えている。また身体障がい者施設支援者のＢＣＤ群、知的障がい者施設支援者のＡＢＣＤ群ともに約５割程度の人に医療体制の充実が必要であると考えている。

- 身体障がい者施設利用者、知的障がい者施設利用者ともに医療や看護の支援を必要と感じているが、身体障がい者施設利用者の方がよりその傾向が高い。医療体制の充実が必要とされている。

④　介護支援

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、本人が施設以外で暮らすことについて介護面での心配を抱いている場合、地域移行の希望を持ちにくい傾向があること、また、家事援助や身体介護が必要な人については個別支援計画で地域移行が明記されにくい傾向があることについては、「３．施設利用者の思い」で述べたとおりである。
- また、本人が地域で暮らす際に、食事・入浴・排泄などの介護支援を必要としている人の割合は、知的障がい者施設利用者で約４割程度、身体障がい者施設利用者で約７割程度であり（表Ⅱ－50、51、52)、身体障がい者施設利用者の方がより介護支援を必要としていることがうかがえる。
- 一方、支援者側が本人の地域移行に必要な支援として「ヘルパー派遣（居宅介護)」を挙げた人の割合は知的障がい者施設支援者で約４割、身体障がい者施設支援者で約５割である（表Ⅱ－55)。
- 特に知的障がい者施設利用者では本人希望のないＣＤ群の方にヘルパー派遣（居宅介護）が必要と考えられていることから、ＣＤ群にはヘルパー派遣（居宅介護）が必要なより重度の人が属していると考えられる。このことは、前述のＡＢＣＤ群別療育手帳程度（表Ⅱ－12）から、ＤＣＢＡの順に重度（療育手帳Ａ）の人の割合が多いことからも裏付けられる。

- 地域移行を推進するにあたっては、重度の人が安心して生活できるように介護支援体制を充実させることが重要である。

⑤　余暇活動

- 本人が地域で暮らす際に、余暇活動参加のための支援を必要としている人の割合は、知的障がい者施設利用者で47.6%、身体障がい者施設利用者で42.0%であり、知的障がい者施設利用者の方が身体障がい者施設利用者よりも余暇活動支援を必要としている人の割合が高い（表Ⅱ－50)。
- また支援者側が本人の地域移行に必要な支援として「余暇活動」を挙げた人の割合は、知的障がい者施設支援者で66.6%、身体障がい者施設支援者で53.8%であり、支援者側の意識としても、知的障がい者施設支援者の方が身体障がい者施設支援者より余暇活動支援を必要と考えている（表Ⅱ－55)。

⑥　経済的支援

- 本人が施設以外で暮らすことについて、自分のお金で生活できるか心配している人の割合は、知的障がい者施設利用者で42.7%、身体障がい者施設利用者で54.4%であり、身体障がい者施設利用者の方が知的障がい者施設利用者よりも経済的な面で不安を抱いている人の割合が高い（表Ⅱ－19)。
- 金銭面での不安については、ＢＣＤ群間には特に大きな差はなく、知的障がい者施設利用者で約４割、身体障がい者施設利用者で約５～６割の人が金銭面での不安を抱いている。（表Ⅱ－20、21）
- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、Ａ群が心配している人の割合が最も高く（知的障がい者施設利用者49.3%、身体障がい者施設利用者72.7%)、地域移行がより具体的になっている人の方が金銭面の不安を抱いていることがうかがわれる。
- 一方、支援者側が本人の地域移行に必要な支援として「経済基盤の確保」を挙げた人の割合は、知的障がい者施設支援者で56.0%、身体障がい者施設支援者で46.5%であり、支援者側の意識としては本人の意識とは反対に、知的障がい者施設支援者の方が身体障がい者施設支援者よりも経済基盤の確保が必要であると考えている（表Ⅱ－55)。
- また「日常生活自立支援事業の活用（金銭管理等)」についても、知的障がい者施設支援者で52.4%、身体障がい者施設支援者で43.8%であり、知的障がい者施設支援者の方が身体障がい者施設支援者よりも必要であると考えている（表Ⅱ－55)。

（６）　支援者が地域移行支援に際して必要と思うこと

- ＡＢＣＤすべての群について、支援者として本人にどのような支援があれば地域での生活が可能になると考えているかを知るために支問13を設けている。

> **支問13　ご本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になると思いますか（○はいくつでも）**

①　知的障がい者施設支援者について

- ＡＢＣＤ群別に集計したものが図Ⅱ－33、表Ⅱ－53である。
- 特にＡ群は、入所者の意向を反映し施設側も積極的に地域移行をしようと取り組みを行っている群であるため、Ａ群の回答結果は、現在、地域移行しようと具体的に取り組んでいるなかで、支援者側が今最も必要性を感じているニーズを反映した結果と考えられる。Ａ群の支援者が必要と感じている支援のうち、割合の高いものとしては「生活の場」(88.0%)、「日中活動の場」(81.3%)、「外出支援」(69.3%)、「余暇活動」(68.0%)、「経済基盤の確保」(66.7%)、「相談できるところ」

（62.7%）が挙げられる。

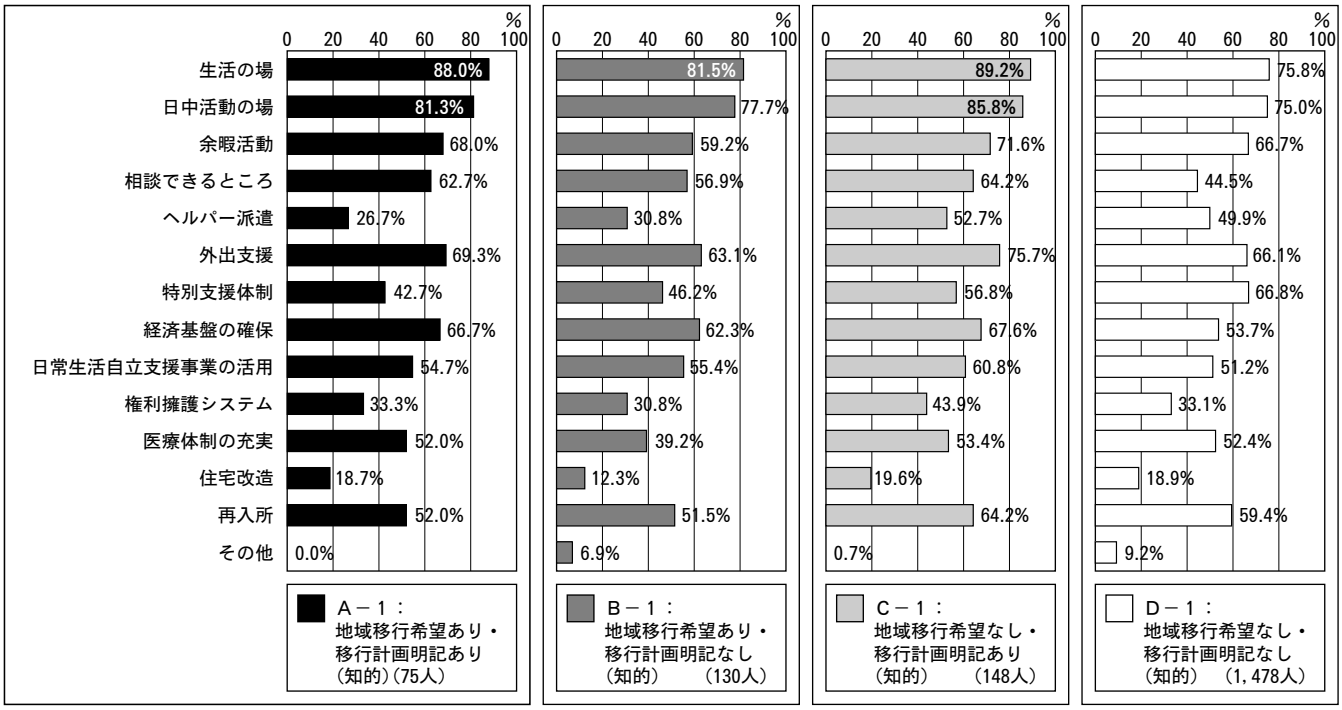
②　身体障がい者施設支援者について

- ＡＢＣＤ群別に集計したものが図Ⅱ－34、表Ⅱ－54である。
- ①と同じ分析視点にたつと、Ａ群の支援者が必要と感じている支援のうち、割合の高いものとして、「医療体制の充実」（90.9%）、「日中活動の場」（81.8%）、「生活の場」（72.7%）、「余暇活動」（63.6%）、「相談できるところ」（63.6%）が挙げられる。特に医療体制の充実の割合が高く、身体障がい者施設利用者の地域移行における医療的ケアの確保ニーズの高さが目をひく。

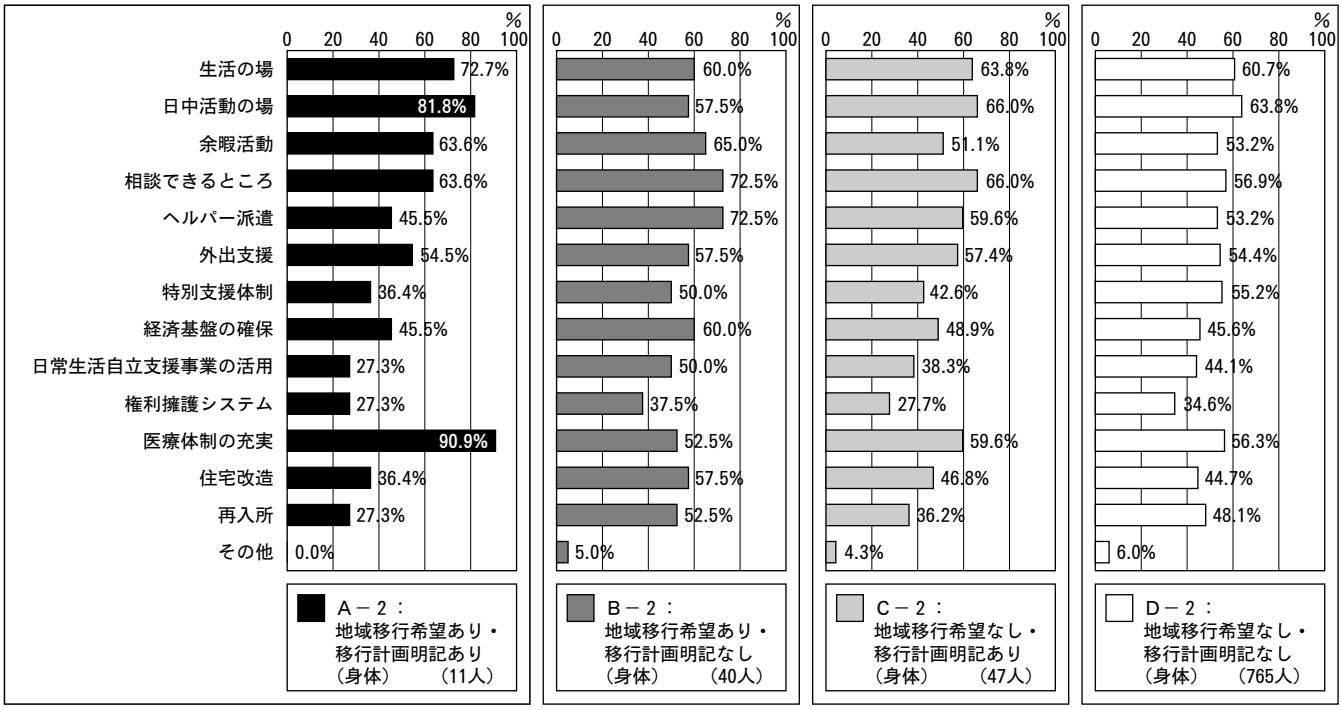
③　移行計画策定にあたり、支援者が必要と考えている支援

- 移行計画明記なし（ＢＤ）群は、支援者が地域移行に対して消極的な群である。すなわち、移行計画明記あり（ＡＣ）群との比較において差のある項目は、移行計画明記なし（ＢＤ）群が地域移行に消極的になっている要因（不安）を反映しているものと考えられ、その要因（不安）の軽減措置が、明記なし（ＢＤ）群を明記あり（ＡＣ）群へ移行する今後の支援策の重要なヒントになるものと考えられる。このため、明記なし（ＢＤ）群と明記あり（ＡＣ）群とで差のある項目について、障がい種別ごとにとりあげる。
- 知的障がい者施設利用者の場合、「障がい特性に応じた特別な支援体制」、「その他」である。
- 身体障がい者施設利用者の場合、「障がい特性に応じた特別な支援体制」、「日常生活自立支援事業の活用」、「権利擁護システム」、「その他」である。
- 「その他」の内容として、自由記述欄では、障がい種別に関わらず、24時間体制の介護との内容の回答が多かった。

図Ⅱ－33：ＡＢＣＤ群別　本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になるか
（知的障がい者施設利用者）



図Ⅱ－34：ＡＢＣＤ群別　本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になるか
（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－53：ＡＢＣＤ群別　本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になるか（知的障がい者施設利用者）

	対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	特別支援体制	経済基盤の確保	生活自立支援事業の常用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所	その他
合計	1,831	1,425	1,397	1,220	874	876	1,223	1,163	1,025	959	619	944	338	1,079	146
	100.0%	77.8%	76.3%	66.6%	47.7%	47.8%	66.8%	63.5%	56.0%	52.4%	33.8%	51.6%	18.5%	58.9%	8.0%
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	66	61	51	47	20	52	32	50	41	25	39	14	39	0
	100.0%	88.0%	81.3%	68.0%	62.7%	26.7%	69.3%	42.7%	66.7%	54.7%	33.3%	52.0%	18.7%	52.0%	0.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	106	101	77	74	40	82	60	81	72	40	51	16	67	9
	100.0%	81.5%	77.7%	59.2%	56.9%	30.8%	63.1%	46.2%	62.3%	55.4%	30.8%	39.2%	12.3%	51.5%	6.9%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	148	132	127	106	95	78	112	84	100	90	65	79	29	95	1
	100.0%	89.2%	85.8%	71.6%	64.2%	52.7%	75.7%	56.8%	67.6%	60.8%	43.9%	53.4%	19.6%	64.2%	0.7%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,478	1,121	1,108	986	658	738	977	987	794	756	489	775	279	878	136
	100.0%	75.8%	75.0%	66.7%	44.5%	49.9%	66.1%	66.8%	53.7%	51.2%	33.1%	52.4%	18.9%	59.4%	9.2%
ＡＢ群	205	172	162	128	121	60	134	92	131	113	65	90	30	106	9
地域移行希望あり（知的）	100.0%	83.9%	79.0%	62.4%	59.0%	29.3%	65.4%	44.9%	63.9%	55.1%	31.7%	43.9%	14.6%	51.7%	4.4%
ＣＤ群	1,626	1,253	1,235	1,092	753	816	1,089	1,071	894	846	554	854	308	973	137
地域移行希望なし（知的）	100.0%	77.1%	76.0%	67.2%	46.3%	50.2%	67.0%	65.9%	55.0%	52.0%	34.1%	52.5%	18.9%	59.8%	8.4%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊	－	－	＊＊＊	＊＊＊	－	＊＊＊	＊	－	－	＊	－	＊	＊
ＡＣ群	223	198	188	157	142	98	164	116	150	131	90	118	43	134	1
移行計画明記あり（知的）	100.0%	88.8%	84.3%	70.4%	63.7%	43.9%	73.5%	52.0%	67.3%	58.7%	40.4%	52.9%	19.3%	60.1%	0.4%
ＢＤ群	1,608	1,227	1,209	1,063	732	778	1059	1047	875	828	529	826	295	945	145
移行計画明記なし（知的）	100.0%	76.3%	75.2%	66.1%	45.5%	48.4%	65.9%	65.1%	54.4%	51.5%	32.9%	51.4%	18.3%	58.8%	9.0%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊	－	＊＊＊	－	＊	＊＊＊	＊＊＊	＊	＊	－	－	－	＊＊＊

表Ⅱ－54：ＡＢＣＤ群別　本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になるか（身体障がい者施設利用者）

	対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	特別支援体制	経済基盤の確保	日常生活自立支援事業の活用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所	その他
合計	863	526	551	464	502	469	472	466	401	378	296	490	391	409	50
	100.0%	61.0%	63.8%	53.8%	58.2%	54.3%	54.7%	54.0%	46.5%	43.8%	34.3%	56.8%	45.3%	47.4%	5.8%
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	8	9	7	7	5	6	4	5	3	3	10	4	3	0
	100.0%	72.7%	81.8%	63.6%	63.6%	45.5%	54.5%	36.4%	45.5%	27.3%	27.3%	90.9%	36.4%	27.3%	0.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	24	23	26	29	29	23	20	24	20	15	21	23	21	2
	100.0%	60.0%	57.5%	65.0%	72.5%	72.5%	57.5%	50.0%	60.0%	50.0%	37.5%	52.5%	57.5%	52.5%	5.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	47	30	31	24	31	28	27	20	23	18	13	28	22	17	2
	100.0%	63.8%	66.0%	51.1%	66.0%	59.6%	57.4%	42.6%	48.9%	38.3%	27.7%	59.6%	46.8%	36.2%	4.3%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	765	464	488	407	435	407	416	422	349	337	265	431	342	368	46
	100.0%	60.7%	63.8%	53.2%	56.9%	53.2%	54.4%	55.2%	45.6%	44.1%	34.6%	56.3%	44.7%	48.1%	6.0%

	対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	特別支援体制	経済基盤の確保	日常生活自立支援事業の活用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所	その他
ＡＢ群	51	32	32	33	36	34	29	24	29	23	18	31	27	24	2
地域移行希望あり（身体）	100.0%	62.7%	62.7%	64.7%	70.6%	66.7%	56.9%	47.1%	56.9%	45.1%	35.3%	60.8%	52.9%	47.1%	3.9%
ＣＤ群	812	494	519	431	466	435	443	442	372	355	278	459	364	385	48
地域移行希望なし（身体）	100.0%	60.8%	63.9%	53.1%	57.4%	53.6%	54.6%	54.4%	45.8%	43.7%	34.2%	56.5%	44.8%	47.4%	5.9%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊	－	－	＊＊＊	＊＊＊	－	＊＊＊	＊	－	－	＊	－	＊	＊

	対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	特別支援体制	経済基盤の確保	日常生活自立支援事業の活用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所	その他
ＡＣ群	58	38	40	31	38	33	33	24	28	21	16	38	26	20	2
移行計画明記あり（身体）	100.0%	65.5%	69.0%	53.4%	65.5%	56.9%	56.9%	41.4%	48.3%	36.2%	27.6%	65.5%	44.8%	34.5%	3.4%
ＢＤ群	805	488	511	433	464	436	439	442	373	357	280	452	365	389	48
移行計画明記なし（身体）	100.0%	60.6%	63.5%	53.8%	57.6%	54.2%	54.5%	54.9%	46.3%	44.3%	34.8%	56.1%	45.3%	48.3%	6.0%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊	－	＊＊＊	－	＊	＊＊＊	＊＊＊	＊	＊	－	－	－	＊＊＊

表Ⅱ－55：ＡＢＣＤ群別　本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になるか（全体）

	対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	特別支援体制	経済基盤の確保	日常生活自立支援事業の活用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所	その他
合計（全体）	2,694	1,951	1,948	1,684	1,376	1,345	1,695	1,629	1,426	1,337	915	1,434	729	1,488	196
	100.0%	72.4%	72.3%	62.5%	51.1%	49.9%	62.9%	60.5%	52.9%	49.6%	34.0%	53.2%	27.1%	55.2%	7.3%
知的障がい者入所施設	1,831	1,425	1,397	1,220	874	876	1,223	1,163	1,025	959	619	944	338	1,079	146
	100.0%	77.8%	76.3%	66.6%	47.7%	47.8%	66.8%	63.5%	56.0%	52.4%	33.8%	51.6%	18.5%	58.9%	8.0%
身体障がい者入所施設	863	526	551	464	502	469	472	466	401	378	296	490	391	409	50
	100.0%	61.0%	63.8%	53.8%	58.2%	54.3%	54.7%	54.0%	46.5%	43.8%	34.3%	56.8%	45.3%	47.4%	5.8%
知的－身体（障がい種別による有意水準）		＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－	＊＊	＊＊＊	＊	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。

・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

6　施設利用者への地域移行に向けた取り組み

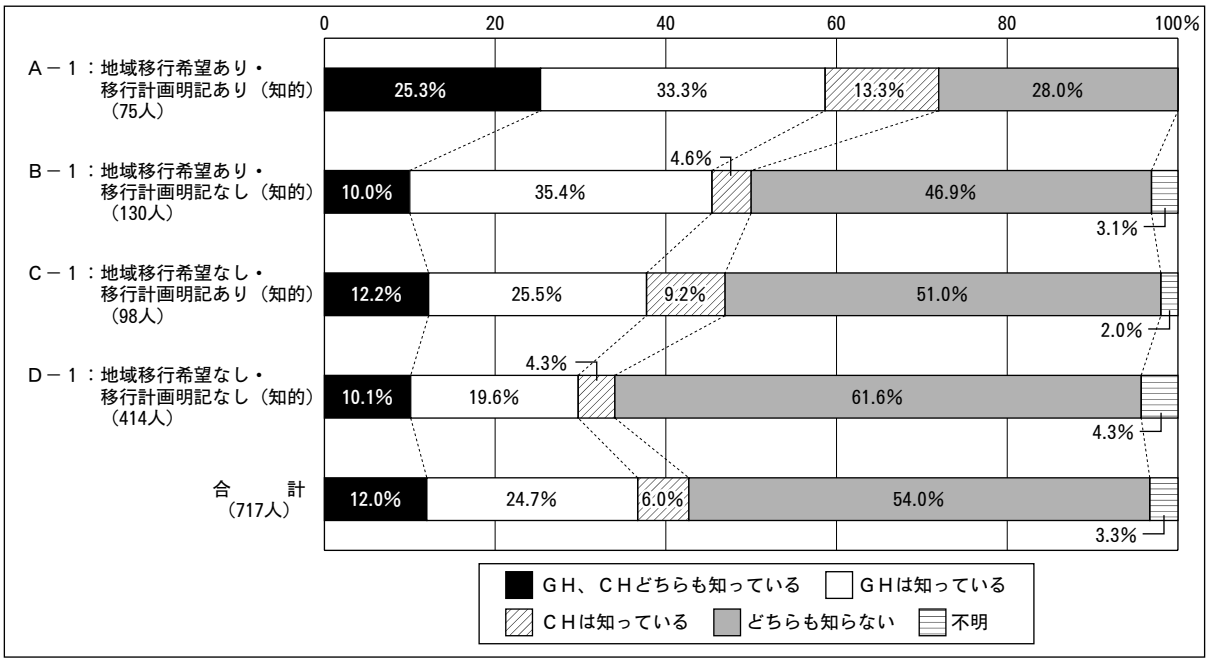
（1） グループホーム・ケアホームの認知度と本人希望との関連

地域移行の希望や個別支援計画の明記の有無とグループホーム等の情報を知っていることとが、どのように関連しているかを分析していく。グループホームやケアホームの認知度を知るために、本問６－１を設けている。

> **本問６－１　地域で生活する場にグループホームやケアホームがありますが、あなたはグループホームやケアホームを知っていますか？（○は一つだけつけてください）**

- 知的障がい者施設利用者では、グループホームあるいはケアホームの少なくともどちらかを知っている人の割合は全体では42.7％となっており、４群のなかではＡ群が最も高く（72.0％）、次いでＢ群（50.0％）、Ｃ群(46.9％)、Ｄ群（34.1％）となっている（図Ⅱ－35、表Ⅱ－56）。
- 本人の希望があり計画にも地域移行が明記されている場合は、約７割の人が何らかの形でグループホーム等についての情報を知っていることになる。
- グループホーム等の情報を知っている人の割合は、本人希望のないＣＤ群よりも希望があるＡＢ群の方が多く、グループホーム等の情報を知っていることと本人の地域移行の希望には関連がみられる。
- また、地域移行が明記されていないＢＤ群よりも明記されているＡＣ群の方が、グループホームについての情報を知っている人の割合が多い。こちらについても地域移行が明記されている人については何らかの形でグループホーム等についての情報が本人に提供されていることが多いと考えられる。
- 一方、身体障がい者施設利用者では、グループホームあるいはケアホームの少なくともどちらかを知っている人の割合は全体では34.6％であり、４群のなかではＣ群が最も高く（52.9％）、次いでＡ群（45.5％）、Ｂ群（45.0％）、Ｄ群（32.0％）となっている（図Ⅱ－36、表Ⅱ－57）。
- 身体障がい者施設利用者の場合はグループホーム等の認知と本人希望との関連はみられないが、個別支援計画に明記されているＡＣ群の方が明記されていないＢＤ群よりもグループホーム等について知っている人の割合が高い。
- グループホーム等についての認知が本人希望とは関連していないものの、明記されている人については知的障がい者施設利用者と同様に何らかの形でグループホーム等についての情報が本人に提供されていることが多いと考えられる。

図Ⅱ－35：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの認知（知的障がい者施設利用者）

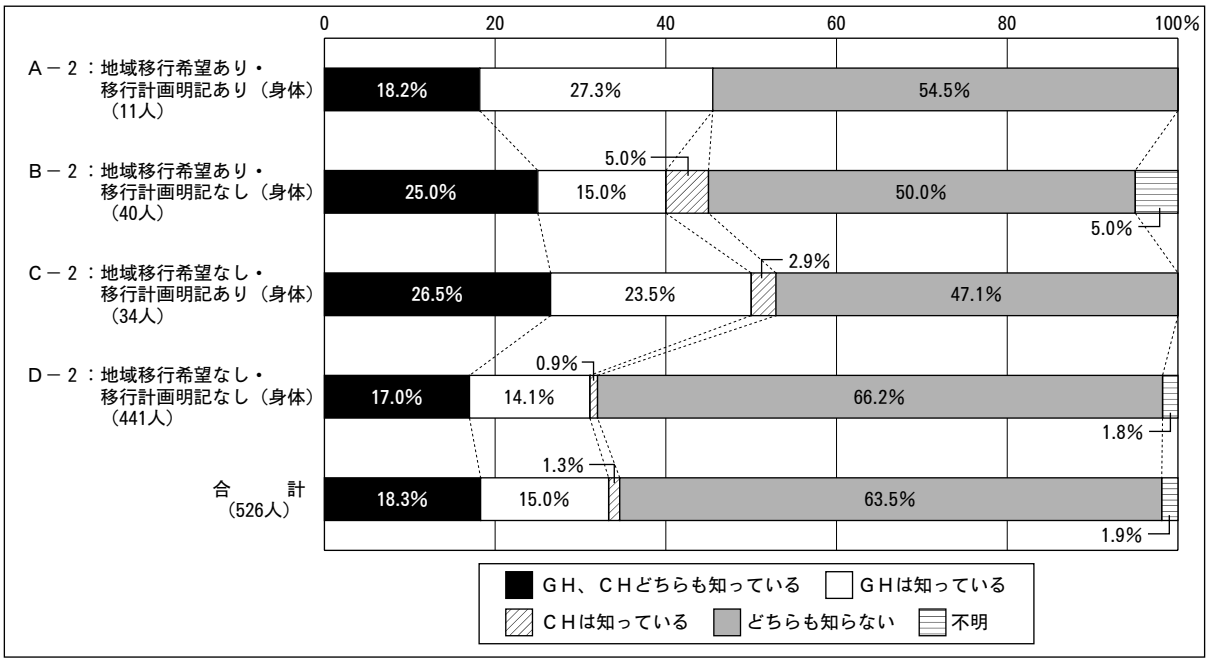


表Ⅱ－56：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの認知（知的障がい者施設利用者）

	対象者	GH、CHどちらも知っている (a)	GHは知っている (b)	CHは知っている (c)	少なくともどちらか知っている (a+b+c)	どちらも知らない (d)
合計	717	86	177	43	306	387
	100.0%	12.0%	24.7%	6.0%	42.7%	54.0%
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	19	25	10	54	21
	100.0%	25.3%	33.3%	13.3%	72.0%	28.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	13	46	6	65	61
	100.0%	10.0%	35.4%	4.6%	50.0%	46.9%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	12	25	9	46	50
	100.0%	12.2%	25.5%	9.2%	46.9%	51.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	42	81	18	141	255
	100.0%	10.1%	19.6%	4.3%	34.1%	61.6%
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	205	32	71	16	119	82
	100.0%	15.6%	34.6%	7.8%	58.0%	40.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	512	54	106	27	187	305
	100.0%	10.5%	20.7%	5.3%	36.5%	59.6%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）					＊＊＊	
ＡＣ群 移行計画明記あり（知的）	173	31	50	19	100	71
	100.0%	17.9%	28.9%	11.0%	57.8%	41.0%
ＢＤ群 移行計画明記なし（知的）	544	55	127	24	206	316
	100.0%	10.1%	23.3%	4.4%	37.9%	58.1%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）					＊＊＊	

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－36：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの認知（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－57：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの認知（身体障がい者施設利用者）

	対象者	GH、CHどちらも知っている (a)	GHは知っている (b)	CHは知っている (c)	少なくともどちらか知っている (a+b+c)	どちらも知らない (d)
合計	526	96	79	7	182	334
	100.0%	18.3%	15.0%	1.3%	34.6%	63.5%
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	2	3	0	5	6
	100.0%	18.2%	27.3%	0.0%	45.5%	54.5%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	10	6	2	18	20
	100.0%	25.0%	15.0%	5.0%	45.0%	50.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	9	8	1	18	16
	100.0%	26.5%	23.5%	2.9%	52.9%	47.1%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	75	62	4	141	292
	100.0%	17.0%	14.1%	0.9%	32.0%	66.2%
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	51	12	9	2	23	26
	100.0%	23.5%	17.6%	3.9%	45.1%	51.0%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	475	84	70	5	159	308
	100.0%	17.7%	14.7%	1.1%	33.5%	64.8%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）					－	
ＡＣ群 移行計画明記あり（身体）	45	11	11	1	23	22
	100.0%	24.4%	24.4%	2.2%	51.1%	48.9%
ＢＤ群 移行計画明記なし（身体）	481	85	68	6	159	312
	100.0%	17.7%	14.1%	1.2%	33.1%	64.9%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）					＊	

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

（２） グループホーム等の体験談聴取の有無とその感想

- グループホームやケアホームの利用者から体験談を聞いた人を対象に、その体験談の感想を調査したものが図Ⅱ－37、38、表Ⅱ－58、59である。

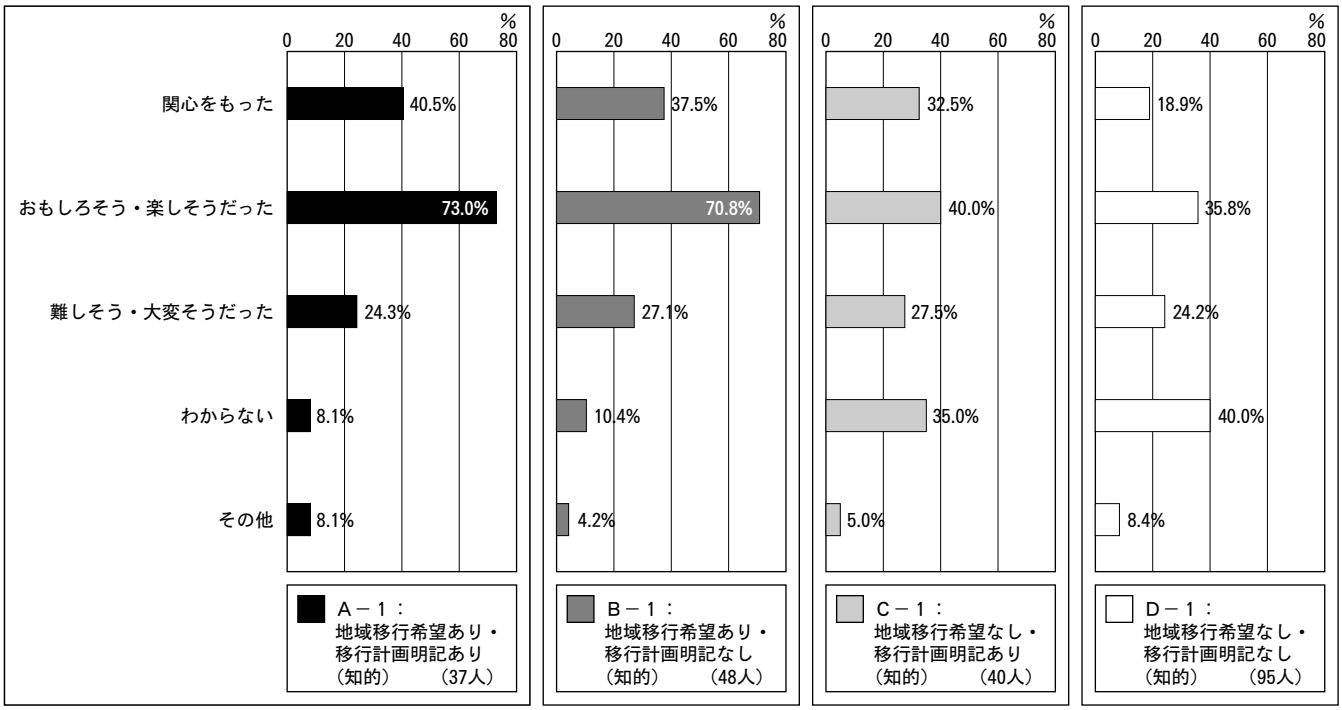
> **本問６－２付問　体験談を聞いたことがあると答えた方にお聞きします。話を聞いてどう思いましたか。あてはまるものに、○をいくつでもつけてください。**

- 知的障がい者施設利用者全体をみると、「おもしろそう・楽しそう」が最も多く（50.5%）、次に「関心をもった」（29.1%）、「わからない」（27.3%）、「難しそう・大変そう」（25.5%）となっている。４群別ではＡ群、Ｂ群ともに「おもしろそう・楽しそう」を選択した人の割合が最も高く（Ａ群73.0%、Ｂ群70.8%）、地域移行の希望がある人はグループホームやケアホームに関して好奇心をもち肯定的に捉えていることがうかがえる。
- 一方、「わからない」を選択した人の割合はＣ、Ｄ群に多い。

> - 地域移行の希望がない人は具体的な感想をいだくことができておらず、体験談を聞く機会を増やしたり話を聞いてイメージしやすいように工夫したりするような支援が期待される。

- 「難しそう・大変そうだった」を選択した人の割合はＡＢＣＤ各群とも20%台であり、グループホームやケアホームに対する消極的な感想は地域移行の希望には関連していない。
- 身体障がい者施設利用者では、Ａ、Ｂ、Ｃ群では対象者が非常に少ないことから一概には言えないが、全体的には「難しそう・大変そうだった」を選択した人の割合が一番高く（43.5%）、次いで「わからない」（32.6%）「関心をもった」（26.8%）「おもしろそう・楽しそうだった」（22.5%）であった。

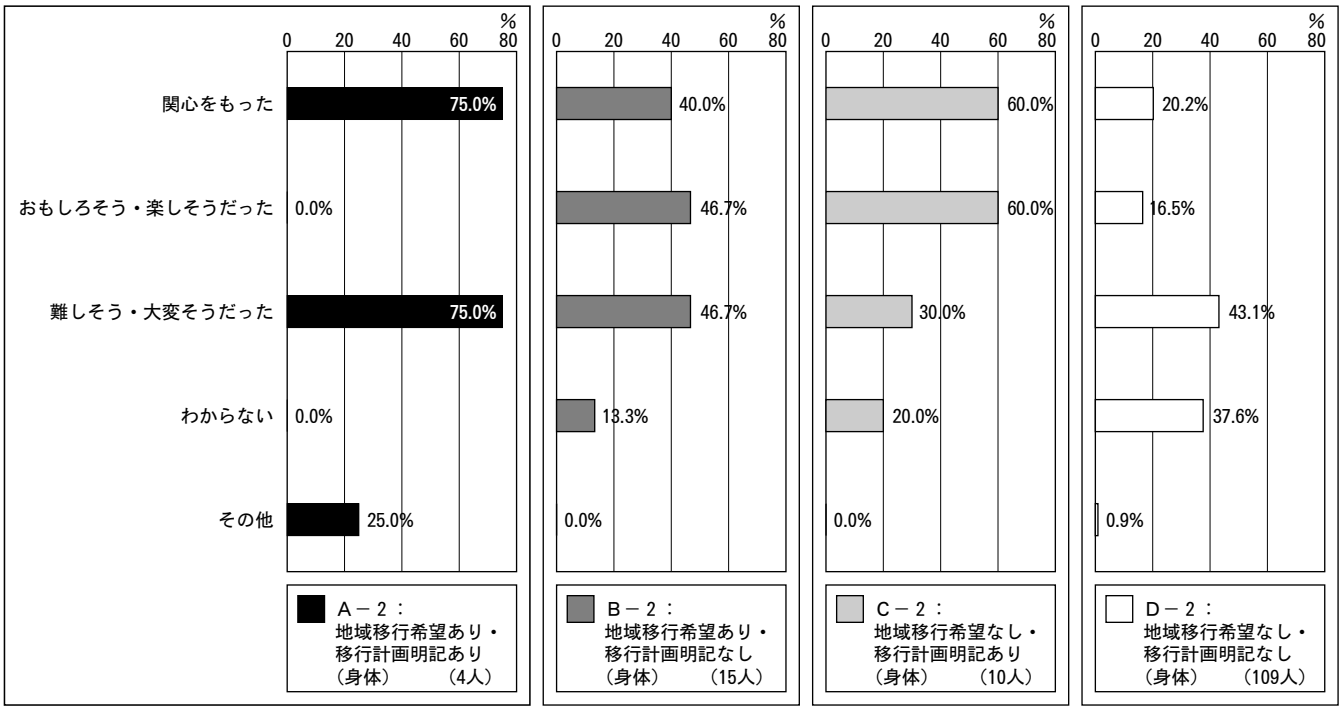
図Ⅱ－37：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（知的障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがある」と選択した人）



表Ⅱ－58：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（知的障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがある」と選択した人）

	対象者	関心をもった	おもしろそう・楽しそうだった	難しそう・大変そうだった	わからない	その他
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	37	15	27	9	3	3
	100.0%	40.5%	73.0%	24.3%	8.1%	8.1%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	48	18	34	13	5	2
	100.0%	37.5%	70.8%	27.1%	10.4%	4.2%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	40	13	16	11	14	2
	100.0%	32.5%	40.0%	27.5%	35.0%	5.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	95	18	34	23	38	8
	100.0%	18.9%	35.8%	24.2%	40.0%	8.4%
合計	220	64	111	56	60	15
	100.0%	29.1%	50.5%	25.5%	27.3%	6.8%

図Ⅱ－38：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（身体障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがある」と選択した人）



表Ⅱ－59：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（身体障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがある」と選択した人）

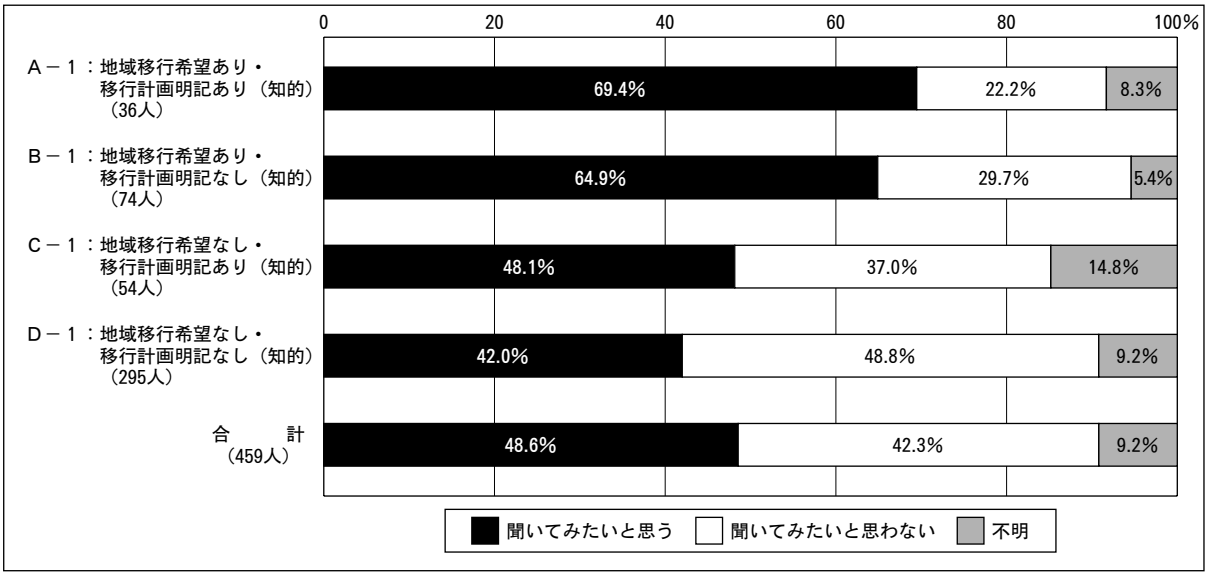
	対象者	関心をもった	おもしろそう・楽しそうだった	難しそう・大変そうだった	わからない	その他
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	4	3	0	3	0	1
	100.0%	75.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	15	6	7	7	2	0
	100.0%	40.0%	46.7%	46.7%	13.3%	0.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	10	6	6	3	2	0
	100.0%	60.0%	60.0%	30.0%	20.0%	0.0%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	109	22	18	47	41	1
	100.0%	20.2%	16.5%	43.1%	37.6%	0.9%
合計	138	37	31	60	45	2
	100.0%	26.8%	22.5%	43.5%	32.6%	1.4%

- グループホームやケアホームの利用者体験談を聞いたことがない人を対象に、体験談を聞いてみたいと思うかどうかを調査したものが図Ⅱ－39、40、表Ⅱ－60、61である。

> **本問６－２付問　体験談を聞いたことがないと答えた方にお聞きします。話を聞いてみたいと思いますか？**
> **（○は一つ）**

- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、地域移行の希望のある人の方が希望がない人に比べて聞いてみたいと思う人の割合は高く、地域移行の希望がある人はグループホーム等についての関心が高いことがわかる。

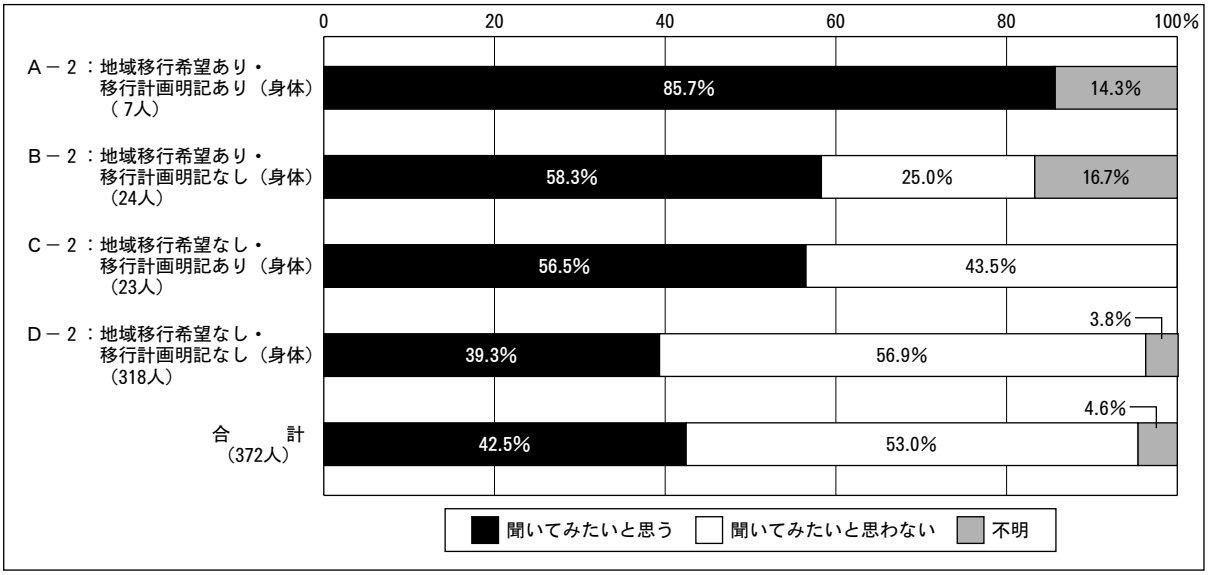
図Ⅱ－39：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（知的障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがない」と選択した人）



表Ⅱ－60：ＡＢＣＤ群別 グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（知的障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがない」と選択した人）

	聞いてみたいと思う	聞いてみたいと思わない	不　明	合　計
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	25 69.4%	8 22.2%	3 8.3%	36 100.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	48 64.9%	22 29.7%	4 5.4%	74 100.0%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	26 48.1%	20 37.0%	8 14.8%	54 100.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	124 42.0%	144 48.8%	27 9.2%	295 100.0%
合　計	223 48.6%	194 42.3%	42 9.2%	459 100.0%

図Ⅱ－40：ＡＢＣＤ群別　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（身体障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがない」と選択した人）



表Ⅱ－61：ＡＢＣＤ群別 グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（身体障がい者施設利用者）
（対象：体験談を「聞いたことがない」と選択した人）

	聞いてみたいと思う	聞いてみたいと思わない	不　明	合　計
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	14 58.3%	6 25.0%	4 16.7%	24 100.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	13 56.5%	10 43.5%	0 0.0%	23 100.0%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	125 39.3%	181 56.9%	12 3.8%	318 100.0%
合　計	158 42.5%	197 53.0%	17 4.6%	372 100.0%

（３） グループホーム等の体験談聴取の有無と施設生活についての思いとの関連

- グループホーム・ケアホームの体験談を聞くことと施設生活についての思いとが、どのような関連をもつのかを分析する。
- 施設生活についての思いを分類するために、問２の①から⑦の項目について因子分析した。最尤法によりプロマックス回転を行い、さらに、因子負荷量の低い項目を削除して得られた最終的な結果が表Ⅱ－62である。なお、本問２の⑦は、逆転項目としている。

表Ⅱ－62：施設生活への思い　因子分析表

施設生活への思い	第１因子	第２因子
⑥自分のしたいことを自由にできない	0.677	－0.110
④いろんな規則が多い	0.520	0.108
⑤プライバシーが守られない	0.505	0.014
③すぐに相談にのってくれる人がいる	0.082	0.504
②日常生活に困らない	0.002	0.489
①楽しい	－0.219	0.487
⑦わからない・逆	0.234	0.399
寄与率	16.7	12.0
累積寄与率	16.7	28.7
解釈	マイナス評価	プラス評価
クロンバッハの信頼性係数	0.582	0.517

因子抽出法：最尤法　　回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

- 第１因子は、「自分のしたいことを自由にできない」、「いろんな規則が多い」、「プライバシーが守られない」の項目が含まれ、今の施設での暮らしについての「マイナス評価」と解釈できる。
- 第２因子は、「すぐに相談にのってくれる人がいる」、「日常生活に困らない」、「楽しい」、「わからない」の項目が含まれ、「プラス評価」と解釈できる。
- 第１因子に対して因子負荷量の高い３項目について、○がついていれば１点、ついていなければ０点として、対象者におけるそれぞれの項目の点数を合計して対象者のマイナス評価得点とする。
- 同様に、第２因子に対して因子負荷量の高い４項目について、○がついていれば１点、ついていなければ０点として、対象者におけるそれぞれの項目の点数を合計して対象者のプラス評価得点とする。

- グループホーム等の体験談を聞くことと今の施設での暮らしについての評価とに関連があるかどう

かを分析する。

- 知的障がい者施設利用者では、グループホーム等の体験談を聞くことと今の施設での暮らしについての評価との間には関連はみられない（表Ⅱ－63、64)。

表Ⅱ－63：グループホーム体験談聴取の有無別　施設で暮らすことについてのプラス評価（知的障がい者施設利用者）

	施設で暮らすことについてのプラス評価					合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	どちらでもない（2点）	やや高い（3点）	非常に高い（4点）	
GH体験談を聞いたことがある（知的）	10	19	67	62	61	219
	4.6%	8.7%	30.6%	28.3%	27.9%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（知的）	35	37	122	146	118	458
	7.6%	8.1%	26.6%	31.9%	25.8%	100.0%
合計	45	56	189	208	179	677
	6.6%	8.3%	27.9%	30.7%	26.4%	100.0%
GH体験談聴取の有無	－					

表Ⅱ－64：グループホーム体験談聴取の有無別　施設で暮らすことについてのマイナス評価（知的障がい者施設利用者）

	施設で暮らすことについてのマイナス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	やや高い（2点）	非常に高い（3点）	
GH体験談を聞いたことがある（知的）	84	66	45	24	219
	38.4%	30.1%	20.5%	11.0%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（知的）	203	134	82	39	458
	44.3%	29.3%	17.9%	8.5%	100.0%
合計	287	200	127	63	677
	42.4%	29.5%	18.8%	9.3%	100.0%
GH体験談聴取の有無	－				

- 身体障がい者施設利用者では、グループホーム等の体験談を聞くことと今の施設に対するマイナス評価との間に関連がみられる。グループホームの体験談を聞いたことがない人は施設に対するマイナス評価が全くない人の割合が高いが、グループホームの体験談を聞いたことがある人は少しでもマイナス評価をしている人の割合が高い（表Ⅱ－65、66)。
- このことから、グループホームの体験談を聞いたことがある人は、施設生活に対して、規則が多かったりプライバシーが守られなかったりという感想をもつ人が多いことがわかる。

表Ⅱ－65：グループホーム体験談聴取の有無別　施設で暮らすことについてのプラス評価（身体障がい者施設利用者）

	施設で暮らすことについてのプラス評価					合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	どちらでもない（2点）	やや高い（3点）	非常に高い（4点）	
GH体験談を聞いたことがある（身体）	3	21	41	41	32	138
	2.2%	15.2%	29.7%	29.7%	23.2%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（身体）	22	44	93	97	115	371
	5.9%	11.9%	25.1%	26.1%	31.0%	100.0%
合計	25	65	134	138	147	509
	4.9%	12.8%	26.3%	27.1%	28.9%	100.0%
GH体験談聴取の有無	－					

表Ⅱ－66：グループホーム体験談聴取の有無別　施設で暮らすことについてのマイナス評価（身体障がい者施設利用者）

	施設で暮らすことについてのマイナス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	やや高い（2点）	非常に高い（3点）	
GH体験談を聞いたことがある（身体）	40 29.0%	39 28.3%	34 24.6%	25 18.1%	138 100.0%
GH体験談を聞いたことがない（身体）	161 43.4%	79 21.3%	81 21.8%	50 13.5%	371 100.0%
合計	201 39.5%	118 23.2%	115 22.6%	75 14.7%	509 100.0%
GH体験談聴取の有無	＊＊				

（4） グループホーム等の体験談聴取の有無と施設を出て暮らすことについての思いとの関連

- グループホーム・ケアホームの体験談を聞くことと、施設を出て暮らすことについての評価とがどのような関連をもつのかについて分析する。
- 「3.（2）施設を出て暮らすことについての思い」で述べた因子分析を用いて、施設を出て暮らすことについてのマイナス評価得点・プラス評価得点と、グループホーム等の体験談聴取の有無との関連をみる。
- 知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、体験談を聞いたことがある人は、聞いたことがない人よりも、施設を出て暮らすことについてのプラス評価得点が非常に高い人の割合が高い（表Ⅱ－67、69）。
- グループホームの体験談を聞いたことがある人ほど、施設を出て暮らすことについて肯定的なイメージを抱いている傾向がある。グループホームの体験談を聞くことが地域生活について肯定的に捉えられる要因の一つとして考えられる。
- 一方、マイナス評価得点については、知的障がい者施設利用者、身体障がい者施設利用者ともに、グループホームの体験談を聞いたことがない人は、マイナス評価が全くない人と非常に高い人にわかれる傾向にあり、グループホームの体験談を聞いたことがある人はマイナス評価が中庸になる傾向がみられる。（表Ⅱ－68、70）。
- このことから、体験談を聞いたことがない人は施設を出て暮らすことについて楽観的すぎたり悲観的すぎたりする傾向があるが、体験談を聞いたことがある人は現実に即した不安や心配を抱いている傾向があると考えられる。

表Ⅱ－67：グループホーム体験談聴取の有無別　施設を出て暮らすことについてのプラス評価（知的障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのプラス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	やや高い（2点）	非常に高い（3～4点）	
GH体験談を聞いたことがある（知的）	75 35.0%	49 22.9%	36 16.8%	54 25.2%	214 100.0%
GH体験談を聞いたことがない（知的）	228 49.7%	92 20.0%	72 15.7%	67 14.6%	459 100.0%
合計	303 45.0%	141 21.0%	108 16.0%	121 18.0%	673 100.0%
GH体験談聴取の有無	＊＊				

表Ⅱ－68：グループホーム体験談聴取の有無別　施設を出て暮らすことについてのマイナス評価
（知的障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのマイナス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1～3点）	やや高い（4～6点）	非常に高い（7～9点）	
GH体験談を聞いたことがある（知的）	20	90	69	35	214
	9.3%	42.1%	32.2%	16.4%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（知的）	78	155	131	95	459
	17.0%	33.8%	28.5%	20.7%	100.0%
合計	98	245	200	130	673
	14.6%	36.4%	29.7%	19.3%	100.0%

GH体験談聴取の有無	＊＊

表Ⅱ－69：グループホーム体験談聴取の有無別　施設を出て暮らすことについてのプラス評価
（身体障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのプラス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1点）	やや高い（2点）	非常に高い（3～4点）	
GH体験談を聞いたことがある（身体）	59	37	21	21	138
	42.8%	26.8%	15.2%	15.2%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（身体）	227	78	35	31	371
	61.2%	21.0%	9.4%	8.4%	100.0%
合計	286	115	56	52	509
	56.2%	22.6%	11.0%	10.2%	100.0%

GH体験談聴取の有無	＊＊

表Ⅱ－70：グループホーム体験談聴取の有無別　施設を出て暮らすことについてのマイナス評価
（身体障がい者施設利用者）

	施設を出て暮らすことについてのマイナス評価				合計
	まったくない（0点）	やや低い（1～3点）	やや高い（4～6点）	非常に高い（7～9点）	
GH体験談を聞いたことがある（身体）	0	41	62	35	138
	0.0%	29.7%	44.9%	25.4%	100.0%
GH体験談を聞いたことがない（身体）	33	77	130	131	371
	8.9%	20.8%	35.0%	35.3%	100.0%
合計	33	118	192	166	509
	6.5%	23.2%	37.7%	32.6%	100.0%

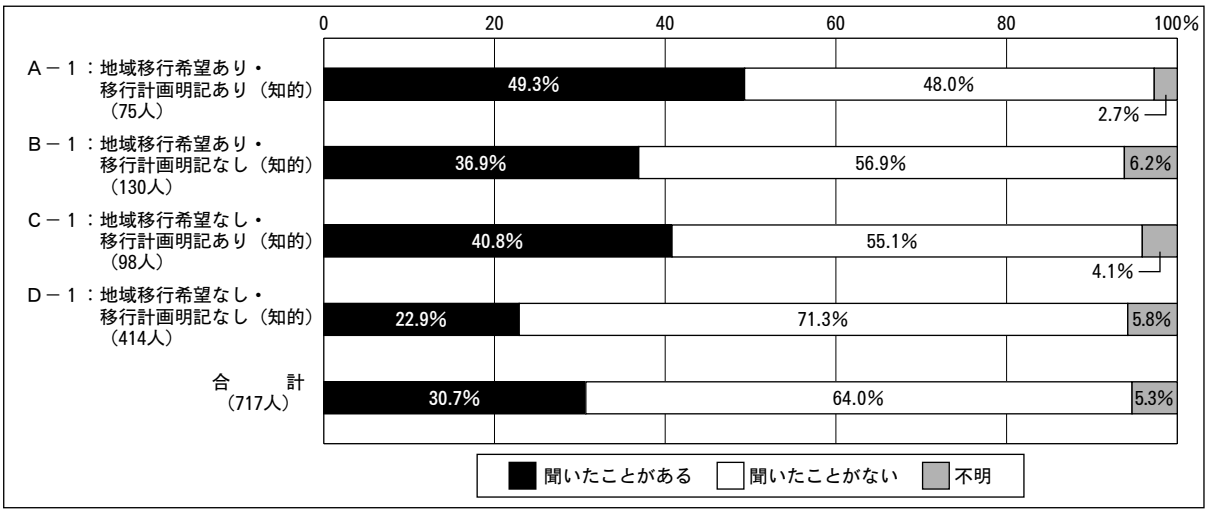
GH体験談聴取の有無	＊＊＊

（5） グループホーム等の体験談聴取の有無と本人希望との関連

- 地域移行希望とグループホーム等の体験談を聞いたことの有無との関連をみたものが図Ⅱ－41、42、表Ⅱ－71、72である。
- 知的障がい者施設利用者では、「聞いたことがある」を選択した人の割合はA群が最も高く（49.3%）、次いでC群（40.8%）、B群（36.9%）、D群（22.9%）となっている。
- 本人希望の有無や地域移行の明記の有無による有意差を調べたところ、どちらにおいても有意な差がみられた。本人希望のある（AB）群の方が希望のない（CD）群よりも、また地域移行が明記されている（AC）群の方が明記されていない（BD）群よりも「聞いたことがある」と答えた人の割合が有意に高い。

・　体験談を聞いたことがある人は地域移行の希望をもち、個別支援計画に地域移行が明記されやすいことが示唆されている。

図Ⅱ－41：ＡＢＣＤ群別　グループホーム等の利用者体験談を聞いたことの有無（知的障がい者施設利用者）



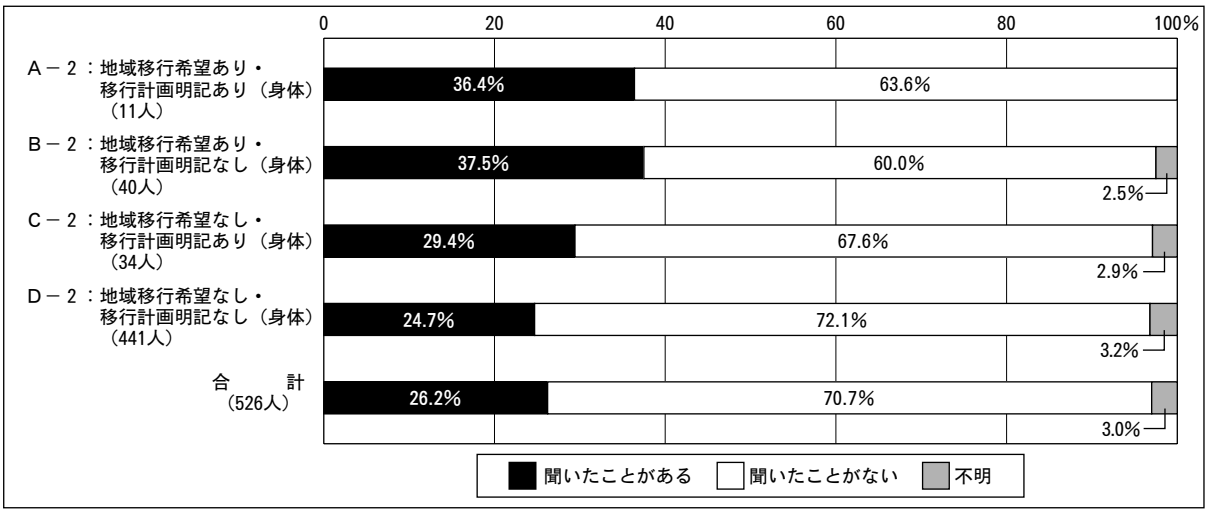
表Ⅱ－71：ＡＢＣＤ群別　グループホーム等の利用者体験談を聞いたことの有無
（知的障がい者施設利用者）

	対象者	聞いたことがある	聞いたことがない
合計	717	220	459
	100.0%	30.7%	64.0%
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	37	36
	100.0%	49.3%	48.0%
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	48	74
	100.0%	36.9%	56.9%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	98	40	54
	100.0%	40.8%	55.1%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	414	95	295
	100.0%	22.9%	71.3%
ＡＢ群 地域移行希望あり（知的）	205	85	110
	100.0%	41.5%	53.7%
ＣＤ群 地域移行希望なし（知的）	512	135	349
	100.0%	26.4%	68.2%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		＊＊＊	
ＡＣ群 移行計画明記あり（知的）	173	77	90
	100.0%	44.5%	52.0%
ＢＤ群 移行計画明記なし（知的）	544	143	369
	100.0%	26.3%	67.8%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		＊＊＊	

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

- 身体障がい者施設利用者では、「聞いたことがある」を選択した人の割合はＢ群が最も高く（37.5%）、次いでＡ群（36.4%）、Ｃ群（29.4%）、Ｄ群（24.7%）となっている。本人希望の有無と地域移行の明記の有無による有意差を調べたが、どちらにおいても有意な差は見られなかった。
- 身体障がい者施設利用者については、体験談を聞くことと地域移行の希望や個別支援計画に明記されるかどうかとの間に有意な関連は見られない。

図Ⅱ－42：ＡＢＣＤ群別　グループホーム等の利用者体験談を聞いたことの有無（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－72：ＡＢＣＤ群別　グループホーム等の利用者体験談を聞いたことの有無（身体障がい者施設利用者）

	対象者	聞いたことがある	聞いたことがない
合計	526	138	372
	100.0%	26.2%	70.7%
Ａ−2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	4	7
	100.0%	36.4%	63.6%
Ｂ−2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	15	24
	100.0%	37.5%	60.0%
Ｃ−2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	34	10	23
	100.0%	29.4%	67.6%
Ｄ−2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	441	109	318
	100.0%	24.7%	72.1%
ＡＢ群 地域移行希望あり（身体）	51	19	31
	100.0%	37.3%	60.8%
ＣＤ群 地域移行希望なし（身体）	475	119	341
	100.0%	25.1%	71.8%
ＡＢ群－ＣＤ群（本人希望有無による有意水準）		－	
ＡＣ群 移行計画明記あり（身体）	45	14	30
	100.0%	31.1%	66.7%
ＢＤ群 移行計画明記なし（身体）	481	124	342
	100.0%	25.8%	71.1%
ＡＣ群－ＢＤ群（移行明記有無による有意水準）		－	

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

（６） 地域移行への働きかけ

支援者として、本人が地域での生活に関心をむけられるようになるために有効であると考えている働きかけについて調べるために、支問14を設けている。

支問14　ご本人が地域での生活に関心をむけられるようになるためには、どのような働きかけが有効だとお考えですか（○はいくつでも）

①　知的障がい者施設における働きかけ（支援者の考え）

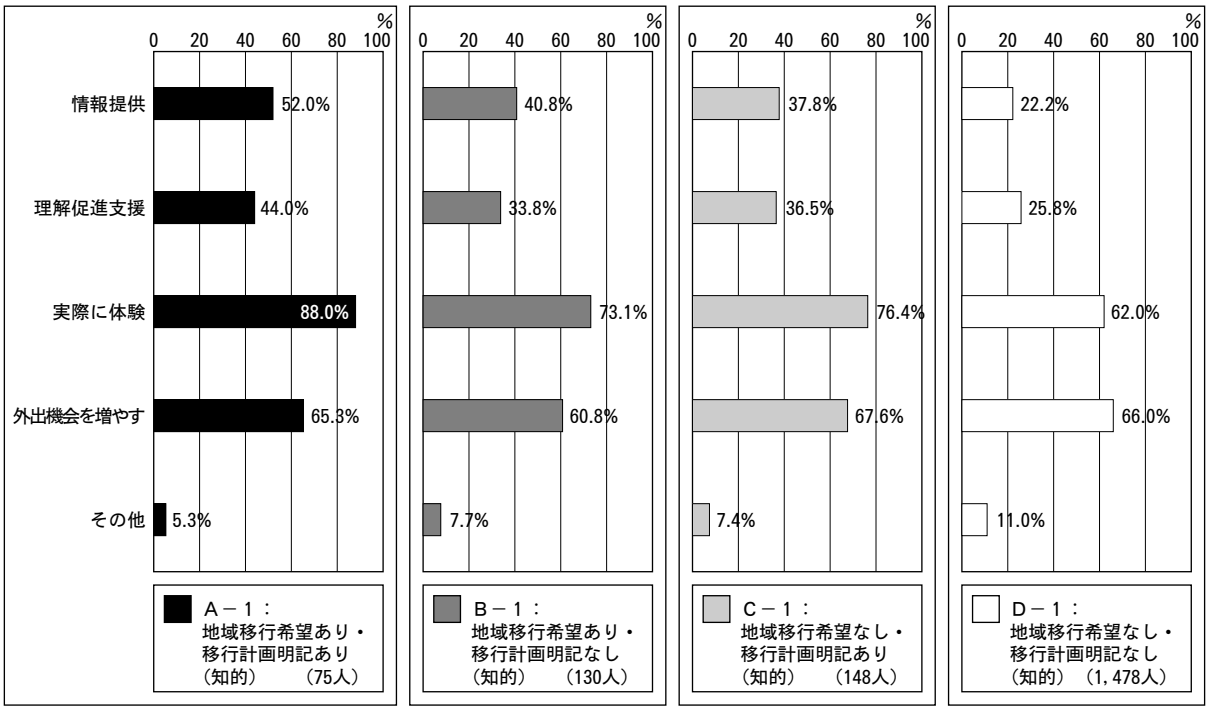
- ＡＢ群では「実際に体験する」を選択した支援者の割合が最も高く、D群では「外出支援」を選択した支援者の割合が最も高い。
- 本人希望の有無とこれらの働きかけとの関連をみると、本人に地域移行希望のある（ＡＢ）群の支援者の方が希望のない（ＣＤ）群の支援者よりも「情報提供」、「理解促進支援」、「実際に体験」という働きかけを選択した支援者の割合が高い（図Ⅱ－43、表Ⅱ－73）。

- 支援者によると、ビデオを見るなどの情報提供、コミュニケーションツールの活用、見学や体験宿泊などの体験等の働きかけが本人の地域移行希望を育てることにつながっているものと考えられる。

②　身体障がい者施設利用者における働きかけ（支援者の考え）

- 支援者は「情報提供」、「理解促進支援」、「実際に体験」、「外出機会を増やす」のいずれの働きかけについてもまんべんなく地域移行の意思形成に有効だと考えている。
- 本人希望の有無とこれらの働きかけとの関連をみると、「情報提供」、「理解促進支援」という働きかけについては、地域移行希望あり（AB）群の支援者の方が希望なし（CD）群の支援者よりも選択した割合が高い（図Ⅱ－44、表Ⅱ－74）。
- 支援者が、ビデオを見るなどの情報提供、コミュニケーションツールの活用等を有効と考えているため、実際の支援プログラムへ反映されて、本人の地域移行希望を育てることにつながっているものと推察される。
- なお、「実際に体験」については、知的障がい者施設支援者にみられたような有意な差はみられない。

図Ⅱ－43：ＡＢＣＤ群別　地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（知的障がい者施設利用者）

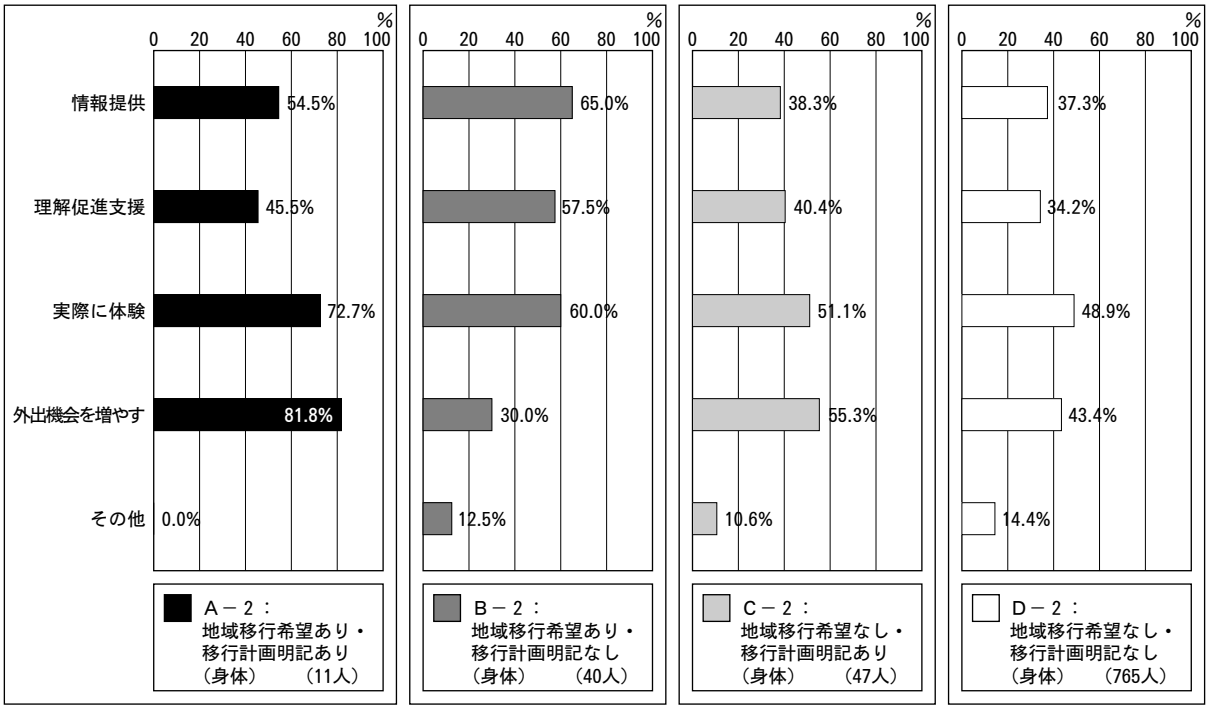


表Ⅱ－73　ＡＢＣＤ群別　地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（知的障がい者施設利用者）

	対象者	情報提供	理解促進支援	実際に体験	外出機会を増やす	その他
合計	1,831	476	512	1,191	1,204	187
	100.0%	26.0%	28.0%	65.0%	65.8%	10.2%
A−1：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	39	33	66	49	4
	100.0%	52.0%	44.0%	88.0%	65.3%	5.3%
B−1：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	130	53	44	95	79	10
	100.0%	40.8%	33.8%	73.1%	60.8%	7.7%
C−1：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	148	56	54	113	100	11
	100.0%	37.8%	36.5%	76.4%	67.6%	7.4%
D−1：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,478	328	381	917	976	162
	100.0%	22.2%	25.8%	62.0%	66.0%	11.0%
AB群 地域移行希望あり（知的）	205	92	77	161	128	14
	100.0%	44.9%	37.6%	78.5%	62.4%	6.8%
CD群 地域移行希望なし（知的）	1,626	384	435	1,030	1,076	173
	100.0%	23.6%	26.8%	63.3%	66.2%	10.6%
AB群－CD群（本人希望有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊	＊＊＊	－	－
AC群 移行計画明記あり（知的）	223	95	87	179	149	15
	100.0%	42.6%	39.0%	80.3%	66.8%	6.7%
BD群 移行計画明記なし（知的）	1,608	381	425	1,012	1,055	172
	100.0%	23.7%	26.4%	62.9%	65.6%	10.7%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		＊＊＊	＊＊＊	＊＊＊	－	＊

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－44：ＡＢＣＤ群別　地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－74　ABCD群別　地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（身体障がい者施設利用者）

	対象者	情報提供	理解促進支援	実際に体験	外出機会を増やす	その他
合計	863	335	309	430	379	120
	100.0%	38.8%	35.8%	49.8%	43.9%	13.9%
A−2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	6	5	8	9	0
	100.0%	54.5%	45.5%	72.7%	81.8%	0.0%
B−2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	40	26	23	24	12	5
	100.0%	65.0%	57.5%	60.0%	30.0%	12.5%
C−2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	47	18	19	24	26	5
	100.0%	38.3%	40.4%	51.1%	55.3%	10.6%
D−2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	765	285	262	374	332	110
	100.0%	37.3%	34.2%	48.9%	43.4%	14.4%
AB群 地域移行希望あり（身体）	51	32	28	32	21	5
	100.0%	62.7%	54.9%	62.7%	41.2%	9.8%
CD群 地域移行希望なし（身体）	812	303	281	398	358	115
	100.0%	37.3%	34.6%	49.0%	44.1%	14.2%
AB群－CD群（本人希望有無による有意水準）		＊＊	＊＊	－	－	－
AC群 移行計画明記あり（身体）	58	24	24	32	35	5
	100.0%	41.4%	41.4%	55.2%	60.3%	8.6%
BD群 移行計画明記なし（身体）	805	311	285	398	344	115
	100.0%	38.6%	35.4%	49.4%	42.7%	14.3%
AC群－BD群（移行明記有無による有意水準）		－	－	－	＊＊	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

（7） 個別支援計画に地域移行が明記されている人への取り組みの現状

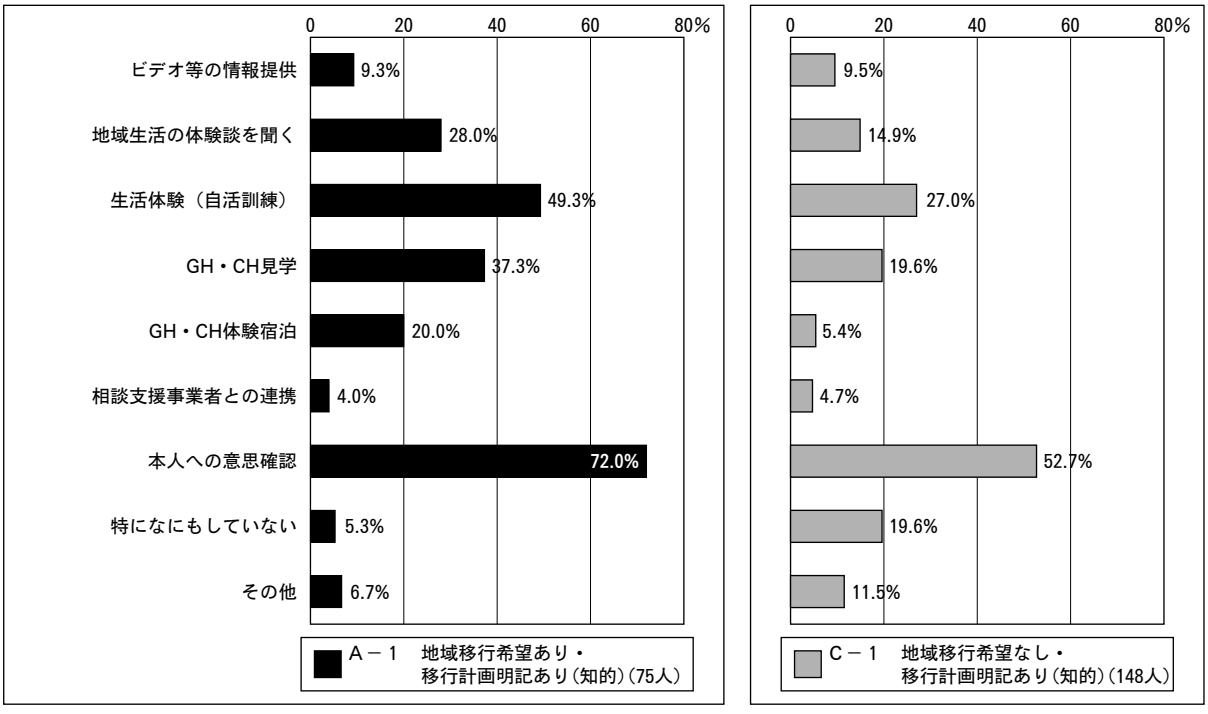
- 実際に個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群の人に対して、どのような取り組みがなされているかを知るために、支問９－５を設けている。

支問９－５　地域移行にむけてご本人に対してどんな取り組みをされていますか（○はいくつでも）

- 知的障がい者施設支援者、身体障がい者施設支援者ともに、本人への意思確認を選択している割合が最も高い。地域移行にむけての取り組みの際に、本人の意思を確認するという働きかけが重要視されていることがうかがわれる（図Ⅱ－45、46、表Ⅱ－75、76)。
- 知的障がい者施設支援者については、本人希望あり（Ａ）群の方が希望なし（Ｃ）群に比べて、体験談を聞いたり、自活訓練をしたり、グループホームやケアホームを見学したり体験宿泊したりという実際に体験するような取り組みがなされている割合が高い。
- 反対に、特に何の取り組みもなされていない利用者は、本人希望なし（Ｃ）群の方が希望あり（Ａ）群よりも多い。

- 知的障がい者施設支援者によると、地域移行に向けた何らかの取り組み、特に実際に地域生活を体験できるような取り組みは、地域移行についての希望の有無と強い関連がある。
- 身体障がい者施設支援者によると、グループホーム・ケアホームの見学や体験宿泊という取り組みが少なく、それを補うためにビデオを見るなどの情報提供や地域の相談支援事業者との連携という取り組みが多くなされていると思われる。

図Ⅱ－45：ＡＣ群別　地域移行に向けた本人への取り組み（知的障がい者施設利用者）

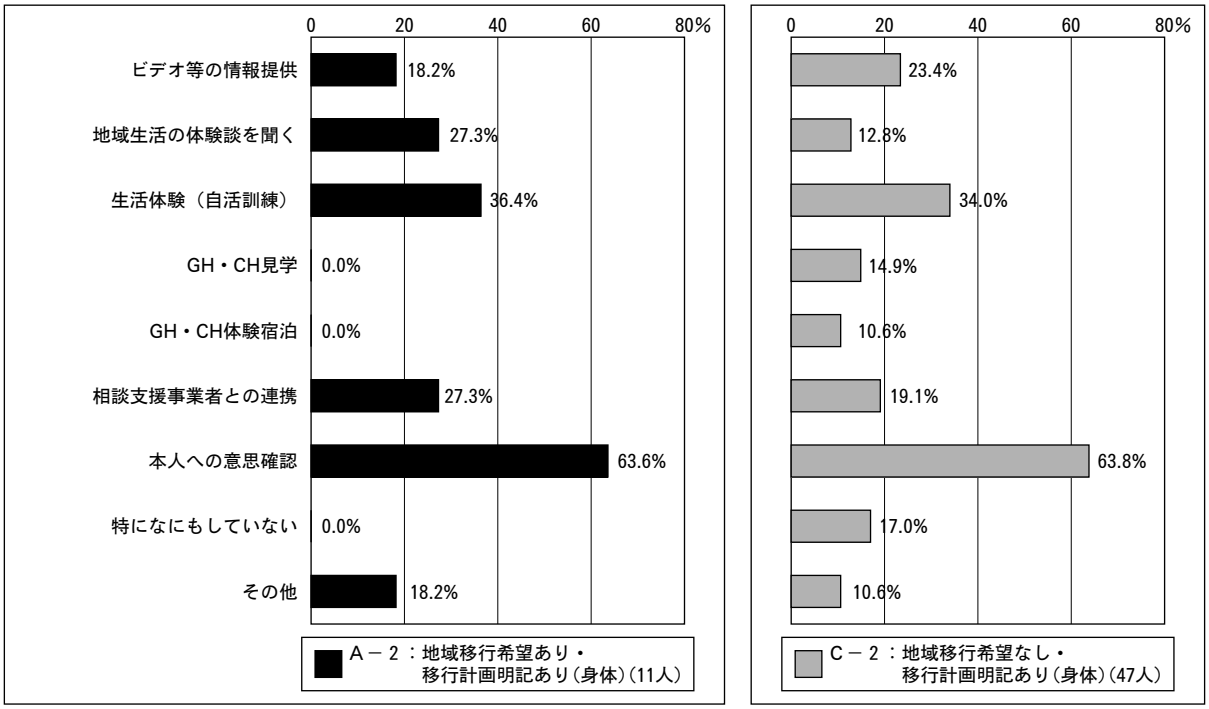


表Ⅱ－75：ＡＣ群別　地域移行に向けた本人への取り組み（知的障がい者施設利用者）

	対象	ビデオ等の情報提供	地域生活の体験談を聞く	生活体験（自活訓練）	GH・CH見学	GH・CH体験宿泊	相談支援事業者との連携	本人への意思確認	特になにもしていない	その他
A−1：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	7	21	37	28	15	3	54	4	5
	100.0%	9.3%	28.0%	49.3%	37.3%	20.0%	4.0%	72.0%	5.3%	6.7%
C−1：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	148	14	22	40	29	8	7	78	29	17
	100.0%	9.5%	14.9%	27.0%	19.6%	5.4%	4.7%	52.7%	19.6%	11.5%
合計	223	21	43	77	57	23	10	132	33	22
	100.0%	9.4%	19.3%	34.5%	25.6%	10.3%	4.5%	59.2%	14.8%	9.9%
A群－C群（本人希望有無による有意水準）		－	＊	＊＊	＊＊	＊＊	－	＊＊	＊＊	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－46：ＡＣ群別　地域移行に向けた本人への取り組み（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－76：ＡＣ群別　地域移行に向けた本人への取り組み（身体障がい者施設利用者）

	対象	ビデオ等の情報提供	地域生活の体験談を聞く	生活体験（自活訓練）	GH・CH見学	GH・CH体験宿泊	相談支援事業者との連携	本人への意思確認	特になにもしていない	その他
A−2：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	2	3	4	0	0	3	7	0	2
	100.0%	18.2%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%	27.3%	63.6%	0.0%	18.2%
C−2：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	47	11	6	16	7	5	9	30	8	5
	100.0%	23.4%	12.8%	34.0%	14.9%	10.6%	19.1%	63.8%	17.0%	10.6%
合計	58	13	9	20	7	5	12	37	8	7
	100.0%	22.4%	15.5%	34.5%	12.1%	8.6%	20.7%	63.8%	13.8%	12.1%
A群－C群（本人希望有無による有意水準）		－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

7　家族の理解と安心を得るための家族支援

本人の地域移行について家族が抱く思いにより、地域移行に何らかの影響があるのかどうかを把握するために、本問３選択肢⑦、支問12－１、支問15選択肢⑪、支問９－６を利用し、分析を行う。

（１） 本人希望と（本人からみた）家族の意向との関連

- 家族の意向が本人の地域移行希望の有無と関係しているかを知るために、本問３選択肢⑦に着目した（図Ⅱ－12、13、表Ⅱ－20、21)。

> **本問３　「施設を出て暮らすことについて、あなたが感じたり、思ったりすることはどのようなことですか」（複数回答可）**
> **選択肢⑦「家族が心配するので、施設を出たくない」**

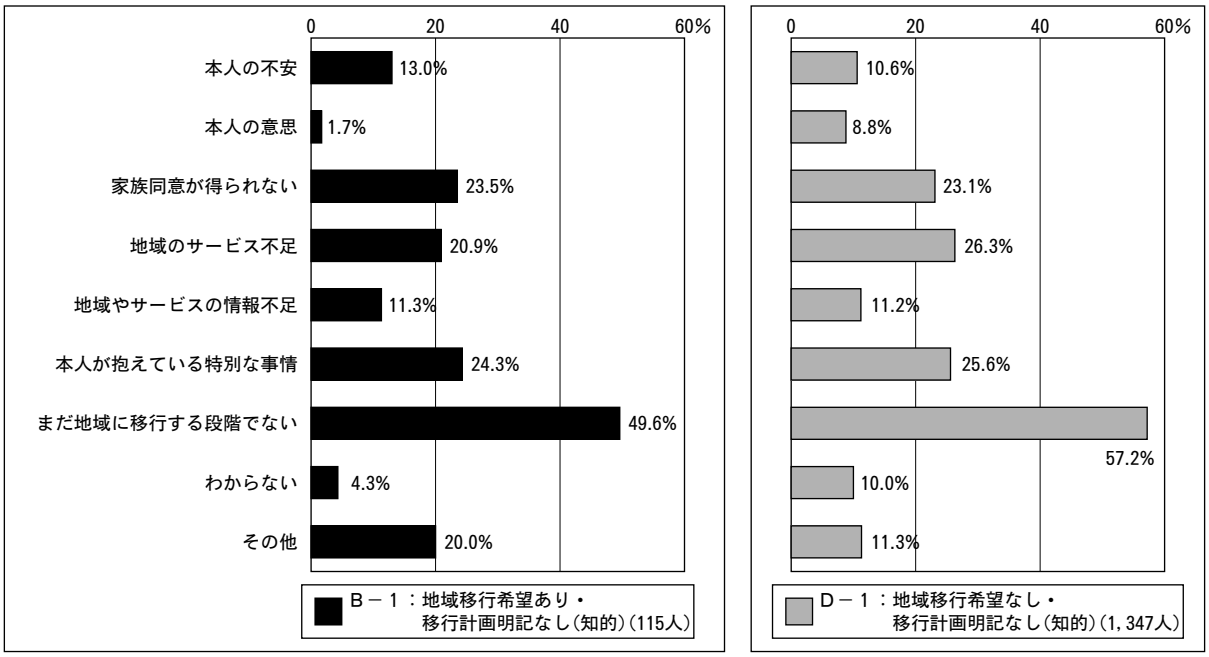
- 知的障がい者施設利用者の30.0％、身体障がい者施設利用者の42.6％の人が、家族が心配するから施設を退所したくないと回答している。
- ＡＢＣＤ群それぞれの割合をみると、身体障がい者施設利用者、知的障がい者施設利用者ともにＤ群の割合が一番高い。特に身体障がい者施設利用者のＤ群の割合が高い。また、地域移行希望あり（ＡＢ）群より、地域移行希望なし（ＣＤ）群の方が家族が心配するから退所したくないと回答している割合が高く、本人の地域移行希望の有無と本人が「家族が心配する」と捉えていることとの間には関連がある。
- 前述の表Ⅱ－９、10からＤ群には障がいの程度が重い人が多く、地域移行をした際に多くの支援が必要となることが予測され、家族に負担をかけたくないという思いが働いていると考えられる。身体障がい者施設利用者に特に多い理由としては、利用者本人が高齢になり、それに伴い家族も同様に高齢になり本人への支援が困難になってきていることが考えられる。

（２） 地域移行に関する（支援者からみた）家族の意向

- 支援者が利用者本人の地域移行を検討するうえで、家族の意向が影響しているのかどうかを知るために、支問12－１選択肢③、及び支問15選択肢⑪に着目する。

> **支問12－１　地域移行が決定されない主な理由は何ですか（複数回答可）**
> **選択肢③「ご家族の同意が得られない」**
> **支問15　支援者、施設として、ご本人の地域移行支援に関して、心配なこと、課題と考えておられることは何ですか（複数回答可）**
> **選択肢⑪「ご家族の同意を得るのが難しい」**

図Ⅱ－47：ＢＤ群別　地域移行が決定されない主な理由（知的障がい者施設利用者）

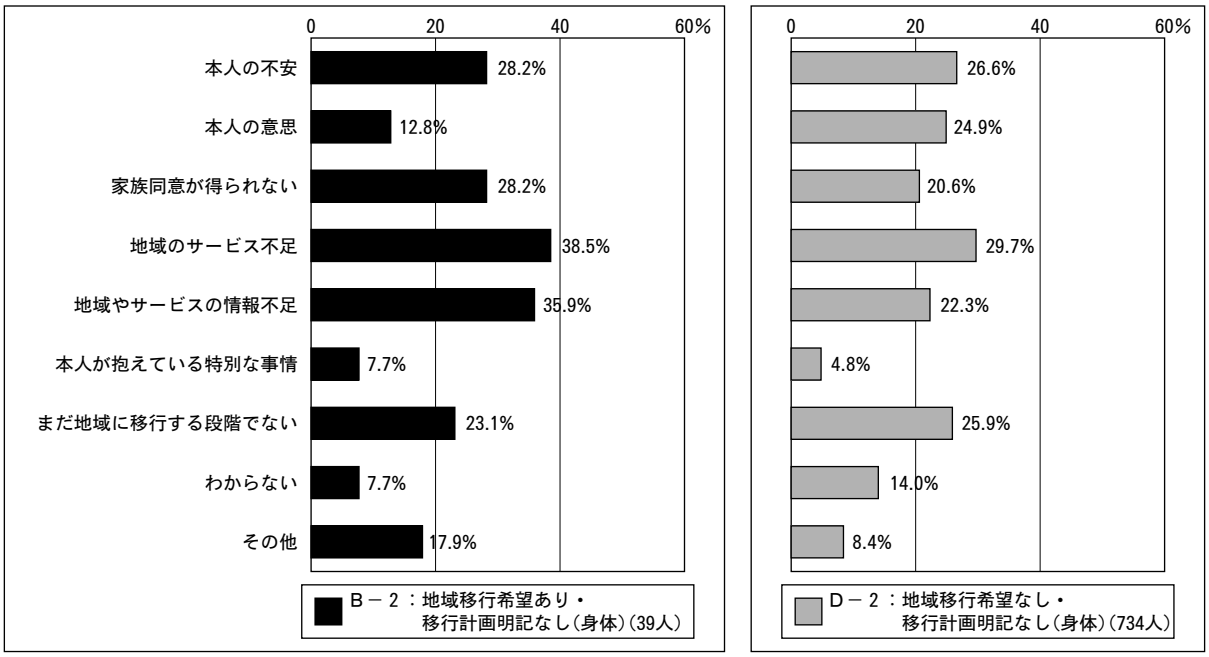


表Ⅱ－77：ＢＤ群別　地域移行が決定されない主な理由（知的障がい者施設利用者）

	対象者	本人の不安	本人の意思	家族同意が得られない	地域のサービス不足	地域やサービスの情報不足	本人が抱えている特別な事情	まだ地域に移行する段階でない	わからない	その他
Ｂ－１：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	115	15	2	27	24	13	28	57	5	23
	100.0%	13.0%	1.7%	23.5%	20.9%	11.3%	24.3%	49.6%	4.3%	20.0%
Ｄ－１：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,347	143	118	311	354	151	345	770	135	152
	100.0%	10.6%	8.8%	23.1%	26.3%	11.2%	25.6%	57.2%	10.0%	11.3%
合計	1,462	158	120	338	378	164	373	827	140	175
	100.0%	10.8%	8.2%	23.1%	25.9%	11.2%	25.5%	56.6%	9.6%	12.0%
本人希望有無		－	＊	－	－	－	－	－	－	＊

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－48：ＢＤ群別　地域移行が決定されない主な理由（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－78：ＢＤ群別　地域移行が決定されない主な理由（身体障がい者施設利用者）

	対象者	本人の不安	本人の意思	家族同意が得られない	地域のサービス不足	地域やサービスの情報不足	本人が抱えている特別な事情	まだ地域に移行する段階でない	わからない	その他
Ｂ－２：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	39	11	5	11	15	14	3	9	3	7
	100.0%	28.2%	12.8%	28.2%	38.5%	35.9%	7.7%	23.1%	7.7%	17.9%
Ｄ－２：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	734	195	183	151	218	164	35	190	103	62
	100.0%	26.6%	24.9%	20.6%	29.7%	22.3%	4.8%	25.9%	14.0%	8.4%
合計	773	206	188	162	233	178	38	199	106	69
	100.0%	26.6%	24.3%	21.0%	30.1%	23.0%	4.9%	25.7%	13.7%	8.9%

本人希望有無	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

- なお、支問12－１については個別支援計画を作成しているが地域移行が明記されていないＢ・Ｄ群のみの回答となっている。
- まず、支問12－１とＢ・Ｄ群のクロス表Ⅱ－77、78の結果について考える。支援者が、地域移行が決定されない理由として選択した割合の高いものから順に挙げると、知的障がい者施設利用者のＢ群では「まだ地域移行する段階ではない」（49.6%）、「本人が抱えている特別な事情」（24.3%）に次いで「家族の同意が得られない」（23.5%）となっている。また、同じくＤ群では「まだ地域移行する段階ではない」（57.2%）、「地域のサービス不足」（26.3%）、「本人が抱えている特別な事情」（25.6%）に次いで「家族の同意が得られない」（23.1%）となっている。
- 一方、身体障がい者施設利用者のＢ群では、支援者は「地域のサービス不足」（38.5%）、「地域やサービスの情報不足」（35.9%）、に次いで「家族の同意が得られない」（28.2%）を選択しており、Ｄ群では「地域のサービス不足」（29.7%）、「本人の不安」（26.6%）、「まだ地域に移行する段階ではない」（25.9%）、「本人の意思」（24.9%）に次いで５番目に「家族の同意が得られない」（20.6%）を選択している。

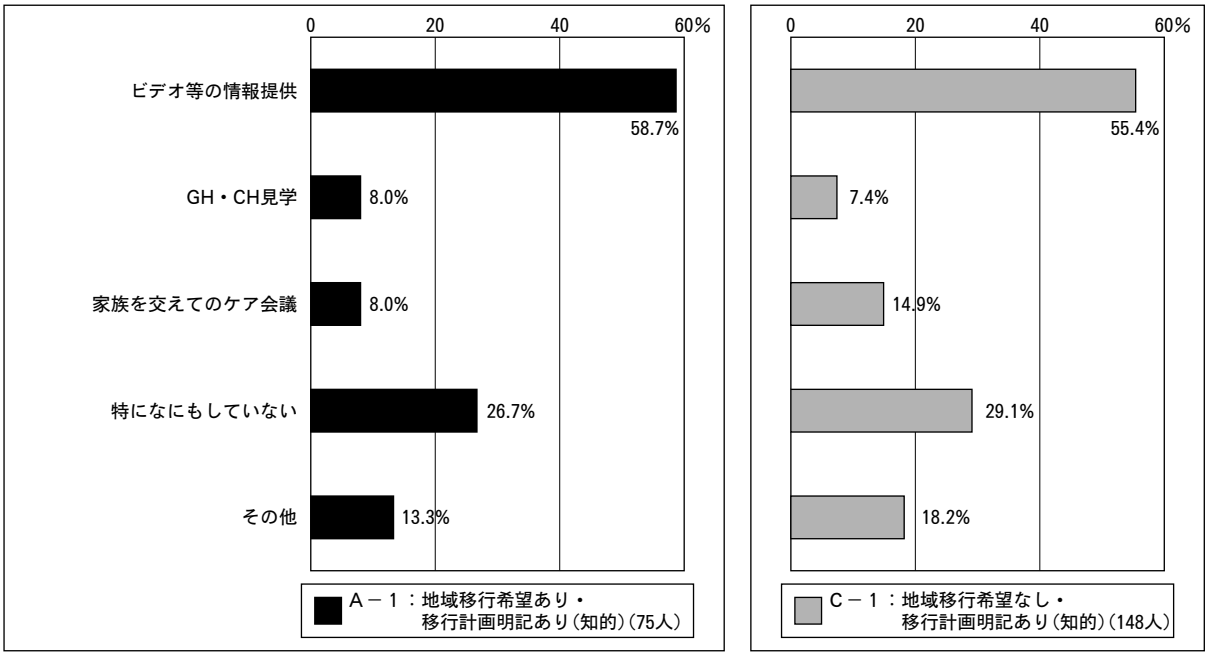
- 支援者の約４人に１人は、本人の地域移行が進まない理由として、「家族の同意が得られない」を選択している。支援者が家族の意向を重要な要素ととらえている。
- 前述の表Ⅱ－27から支問15選択肢⑪を選択している割合は知的障がい者施設利用者では34.2%、身体障がい者施設利用者では28.2%となっている。知的障がい者施設支援者のほうが家族同意を得るのにより難しさを感じているようである。
- いずれの施設利用者にとっても、「家族からの応援を得る」ための支援が重要である。

（３） 地域移行に向けた家族支援の取り組みの現状

個別支援計画に地域移行が明記されているＡＣ群について、具体的にどのような家族支援がなされているかを知るために、支問９－６を設けている。

支問９－６　地域移行に向けてご家族に対してどのような取り組みをされていますか（○はいくつでも）

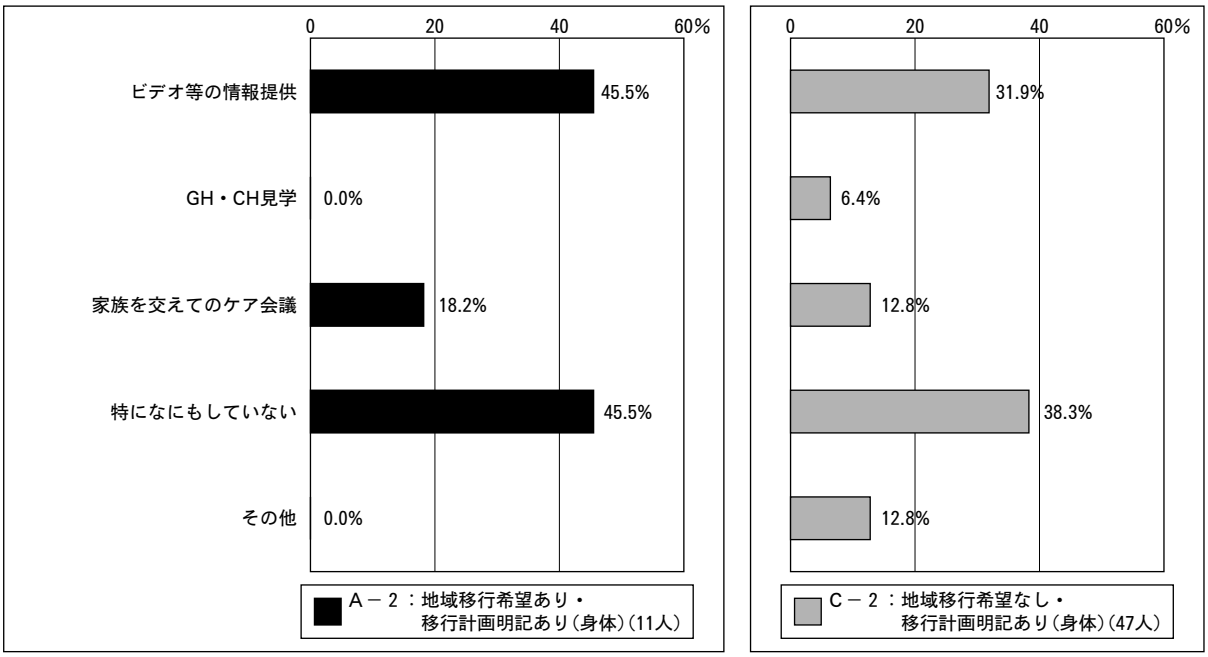
図Ⅱ－49：ＡＣ群別　地域移行に向けた家族への取り組み（知的障がい者施設支援者）



表Ⅱ－79：ＡＣ群別　地域移行に向けた家族への取り組み（知的障がい者施設支援者）

	対象者	ビデオ等の情報提供	GH・CH見学	家族を交えてのケア会議	特になにもしていない	その他
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	75	44	6	6	20	10
	100.0%	58.7%	8.0%	8.0%	26.7%	13.3%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	148	82	11	22	43	27
	100.0%	55.4%	7.4%	14.9%	29.1%	18.2%
合計	223	126	17	28	63	37
	100.0%	56.5%	7.6%	12.6%	28.3%	16.6%

図Ⅱ－50：ＡＣ群別　地域移行に向けた家族への取り組み（身体障がい者施設支援者）



表Ⅱ－80：ＡＣ群別　地域移行に向けた家族への取り組み（身体障がい者施設支援者）

	対象者	ビデオ等の情報提供	GH・CH見学	家族を交えてのケア会議	特になにもしていない	その他
Ａ－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	11	5	0	2	5	0
	100.0%	45.5%	0.0%	18.2%	45.5%	0.0%
Ｃ－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	47	15	3	6	18	6
	100.0%	31.9%	6.4%	12.8%	38.3%	12.8%
合計	58	20	3	8	23	6
	100.0%	34.5%	5.2%	13.8%	39.7%	10.3%

- 知的障がい者施設支援者、身体障がい者施設支援者とも家族への取り組みはビデオ等での情報提供が多いようである。家族を交えてのケア会議は、知的障がい者施設ではＣ群の支援者、身体障がい者施設ではＡ群の支援者の方がより実施しているようである（図Ⅱ－49、50、表Ⅱ－79、80）。
- グループホームの見学については、知的障がい者施設支援者、身体障がい者施設支援者とも実施していると回答する割合が低い。
- 身体障がい者施設支援者では「特に何もしていない」を選択した人がＡ群では45.5％、Ｃ群では38.3%となっている。

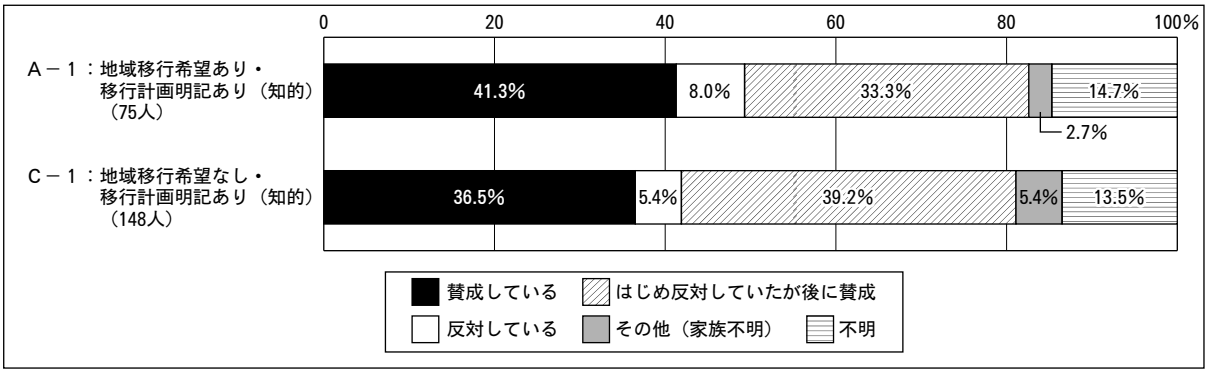
（４） 地域移行に関する家族の反応と本人希望との関連

- 家族が地域移行に関してどのような意向をもっているかを知るために支問９－４を設けている。

支問９－４　　地域移行に関するご家族の反応はどうでしたか

- 施設利用者本人の地域移行の希望と、家族の意向とに関連があるかを分析する。

図Ⅱ－51：ＡＣ群別　地域移行の本人希望と家族の反応（知的障がい者施設利用者）



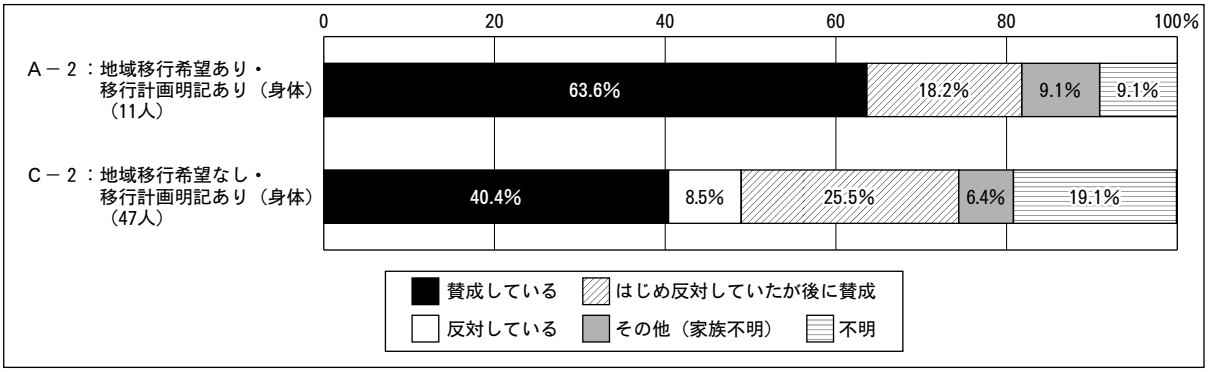
表Ⅱ－81：ＡＣ群別　地域移行の本人希望と家族の反応（知的障がい者施設利用者）

	賛成している	はじめ反対していたが後に賛成	反対している	その他（家族不明）	不明	合計
Ａ－１：地域移行希望あり・移行計画明記あり（知的）	31 41.3%	6 8.0%	25 33.3%	2 2.7%	11 14.7%	75 100.0%
Ｃ－１：地域移行希望なし・移行計画明記あり（知的）	54 36.5%	8 5.4%	58 39.2%	8 5.4%	20 13.5%	148 100.0%
合計	85 38.1%	14 6.3%	83 37.2%	10 4.5%	31 13.9%	223 100.0%

本人希望の有無	－

（注）・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

図Ⅱ－52：ＡＣ群別　地域移行の本人希望と家族の反応（身体障がい者施設利用者）



表Ⅱ－82：ＡＣ群別　地域移行の本人希望と家族の反応（身体障がい者施設利用者）

	賛成している	はじめ反対していたが後に賛成	反対している	その他（家族不明）	不明	合計
A－２：地域移行希望あり・移行計画明記あり（身体）	7 63.6%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	11 100.0%
C－２：地域移行希望なし・移行計画明記あり（身体）	19 40.4%	4 8.5%	12 25.5%	3 6.4%	9 19.1%	47 100.0%
合計	26 44.8%	4 6.9%	14 24.1%	4 6.9%	10 17.2%	58 100.0%

本人希望の有無	－

(注)・　上記表は、クロス集計を行い、それぞれの項目を選択した人の人数と比率のみを表示し、選択していない人の人数と比率は省いて、表を合成したものである。
・　カイ二乗検定の際には不明をはずして検定するため、有意水準（＊の数）は不明をはずした結果を示している。ただし各項目の比率は、集計表の対象者数から「不明」をはずさず、総対象者数を母数にして算出したものを表記している。

- 知的障がい者施設利用者では家族が地域移行に反対している割合がＡ群で33.3%、Ｃ群は39.2%。身体障がい者施設利用者についてはＡ群で18.2%、Ｃ群では25.5%となっている。「その他」と「不明」を除き、「賛成」に「はじめ反対していたが後に賛成」を加えると、半数前後の人が地域移行に賛成している（図Ⅱ－51、52、表Ⅱ－81、82)。
- 反対していたが後に賛成になった理由として、自由記述欄では、本人の自立度が高い、自立支援法の施行、集団生活より個々での生活が本人に適している、施設の方針といったことが多くあげられている。「その他」としては、本人に家族がいない、施設の方が安全、本人の能力では地域生活は困難、障がい程度が重い、不安である、高齢のため、施設でずっと暮らして欲しい、との意見が多く挙げられている。

8　地域移行が進まない要因

- 地域移行が進まない要因について検討する。
- ＡＢＣＤいずれの群の人も、今現在施設で生活しているということは、なんらかの理由があって地域移行できていない人であり、ＡＢＣＤいずれの群の人にとっても地域移行が進まない要因はあると考えられるが、ここでは特に個別支援計画に地域移行が明記されていないＢＤ群について分析する。
- 個別支援計画に地域移行が明記されていないＢＤ群について、本人が今後の生活に関してどのような意向をもっているかを支援者側に尋ねたものが支問12である。

支問12　ご本人は今後の生活に関してどのような意思を持っていますか？（○は一つ)。ご本人の意向が明確でない場合は、支援者として分かる範囲でお答えください。

- なお、ＢＤ群の中には本人同意を得ないままにたてられた個別支援計画において地域移行が明記されている人が含まれており（Ｂ群で14人、Ｄ群で137人)、その人についてはこの設問の回答対象者から外れる。
- また、個別支援計画自体がたてられていない人（Ｂ群で２人、Ｄ群で19人）についてもこの設問の回答対象者から外れる。

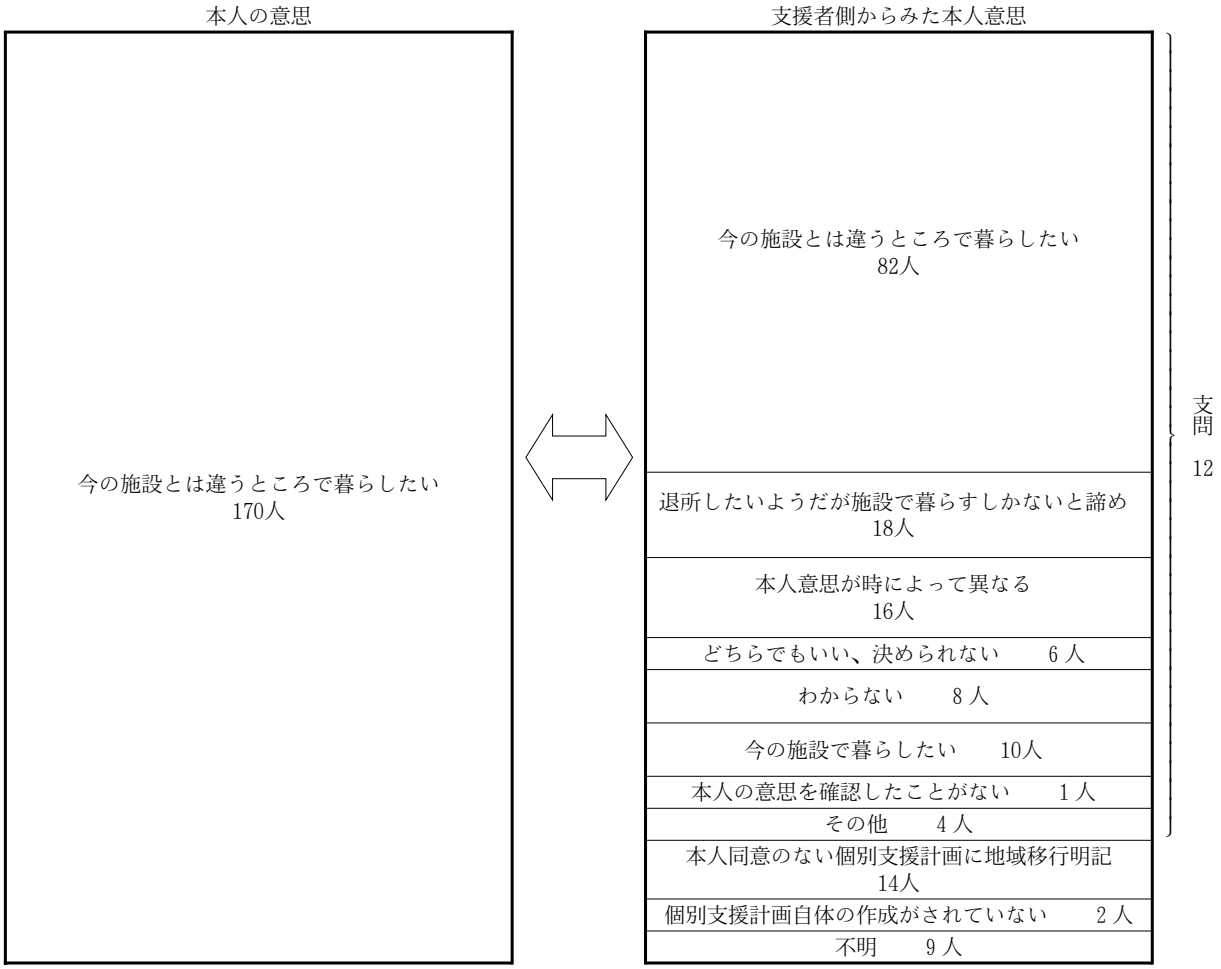
（1） B群についての考察

- Ｂ群とは本人が今の施設とは違うところで暮らしたいという地域移行の希望を持っている群であり、支援者側からみた本人意思のズレを見るため、これを比較したものが図Ⅱ－53である。

- 本人意思が未確認のケースには、本人同意なく個別支援計画に地域移行が明記されている人（14人）、本人の意思を確認していない人（１人）、個別支援計画自体の作成がされていない人（２人）がある。
- このケースの場合、改めて本人の意向の確認からはじめ、地域移行に向けた個別支援計画を立て直す必要がある。

- 本人の地域移行の希望を支援者が認識しているケースには、支援者側も本人は「今の施設とは違うところで暮らしたい」との意思を持っていると捉えている人（82人）と、「施設を出たいようだが、施設で暮らすしかないと思っている」との意思をもっていると捉えている人（18人）がある。
- 支援者側も「今の施設とは違うところで暮らしたい」という本人意思を認識しているが、何らかの理由で地域移行に向けて具体的に進められていないケースである。

図Ⅱ－53：本人の意思と支援者側からみた本人意思との比較（Ｂ群）



- 次に、地域移行が進まない主な理由について検討する。個別支援計画が作成されているが地域移行が明記されていない人について、地域移行が決定されない理由を尋ねた支問12－１を活用して分析する。

支問12－１　地域移行が決定されない主な理由は何ですか（○はいくつでも）

- 本人同意なく個別支援計画に地域移行が明記されている14人と、個別支援計画自体の作成がされていない2人を除いた人が回答対象者である（170－14－ 2 ＝154人）
- 本人に地域移行の希望があり、支援者側も本人が「今の施設とは違うところで暮らしたい」と捉えている人（82人：図Ⅱ－53参照）及び「施設を出たいようだが、施設で暮らすしかないと思っている」と捉えている人（18人：図Ⅱ－53参照）の地域移行が進まない理由を確認したところ、Ｂ群全体についての地域移行が進まない理由とは大きな差がなかったため、ここではＢ群全体についての地域移行が進まない理由について検討する。

表Ⅱ－83：障がい種類別　地域移行が進まない要因（Ｂ群）

	対象者	本人の不安	本人の意思	家族同意が得られない	地域のサービス不足	地域やサービスの情報不足	本人が抱えている特別な事情	まだ地域に移行する段階でない	わからない	その他
B−1：地域移行希望あり・移行計画明記なし（知的）	115	15	2	27	24	13	28	57	5	23
	100.0%	13.0%	1.7%	23.5%	20.9%	11.3%	24.3%	49.6%	4.3%	20.0%
B−2：地域移行希望あり・移行計画明記なし（身体）	39	11	5	11	15	14	3	9	3	62
	100.0%	28.2%	12.8%	28.2%	38.5%	35.9%	7.7%	23.1%	7.7%	8.4%

（参考：障がい種類別　地域移行が進まない要因（Ｄ群））

	対象者	本人の不安	本人の意思	家族同意が得られない	地域のサービス不足	地域やサービスの情報不足	本人が抱えている特別な事情	まだ地域に移行する段階でない	わからない	その他
D−1：地域移行希望なし・移行計画明記なし（知的）	1,347	143	118	311	354	151	345	770	135	152
	100.0%	10.6%	8.8%	23.1%	26.3%	11.2%	25.6%	57.2%	10.0%	11.3%
D−2：地域移行希望なし・移行計画明記なし（身体）	734	195	183	151	218	164	35	190	103	62
	100.0%	26.6%	24.9%	20.6%	29.7%	22.3%	4.8%	25.9%	14.0%	8.4%

- 表Ⅱ－83は、Ｂ群全体についての地域移行が進まない理由を示したものである。

- 地域移行が進まない理由は、知的障がい、身体障がいの障がい種別によって大きく異なる。
- 知的障がい者施設支援者は、地域移行が進まない理由として、まだ地域移行する段階でなく施設内での訓練が必要であるからと考えている割合が最も高く、次に本人の抱えている特別な事情（社会的なトラブルなど）があるから、家族の同意が得られないからとの理由が多い。
- 本人に訓練が必要だから、本人に社会的トラブルがあるから等、地域移行が進まない要因を本人に帰属するものとして捉える傾向が見られる。
- 身体障がい者施設支援者では、地域のサービスが不足しているからと考えている割合が最も高く、次いで地域やサービスの情報不足、家族の同意が得られない、本人の不安と続く。
- 身体障がい者施設支援者では本人よりも本人をとりまく環境に地域移行が進まない要因があると考えている。

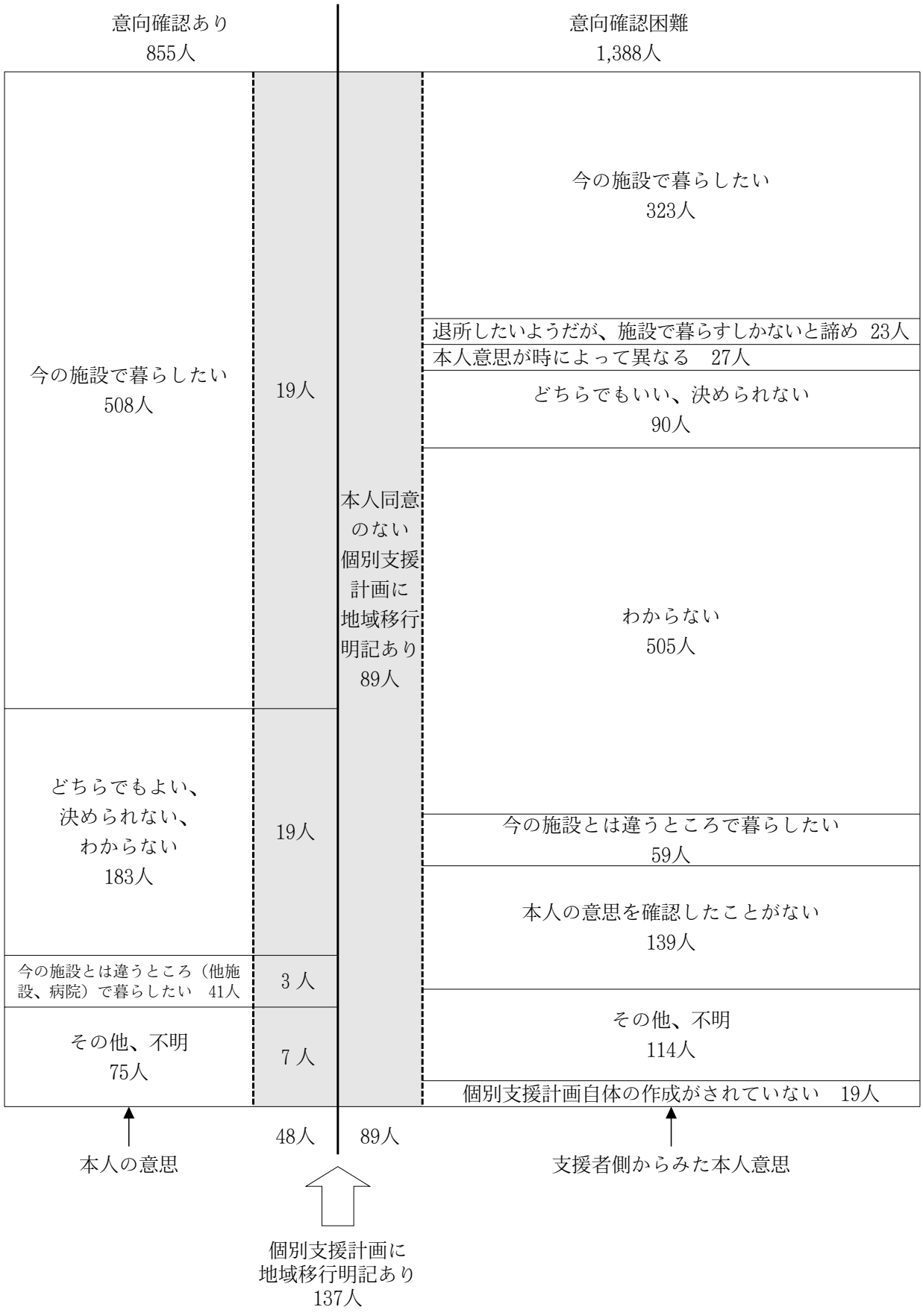
（２） Ｄ群についての考察

① 本人の意向と地域移行が進まない主な理由について

- Ｄ群は2,243人で、回答総数2,694人中の83.3%を占め、ＡＢＣＤ群のうち最も人数の多い群である。
- このうち、本人の意向が確認できた人が855人（38.1%）、意向確認困難な人が1,388人（61.9%）であった。本人が今後の生活に関してどのような意向をもっているかについて、本人の意向が確認できた人の場合は本人回答（本問1）から、意向確認困難な人の場合は支援者側の回答（支問12）から示したものが図Ⅱ－54である。
- なお、意向確認困難な人のうち、本人同意のないままにたてられた個別支援計画に地域移行が明記されている89人については、支援者側の回答が得られていないため、本人がどのような意向をもっているのか明らかにできない。
- Ｄ群のうち、「今のまま施設で暮らしたい」という意向の人が最も多く（39.5%）、「どちらともいえない、わからない、本人意思がときによって異なる」と意向が明確に定まらない人が38.3%であった（表Ⅱ－84）。
- 次に、本人の意向ごとに、地域移行が進まない主な理由について示したものが表Ⅱ－84である。地域移行が進まない主な理由については、本人の意向ごとの人数を母数として割合を算出し、割合の高い順に上位４つを列挙した。

- 知的障がい者施設利用者については、本人の意向に関わらず、すべてにおいて「まだ地域移行する段階でない」ことが理由として挙げられた割合が高い。
- 家族の同意が得られないこと、地域のサービス不足、本人の抱える特別な事情などが理由として挙げられている。本人自身の意思よりも、支援者側の評価や本人をとりまく環境のために地域移行が進みにくい現状がうかがえる。
- 身体障がい者施設利用者については、本人の意向によって、地域移行が進まない主な理由が異なる。特に引き続き今の施設で生活したいと施設を継続して利用することを希望している人については、本人の不安が高いことが挙げられている。

図Ⅱ－54：今後の生活に関する本人の意向（D群）



表Ⅱ－84：今後の生活に関する本人の意向と地域移行が進まない理由（D群）

本人の意向	人数			地域移行が進まない主な理由	
	意向確認あり	意向確認困難	計	知的障がい者施設利用者	身体障がい者施設利用者
今の施設で暮らしたい	527人 （61.6%）	323人 （24.9%）	850人 （39.5%）	1．地域移行する段階でない 51.5% 2．家族の同意得られず 24.1% 2．地域のサービス不足 24.1% 4．本人の抱える特別な事情 21.5%	1．本人の不安 32.9% 2．本人の意思 31.9% 3．地域のサービス不足 29.0% 4．地域移行する段階でない 22.5%
どちらともいえない、わからない、本人意思が時によって異なる	202人 （23.6%）	622人 （47.9%）	824人 （38.3%）	1．地域移行する段階でない 42.2% 2．地域のサービス不足 16.7% 3．本人の抱える特別な事情 16.2% 4．家族の同意得られず 14.5%	1．わからない 34.4% 2．地域移行する段階でない 28.0% 3．地域のサービス不足 26.6% 4．家族同意得られず 22.0%
今の施設とは違うところ（他施設、病院）で暮らしたい	44人 （5.1%）	59人 （4.5%）	103人 （4.8%）	1．地域移行する段階でない 69.9% 2．本人の抱える特別な事情 43.8% 3．地域のサービス不足 27.4% 4．家族の同意得られず 16.4%	1．地域のサービス不足 51.9% 2．地域やサービスの情報不足 44.4% 3．地域移行する段階でない 33.3% 4．家族の同意得られず 29.6%
退所したいようだが、施設で暮らすしかないと諦め	0人	23人 （1.8%）	23人 （1.1%）	1．地域移行する段階でない 45.0% 1．地域のサービス不足 45.0% 3．家族の同意得られず 35.0% 4．本人の抱える特別な事情 25.0%	1．本人の不安 33.3% 1．本人の意思 33.3% 1．家族の同意得られず 33.3% 1．地域のサービス不足 33.3%
本人の意思を確認したことがない	0人	139人 （10.7%）	139人 （6.5%）	1．地域移行する段階でない 53.7% 2．地域のサービス不足 29.6% 3．家族の同意得られず 26.9% 4．わからない 21.3%	1．地域移行する段階でない 58.1% 2．地域のサービス不足 45.2% 3．地域やサービスの情報不足 32.3% 4．家族の同意得られず 29.0%
その他・不明	82人 （10.0%）	114人 （8.8%）	196人 （9.1%）		
個別支援計画が作成されていない	＊（6人） （上述の今のまま暮らしたい5人、今の施設とは違うところ1人でカウント済み）	19人 （1.5%）	19人 （0.9%）		
全体	855人 （100.0%）	1,299人 （100.0%）	2,154人 （100.0%）	1．地域移行する段階でない 57.2% 2．地域のサービス不足 26.3% 3．本人の抱える特別な事情 25.6% 4．家族の同意得られず 23.1%	1．地域のサービス不足 29.7% 2．本人の不安 26.6% 3．地域移行する段階でない 25.9% 4．本人の意思 24.9%
本人同意のない個別支援計画に地域移行明記あり	＊（48人） （上記でカウント済み）	89人	89人		
D群総計			2,243人		

② 本人のプロフィールの観点から

- D群を構成する下位グループを確認し、地域移行を困難にしている要因を明らかにするために、クラスター分析を行う。
- クラスター分析とは、まだ分類されていない対象を似たもの同士からなるいくつかのグループに分類することを目的とした分析手法である。
- D群の人について、①本人のプロフィール（性別、年齢、入所期間、身体障がい者手帳や療育手帳の程度）②施設入所前の生活の場や日中活動の内容、③支援者、施設として地域移行支援に関して心配なこと、課題と考えていること（支問15）、④地域移行が決定されない主な理由（支問12－1）の回答をもとに、クラスター分析したものが表Ⅱ－85である。
- クラスター分析の際、上述の回答を以下のように数値化している。

① 性別：女性を0、男性を1

年齢：本人の年齢

入所期間：入所年数区間内の中央値

療育手帳：Ａを３、Ｂ１を２、Ｂ２を１、なしを０

身体障がい者手帳：級を指数で表示（０～18）

②、③、④については、それぞれの項目を選択した場合を１、選択していない場合を０

（項目内容については、表の右側に明記している）

表の数値は上記の基準にそって数値化したものについての、各クラスター内の平均値である。例えば療育手帳の行を見ると、Ａが３、Ｂ１が２、Ｂ２が１、なしが０とコード化してあるため、クラスター３や４では平均値が2.8や2.9になっているため療育手帳Ａを所持している人の割合が多く、反対にクラスター６では平均値が0.8のため療育手帳を所持していないあるいは軽度の人の割合が高いことがわかる。

- 一部項目記載のないなどの710人が除外され、Ｄ群2,243人のうち1,533人について分析が行われた。この分析によりＤ群が８個のグループ（クラスター）に分けられた。

表Ⅱ－85：D群のクラスター分析の結果

［注］
・数値のコード化基準は以下の通り
　性別：女性 0 ～男性 1
　入所期間：入所年数区間内の中央値
　療育手帳：Aが3, B1 が2, B2 が1, なしが0
　身体障がい者手帳：級を指数で表示（0～18）
　Q07, Q08, Q15：該当が1, 非該当が0
・Q○○で数値が0.5以上のものに「＊」をつけた
・表の数値は、各クラスター内の平均値

	クラスター	1	2	3	4	5	6	7	8	
	人数	194	2	200	578	337	206	7	9	
プロフィール	性別	0.64	1.00	0.73	0.69	0.49	0.63	0.86	0.56	
	年令	46.7	76.0	35.0	38.1	55.2	56.4	56.3	46.2	
	入所期間	7.4	10.0	7.7	7.0	7.7	6.9	5.5	5.1	
	療育手帳	2.4	1.5	2.8	2.9	1.8	0.8	3.0	2.8	
	身障手帳	7.0	14.5	2.9	2.8	10.9	12.7	3.6	4.0	
施設入所前	Q0701	0.01	0.00	0.00	*0.92	*0.90	0.00	0.00	0.44	自宅で生活
	Q0702	0.00	*1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	*1.00	0.00	GHで生活
	Q0703	*0.96	0.00	0.01	0.01	0.02	0.01	0.00	0.33	他の成人入所施設で生活
	Q0704	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	*0.99	0.00	0.11	入院していた
	Q0705	0.01	0.00	*0.98	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	児童施設で生活
	Q0707	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	*1.00	*1.00	GHでの生活の有無
	Q0801	0.00	0.00	0.00	0.04	0.01	0.01	*0.71	0.00	働いていた
	Q0802	0.03	0.00	0.00	*0.67	0.03	0.00	0.29	0.22	作業所などに通所
	Q0803	*0.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	他の成人入所施設で活動
	Q0804	0.00	0.00	0.05	0.12	0.02	0.00	0.00	0.00	通学していた
	Q0805	0.01	*0.50	0.01	0.00	0.00	*0.99	0.00	0.11	入院治療中
	Q0806	0.00	0.00	*0.92	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	児童施設で活動
	Q0807	0.00	0.00	0.02	0.05	*0.84	0.00	0.00	0.11	何もしていなかった
支援者・施設として課題と考える事	Q1501	*0.55	*0.50	*0.50	*0.50	*0.59	*0.66	*0.71	*0.78	アフターケアの人手が出せない
	Q1502	*0.75	*0.50	*0.77	*0.70	*0.70	*0.69	*0.71	*0.67	本人のケアを充分にしてもらえるか心配
	Q1503	*0.63	0.00	*0.56	*0.53	*0.51	*0.52	*0.57	0.33	地域の支援策不足の現状では勧められない
	Q1504	0.47	0.00	0.33	0.40	0.34	0.40	0.14	*0.56	地域の医療体制では心配
	Q1505	0.47	0.00	*0.69	*0.54	0.30	0.32	0.14	0.44	本人の行動に対応できない心配
	Q1506	*0.55	*0.50	*0.51	0.42	0.42	*0.53	0.43	0.44	地域で孤立する心配
	Q1507	0.37	0.00	0.34	0.31	0.26	0.36	0.29	0.44	犯罪の被害に遭わないか心配
	Q1508	0.24	0.00	0.33	0.34	0.11	0.16	0.00	*0.56	社会的な問題を起こさないか心配
	Q1509	0.14	0.00	0.16	0.16	0.16	0.20	0.00	0.11	本人が同意しない
	Q1510	0.16	0.00	0.17	0.16	0.15	0.17	0.29	0.22	地域移行に何をすればよいか不明
	Q1511	0.30	0.00	0.44	0.37	0.34	0.29	0.14	0.44	家族の同意を得るのが難
	Q1512	0.08	0.00	0.17	0.13	0.07	0.06	0.00	0.22	個別支援計画通り行かない
	Q1513	0.13	0.00	0.13	0.08	0.23	0.13	0.29	0.33	市町村担当者から地域移行の話がない
地域移行決定されない理由	Q12付1	0.19	0.00	0.10	0.09	0.24	0.35	0.14	0.22	本人の不安
	Q12付2	0.20	0.00	0.05	0.07	0.22	0.32	0.29	0.11	本人の意思
	Q12付3	0.21	0.00	0.34	0.24	0.20	0.26	0.00	0.22	家族の同意が得られない
	Q12付4	0.25	0.00	0.38	0.26	0.26	0.40	0.29	0.22	地域のサービス不足
	Q12付5	0.16	0.00	0.16	0.11	0.16	0.25	0.14	0.22	地域サービスの情報不足
	Q12付6	0.13	0.00	0.34	0.29	0.07	0.12	0.14	0.33	本人の特別な事情
	Q12付7	*0.54	0.00	*0.59	*0.56	0.31	0.33	0.00	0.33	未だ地域に移行する段階でない
	Q12付8	0.12	*1.00	0.08	0.08	0.16	0.10	0.43	0.00	わからない

各クラスターの特徴を一覧にすると、表Ⅱ－86となる。

表Ⅱ－86：D群のクラスター分析による特性

クラスター	人数	入所前の生活		プロフィール	今後の課題
1	194人	入所施設	他の成人施設で生活・日中活動	特に特徴なし	長期の施設利用が必要と判断された理由についての検証
3	200人	入所施設	児童施設での生活	やや若年（約35歳） 療育手帳A所持者が多い 身体障がいは軽度または、なしが多い （主に知的障がい者施設利用者と想定される）	児童期に施設利用に至ったいきさつ、さらに引き続き成人施設への入所となった背景に上記の要素が作用していると思われるため、児童期に施設利用に至ったいきさつについての検証
4	578人	在宅	日中は作業所通所が多い	やや若年（約38歳） 療育手帳A所持者が多い 身体障がいは軽度または、なしが多い （主に知的障がい者施設利用者と想定される）	在宅生活の継続に生じた課題の検証、個別支援計画にそれらの課題がどのように組み込まれているか、といった点での支援方法の検討
5	337人	在宅	日中なにもしていなかった人が多い	身体障がいがやや重度	
6	206人	入院していた人が多い		重度の身体障がい 軽度の知的障がい （主に身体障がい者施設利用者と想定される）	本人の地域移行への不安要素払拭のため、地域生活体験やピアカウンセラーの活用等の支援プログラムの検討
2	2人	GHでの生活経験あり	GHで生活	高齢男性 重度身体障がい 長期の入所期間	高齢者施策とも合わせた支援策の検討
7	7人	GHでの生活経験あり	就労ないし作業所通所	男性の療育手帳A所持者が多い 身体障がいは軽度または、なしが多い （主に知的障がい者施設利用者）	グループホームでの生活の継続に生じた課題の検証
8	9人	GHでの生活経験あり	日中活動なし	療育手帳A所持者が多い 身体障がいは軽度または、なしが多い （主に知的障がい者施設利用者）	社会的な問題の惹起に関する支援策の検討

- いずれのクラスターでも共通して見られるのが、「アフターケアの人手が出せない」、「本人のケアを十分にしてもらえるか心配」、「地域の支援策不足の現状では勧められない」といった項目の値が高い。ついで地域での孤立を懸念する値も高く、総じて支援者として地域移行後のケアに関する不安が大きいことがうかがえる。
- 個々に見ると、クラスター１は他の成人施設から継続して現在の施設に入所した群であり、施設変更の時点で引き続き、長期の施設利用が必要と判断されたと考えられる。そのように判断された理由について検証が必要である。
- クラスター３、４については療育手帳に関する数値がそれぞれ2.8、2.9であることから療育手帳Ａ所持者が多くを占める。この群については地域で本人の行動に対応できない心配があることへの数値が高く、重度の知的障がいで著しい行動障がいや在宅での生活が困難といった要因が輻輳するなどといった対象が多いと推測される。また、クラスター３は児童施設から成人施設入所の群であり、児童期に施設利用に至ったいきさつ、さらに引き続き成人施設への入所となった背景に上記の要素が大きく作用し、そのまま成人施設へ継続となったものと思われる。
- クラスター１、３、４については「未だ地域に移行する段階ではない」とする値が他のクラスターに比較して高い。この項目を選択した根拠は今回の調査ではつかめないが、身体障がい者が多くを占めるクラスター６（療育手帳に関する数値0.8、身障手帳に関する数値12.7）の値が0.33であることに比較し、

知的障がい者が多く占める１、３、４群の値がそれぞれ0.54・0.59・0.56と高く、このクラスター間の比較では支援者の判断基準が障がいにより違いが生じている。支援者の判断基準となるものがどのような要素によるものかをさらに検証する必要がある。

- クラスター４、５は入所前の生活場所が自宅のケースがそれぞれ0.92、0.90と大半を占める。この群はクラスター分析を実施した1533例中、915例（59.7％）と半数以上を占める。調査対象全体での入所前生活場所に関する集計（表Ⅰ－８）でも自宅が57.5％となっており、ほぼ同程度の割合である。在宅生活の継続に生じた課題の検証、個別支援計画にそれらの課題がどのように組み込まれているのかといった点での支援方法の検討が必要な対象ではないか。
- クラスター６は重度の身体障がい者で入院から施設入所となったケースで占められている。中には、いわゆる社会的入院といわれる状況から施設に移行したケースも含まれると考えられる。他のクラスターに比較し、地域移行が決定されない理由として、本人の不安（0.35）や本人の意思（0.32）の選択が他のクラスターに比較しやや高くなっており、当事者の地域生活移行への不安要素払拭のための地域生活体験やピアカウンセラーの活用といった支援プログラムがより必要な対象ではないかと考える。
- クラスター８では「社会的な問題を引き起こさないか心配」に関する値が0.56と他に比較して高い。グループホームでの生活経験があるクラスターであり、地域生活において何らかの社会的な問題を生起したか、その恐れがあり、そのために施設入所となったケースが考えられる。再度、地域生活に移行するためには、社会的な問題の惹起に関する支援策がさらに講じられる必要のある対象である。

9　施設や施設職員の意識改革

- 地域移行に向けた取り組みには、施設によって違いがみられる。地域移行明記率の高い施設とそうでない施設とで、地域移行が決定されない理由（支問12付問１）の捉え方がどのように異なっているかを分析する。
- 障がい種別ごとに、個別支援計画に地域移行が明記されている割合が高い施設を上位３施設と、まったく明記されていない施設とを比べたものが表Ⅱ－87、88である。割合はいずれも各施設の全回答者数を母数として算出している。
- 知的障がい者施設利用者に関しては、地域移行明記率の高い施設（ア～ウ）では地域移行の進みにくい理由として、本人の不安や意思、家族同意が得られないこと、地域のサービス不足があげられている。
- 一方、地域移行に向けた個別支援計画をまったく立てていない施設（エ～サ）は、若干の例外はみられるが、地域移行の進みにくい理由として、本人の特別な事情やまだ移行段階ではないという理由をあげている割合が高い。

- 知的障がい者施設については、地域移行明記率の高い施設では、本人の意向を尊重し、本人ニーズに合わせてサービスを調整するというケアマネジメント手法に近い形をとっており、本人の不安を払拭しエンパワメントするような働きかけによって、地域移行がより促進されるものと期待される。
- 地域移行明記率の低い施設では、本人の意思よりも、まだ地域移行する段階ではないと支援者の側が判断していたり、本人の特別な事情があるゆえに困難であると捉えていたりする施設が多い。
- 施設によっては、9割以上の利用者本人について「高齢だから」という理由で地域移行が進まないと捉えている施設もあれば、高齢者を主な対象にしている施設であっても地域移行に積極的に取り組んでいる施設もあり、施設の姿勢や考え方によって大きく異なる。

- 身体障がい者施設利用者に関しては、更生施設が有期限であることから地域移行が明記されている率が非常に高く一律に比べることが困難なため、身体障がい者療護施設に限って分析を行ったが、療護施設利用者に関しては、知的障がい者施設利用者に見られたような顕著な傾向は見られなかった。

表Ⅱ－87：地域移行明記率と地域移行が決定されない理由（知的障がい者施設利用者）

施設名	地域移行明記率		地域移行が決定されない理由								
	個別支援計画に地域移行明記あり（AC群）	個別支援計画に地域移行明記なし（BD群）	本人の不安	本人の意思	家族同意得られず	地域のサービス不足	地域サービスの情報不足	本人の特別な事情	移行段階ではない	わからない	その他
ア	58.1%	41.9%	14.0%	14.0%	11.6%	2.3%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%
イ	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%
ウ	45.9%	54.1%	6.1%	5.1%	40.8%	38.8%	1.0%	8.2%	9.2%	17.3%	1.0%
エ	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.6%	6.0%	3.6%	18.1%	66.3%	30.1%	1.2%
オ	0.0%	100.0%	13.5%	64.9%	75.7%	37.8%	32.4%	70.3%	91.9%	5.4%	2.7%
カ	0.0%	100.0%	23.5%	38.2%	17.6%	8.8%	2.9%	2.9%	17.6%	5.9%	14.7%
キ	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.6%	2.3%	88.6%	0.0%	0.0%	88.6%
ク	0.0%	100.0%	3.8%	1.9%	82.7%	5.8%	13.5%	32.7%	36.5%	1.9%	0.0%
ケ	0.0%	100.0%	6.3%	4.2%	29.2%	39.6%	20.8%	25.0%	66.7%	6.3%	2.1%
コ	0.0%	100.0%	2.4%	7.3%	2.4%	2.4%	0.0%	9.8%	36.6%	36.6%	4.9%
サ	0.0%	100.0%	6.1%	0.0%	0.0%	12.2%	6.1%	20.4%	65.3%	2.0%	0.0%

表Ⅱ－88：地域移行明記率と地域移行が決定されない理由（身体障がい者施設利用者）

施設名	地域移行明記率		地域移行が決定されない理由								
	個別支援計画に地域移行明記あり（AC群）	個別支援計画に地域移行明記なし（BD群）	本人の不安	本人の意思	家族同意得られず	地域のサービス不足	地域サービスの情報不足	本人の特別な事情	移行段階ではない	わからない	その他
タ	16.2%	83.8%	25.0%	17.6%	13.2%	8.8%	7.4%	4.4%	19.1%	10.3%	11.8%
チ	10.0%	90.0%	2.0%	2.0%	6.0%	2.0%	2.0%	4.0%	38.0%	4.0%	0.0%
ツ	9.1%	90.9%	18.2%	0.0%	9.1%	13.6%	9.1%	22.7%	63.6%	4.5%	0.0%
テ	0.0%	100.0%	14.3%	7.9%	19.0%	15.9%	27.0%	9.5%	27.0%	19.0%	3.2%
ト	0.0%	100.0%	44.7%	26.3%	21.1%	2.6%	2.6%	10.5%	0.0%	15.8%	0.0%
ナ	0.0%	100.0%	34.5%	31.0%	29.9%	16.1%	26.4%	3.4%	6.9%	18.4%	17.2%
ニ	0.0%	100.0%	44.2%	57.7%	21.2%	25.0%	1.9%	5.8%	17.3%	0.0%	13.5%
ヌ	0.0%	100.0%	25.0%	1.3%	5.0%	57.5%	56.3%	2.5%	3.8%	2.5%	31.3%
ネ	0.0%	100.0%	61.7%	59.3%	56.8%	86.4%	29.6%	3.7%	69.1%	7.4%	0.0%

Ⅲ　巻　末　資　料

・大阪府地域移行推進指針策定検討委員会設置要綱

・地域移行に向けた意向調査実施要綱

・大阪府地域移行推進指針策定検討委員会　開催経過

・入所者本人記入用調査票

・施設支援員記入用調査票

・分析設計図

・大阪府地域移行に向けた意向調査集計報告

大阪府地域移行推進指針策定検討委員会設置要綱

1. 目　的

障害者自立支援法の施行に伴う福祉ニーズを踏まえつつ、大阪府域における都市型の地域生活への移行支援の方策を検討し「地域移行支援マニュアル」を策定するとともに、地域移行のための支援方策等を検討するため、「大阪府地域移行推進指針策定検討委員会（以下「検討委員会」という）」を設置する。

2. 組　織

・検討委員会は、地域移行支援に関する支援ノウハウの実情に精通した学識経験者
福祉サービス実務担当者、及び福祉行政実務経験職員をもって構成する。
・検討委員会の下には、実務担当者で構成するワーキングを設置することができる。
・検討委員会は大阪府障がい者自立相談支援センター所長が召集する。

3. 庶　務

検討委員会の庶務は、大阪府障がい者自立相談支援センター地域支援課において行う。

4. 委　任

この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関する必要な事項は大阪府障がい者自立相談支援センター所長が別途定める。

5. 検討を予定する事項

- 別途実施する地域移行意向調査の集計結果の分析、及び地域生活移行支援ニーズの把握
- 具体的事例による検討
- 事業実施のための課題整理
- 支援方策の検討
- その他

6. スケジュール

平成 20 年 1 月を目途に月 2 回程度開催

7. 検討委員構成

委　　員：学識経験者
〃　　：身体障がい者支援実務担当者
〃　　：知的障がい者支援実務担当者
〃　　：地域移行支援センター実務経験者
〃　　：地域生活支援実務担当者
〃　　：相談支援実務担当者（ピアカウンセラー）
〃　　：福祉行政実務経験者
〃　　：障がい保健福祉室（施設福祉課　課長補佐）
〃　　：障がい保健福祉室（地域生活支援課　参事）

8. 検討委員（別記のとおり）

【別　記】　大阪府地域移行推進指針策定検討委員会 名簿

所属	職	委員氏名	備考
種智院大学	准教授	本多　隆司	座長
社会福祉法人わらしべ会	ケアホーム　サービス管理責任者	石川　太一朗	
大阪知的障害者育成会	事務局長	北尾　明美	
大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス 地域支援グループ	移行支援センター主査 （障害者地域移行支援センター 「あいあい・みしま」）	坪倉　浩治	
社会福祉法人三恵園	支援・まごころ課　主任	宮脇　真佐恵	
障害者相談支援センター 「かたの」	専任相談員（ピアカウンセラー）	金澤　季代子	
大東市	健康福祉部障害福祉課主幹	村岡　昭二	
大阪府	障がい保健福祉室施設福祉課 課長補佐	河野　哲造	
	障がい保健福祉室地域生活支援課参事	辻　清隆	

地域移行に向けた意向調査実施要綱

１　調査の目的

本年４月、市町村障がい福祉計画を踏まえたうえで府障がい福祉計画を公表したところであり、今後、計画の完全実施に向けた府・市町村の連携した取組みが求められている。とりわけ、本計画では「平成23年度までの地域移行目標を現在（平成17年10月）の施設入所者の20%以上」としたところである。

このため、地域移行に関する市町村別目標の達成に向け、地域移行可能な入所者の把握を含め、施設入所者の意向、施設関係者の意向、及び地域移行を念頭においた個別支援計画の作成状況等、地域移行に向けた基礎情報を得ることを目的として以下の仕様により調査を実施する。

２　調査の方法

① 実施主体：大阪府

② 調査地域：大阪府域

③ 調査対象：入所施設利用者：53施設

・ただし、以下の条件の利用者を除く

・有期限である等、長期入所が予想されない通勤寮及び授産施設

・大阪市が援護の実施者となっている者及び府立施設入所者

（内訳）

- 知的障がい者更生施設（36）
- 身体障がい者更生施設（１）
- 内部障がい者更生施設（１）
- 身体障がい者療護施設（15）

④ 対象者数：約3,000人

⑤ 調査期間：平成19年7月17日から８月31日

⑥ 調査時点：平成19年7月１日現在

⑦ 調査方法：大阪府から調査票を各施設に送付し、各施設において、個別調査票については利用者及び施設支援員が記入し、施設情報調査票と併せて、障がい者自立相談支援センター職員が回収する留置法により実施する。また、利用者が直接回答するのが困難な場合には、利用者本人の了解のもと、施設支援員による個別面接法により実施する。

３　調査内容（調査票種別）

・以下の２つの調査票により地域移行に向けた基礎情報を把握する。

① 入所者本人記入用調査票

② 施設支援員記入用調査票

４　調査の分析

・障がい者自立相談支援センターが回収した分析結果については、施設別、市町村別に報告するとともに、地域移行推進指針作成の検討のための基礎データとして活用する。

１．地域移行推進指針策定検討委員会　開催経過

	開催日	検討の概要
第１回	平成 19 年８月２日	・委員紹介・座長選出 ・「大阪府における地域移行の現状、施策の課題について」報告 ・「地域移行のための意向調査」の説明 ・「地域移行推進指針」の検討項目の検討
第２回	平成 19 年８月 29 日	・意向調査の回収状況報告 ・「大阪府における現状施策の課題」 ・「地域移行推進指針」の検討項目について討議 ・グループホーム・ケアホーム支援検討作業部会検討内容報告
第３回	平成 19 年９月 10 日	・意向調査集計の分析と中間報告 ・指針の検討項目（「入所施設」、「グループホーム（ケアホーム）」の課題と支援策）について検討
第４回	平成 19 年 10 月１日	・意向調査の分析について報告 ・地域移行希望者の考え方 ・指針検討項目（入所施設の課題と支援策、相談支援体制の整備等） ・事例提出について討議
第５回	平成 19 年 10 月 22 日	・グループホーム・ケアホーム支援検討作業部会との合同会議 「事例検討」
第６回	平成 19 年 11 月５日	・「意向調査集計結果」の施設・市町村への報告 ・指針目次（案）検討 ・指針の意義と地域移行（基本的考え方） ・指針検討項目、地域移行イメージ図（案）について討議
第７回	平成 19 年 11 月 30 日	・指針の目次（案）、検討項目について討議 ・「障害保健福祉施策に係る府と市町村との意見交換会」報告内容説明
第８回	平成 19 年 12 月 21 日	・分析報告書（案）（調査結果にみる身体障害者施設利用者、支援者の意向、D 群に関する考察を中心に）討議 ・指針（案）討議 ・利用者作業部会の設置について
第９回	平成 20 年１月 18 日	・指針（案）（第Ⅳ章地域移行支援における課題を中心に）討議 ・分析報告書（案）について討議 ・指針（案）、分析報告書（案）校了に向けての調整
第 10 回	平成 20 年２月 22 日	・指針（案）、分析報告書（案）について討議
第 11 回	平成 20 年３月 21 日	・指針（案）、分析報告書（案）、本人向け冊子（案）について討議 ・今後について確認

２．グループホーム・ケアホーム支援検討作業部会　開催経過

	開催日	検討の概要
第１回	平成 19 年８月７日	・地域移行にむけた取り組み説明 ・地域移行を支援するための課題と対応について ・グループホーム関連 WEB システムの構築について
第２回	平成 19 年９月 28 日	・「地域移行にむけた意向調査」集計報告書について（報告） ・グループホーム関連 WEB システムについて ・地域移行推進指針策定検討委員会に紹介する事例について
第３回	平成 19 年 10 月 22 日	（地域移行推進指針策定検討委員会との合同会議） ・事例検討
第４回	平成 19 年 11 月 22 日	・グループホーム関連 WEB システムについて ・「地域移行にむけた意向調査」集計報告書について（報告） ・推進指針に掲載する事例について
第５回	平成 19 年 12 月 11 日	・グループホーム関連 WEB システムについて ・推進指針に掲載する事例について

３．地域移行　利用者作業部会　開催経過

	開催日	検討の概要
第１回	平成 19 年 12 月 26 日	部会員紹介、部会の目的など説明 話し合い １．どのようにして地域移行したか ２．地域移行するのに大切だと思うこと
第２回	平成 20 年１月 30 日	１．「地域移行イメージ図」を使いながら、 ①どのように地域移行したか ②現在どのような人や機関が支援に関わっているか について、話し合い ２．パンフレットやマニュアルについて ①どのような形式が使いやすいか ②どのようなことを書くか　について、話し合い
第３回	平成 20 年２月 27 日	１．練習ｼｰﾄを使って、「個別支援計画」を作成 ２．資料を見ながら「個別支援会議」について、話し合い
第４回	平成 20 年３月 26 日	１．マニュアル案「わたしの個別支援計画、個別支援会議」の内容確認と、話し合い ２．入所施設で生活している人に、地域生活を伝える方法や内容についての話し合い

回答		本人が記入
		本人からの聞き取りで支援者が記入
		意向確認困難

調査票番号

平成19年7月17日

大　阪　府

あなたの暮らしについて　お聞かせください

あなたは、これからどのような暮らしをしたいと思っていますか？　大阪府では、

あなたの意見を　お聞きして、あなたの暮らしを支えていくのに何が必要かを

市町村とも一緒に考えさせていただき、あなたの支援にいかしていきたいと思いますので、

下の質問に答えてくださいますよう　お願いいたします。

質問の意味がわからないときは、支援者に聞いてください。

ご協力よろしくお願いします。

質問１　**あなたは　これから　どこで暮らしたいと思っていますか？**

<u>どれか一つに○を</u>つけてください。

①　このまま　今の施設で暮らしたい。

②　今の施設とは　違うところで暮らしたい。

③　どちらでもよい。決められない、わからない。

④　その他（上のどれにもあてはまらない）

この用紙についての問い合わせ先

大阪府障害者自立相談支援センター

地域支援課　　鈴木・左古

電話　０６－６６９２－５２６１

質問２　**今の施設での暮らしについて、あなたが思っていることに、<u>いくつでも○を</u>つけてください。**

① 施設での暮らしが　楽しい

② 施設で暮らしていると　日常生活（食事、日中の活動、遊びなど）に困らない

③ 施設では困ったことがあっても、すぐに相談にのってくれる人がいる

④ 施設では、いろんな規則（きまり）が多い

⑤ 施設では、プライバシーがまもられない

⑥ 施設では　自分のしたいことを自由にできない

⑦ わからない

⑧ その他（具体的に記入してください　　）

質問３　**施設を出て暮らすことについて、あなたが感じたり、思ったりすることは**

どのようなことですか？　あてはまるものに、<u>いくつでも○を</u>つけてください。

① 施設を出て暮らしても、困ることはない

② 施設を出て暮らすのは、　楽しそう

③ 施設を出ても、支えてくれる人がいるので安心です

④ 自信はないが、施設を出ても　なんとか暮らしていけると思う

⑤ 施設を出ると、相談する人がいなくなるので困りそう

⑥ 施設を出ると、昼間通うところ　(日中活動の場、仕事)　がみつかるか心配です

⑦ 家族が心配するので、施設を出たくない

⑧ 施設を出て暮らす　自信がない

⑨ 施設を出ると　自分のお金で生活できるか心配です

⑩ 施設を出ると　調理、掃除や洗濯など（家事援助）で困る

⑪ 施設を出ると　食事、入浴や排泄など（身体介護）で困る

⑫ 現在の病気(障害)を　定期的に診てくれる病院が地域にあるか心配です

⑬ わからない

⑭ その他　（具体的に記入してください　　）

質問４－１　あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのようなところで暮らしたいですか？　あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

① グループホームやケアホームで　暮らしたい

② 自分の家に帰って　暮らしたい

③ 住むところを借りて　暮らしたい

④ 今いる施設とはちがう　別の入所施設で　暮らしたい

⑤ 今いる施設以外で暮らすことは　考えられない

⑥ わからない

⑦ その他（具体的に記入してください　　）

質問４－２　あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、誰と暮らしたいですか？　あてはまるものに、一つだけ○をつけてください。

① ひとりで　暮らしたい

② 結婚して　夫婦で　暮らしたい

③ 親と　暮らしたい

④ 兄弟姉妹と　暮らしたい

⑤ 友だちと　暮らしたい

⑥ わからない

⑦ その他（具体的に記入してください　　）

質問４－３　**あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのような支援が必要ですか？**

あてはまるものに、<u>いくつでも○を</u>つけてください。

①　困った時に　相談できる支援

②　車椅子で移動できるなど　バリアフリー住宅

③　医療、看護の支援

④　食事、入浴、排泄などの介護支援

⑤　余暇活動参加のための支援

⑥　特に必要ない

⑦　その他（具体的に記入してください　　）

質問４―４　**あなたが施設を出るとしたら、どこの市町村に　住みたいですか？**

あてはまるものに、<u>一つだけ○を</u>つけ、住みたいと思う　市町村名を書いてください。

①　施設に入る前に　住んでいたところや、その近く⇒　（ ＿＿＿＿＿＿ 市・町・村）

②　入所している施設の近く⇒　（ ＿＿＿＿＿＿ 市・町・村）

③　特にない、わからない

④　その他（具体的に記入してください　　）

質問５　**あなたが施設を出て暮らすとしたら、平日の日中（昼間）は、どのようにして過ごしたいですか？　あてはまるものを一つだけ選んで、○をつけてください。**

① 今いる施設の日中活動に　参加したい

② 会社や工場などで、給料をもらって働きたい（アルバイトも含みます）

③ 働く（就職する）ための訓練を受けたい（職場実習や　訓練校など）

④ 作業の出来るところに　通いたい（作業所のようなところ）

⑤ 趣味の活動や、友人と交流をしたい（サロンのようなところ）

⑥ 特に希望はない

⑦ わからない

⑧ その他（具体的に記入してください　　）

質問６－１

地域で生活する場にグループホームや、ケアホームがありますが、あなたは、グループホームやケアホームを知っていますか？　（○は、一つだけつけてください）

① グループホーム、ケアホーム　どちらも知っている

② グループホームは　知っている

③ ケアホームは　知っている

④ どちらも　知らない

質問６―２

グループホームやケアホームで暮らしている人の話を聞いたことがありますか？

① 聞いたことが　ある

＊　ある　と答えた方に、お聞きします。

話を聞いて　どう思いましたか。

あてはまるものに、<u>○をいくつでも</u>つけてください。

① 関心をもった

② おもしろそう・楽しそうだった

③ 難しそう・大変そうだった

④ わからない

⑤ その他

（具体的に記入してください）

② 聞いたことが　ない

＊ない　と答えた方に、お聞きします。

話を聞いてみたいと　思いますか？

（○は一つ）

① 聞いてみたいと　思う

② 聞いてみたいと　思わない

その他　あなたが　暮らしについて思っていることを、なんでも自由に書いてください。

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

H19.7.3 改訂　支援者用調査用紙

地域移行に向けた

施　設　入　所　者　**状　況**　調　査　票

平成 19 年（2007 年）７月
大　　阪　　府

《お答えにあたってのお願い》

この調査は、施設に入所しておられる方々にこれからの暮らしについての**希望**をお聞きし、地域移行に関する支援についての検討資料とするために実施するものです。
回答いただいた調査票の内容は、市町村にも伝えさせていただき、連携して今後の支援に活かしてまいりたいと思っておりますので、お忙しい中申し訳ございませんが以下の手順で各質問にお答えくださいますようご協力よろしくお願いいたします。

○この調査票の調査項目については、施設職員が入所者おひとりおひとりの状態についてお答えくださるようお願いします。

○回答は、問の番号順に、質問ごとに用意してある答えの中から、**あてはまる番号を○で囲む**か、空欄に記入していただく形式です。

○回答によっては、次の質問をとばしていくところがあります。その場合には、矢印等にしたがって次へ進んでください。

○「その他」を選んだ場合は、（　　）内に**具体的にご記入**ください。

施設名（　　）

記入年月日（平成 19 年　　月　　日）

本調査に入所者の個人名は不要ですが、本人用調査票による情報不足を補い、また調査票回収後の調査内容の確認作業のため、調査票ごとに番号を記載してください。

調査票番号 [　　]

●回答いただきました調査票は、　　月　　日（　　曜日）に、
大阪府障害者自立相談支援センター職員（　　）が、
受け取りにうかがいます。なにとぞ、それまでにご記入くださいますようお願いいたします。

■入所者本人の基礎的な情報についてお聞きします。

問１．ご本人の性別を、○で囲ってください。　　（　男　・　女　）

問２．ご本人の年齢をご記入ください。　　年齢（　　）才

問３．ご本人の入所期間について、下記の当てはまる期間を選んで○をしてください。

① 1 年未満
② 1～2 年
③ 3～4 年
④ 5～9 年
⑤ 10 年以上

問４．ご本人の障害程度について該当する障害者手帳を○で囲い、該当する等級を記入してください。（該当するものをすべてに○）

① 療育手帳　　等級；Ａ・Ｂ１・Ｂ２・なし

② 身体障害者手帳　　等級 [　　] 級・なし

③ 精神保健福祉手帳；　１・２・３　級・なし

問５．障害者自立支援法による障害程度区分が市町村によりすでに実施されている場合は、該当する区分に○をしてください。

障害程度区分　（１・２・３・４・５・６・未実施　）

問６．ご本人の援護の実施機関名（受給者証を発行している**市町村名**）**をお答えください。**

市町村名（　　）

問７．ご本人が施設に入所される直前は、どこで生活されていましたか。
該当するものに○をつけてください。（○は一つ）

① 自宅で生活していた
② グループホームで生活していた
③ 他の入所施設（成人）で生活していた
④ 入院していた
⑤ 児童施設で生活していた
⑥ その他（具体的に　　）

＊全員の方にお聞きします

問７付問１
グループホームでの生活の有無

（　有　・　無　）

問８．ご本人が施設に入所される直前は、日中は何をされていましたか。
該当するものに○をつけてください。（○は一つ）

① 働いていた
② 作業所などに通所していた
③ 他の入所施設（成人）で活動していた
④ 学校に通っていた
⑤ 入院して治療を受けていた
⑥ 児童施設で活動していた
⑦ 何もしていなかった
⑧ その他（具体的に　　）

■ご本人の個別支援計画についてお聞きします。

問９．ご本人に対する個別支援計画を作成していますか？（○は一つ）

① 作っている　　② 作っていない ⟶ **問１１**へ進んでください

問９付問１　個別支援計画の作成にあたって、どのように作成しましたか？（○はいくつでも）

① 計画策定にあたって本人に希望を聞いている
② 計画策定会議に本人が参加している
③ 計画策定後、本人に説明し同意を得ている
④ 計画策定後、家族に説明し同意を得ている
⑤ いずれにも該当しない

問９付問２　その計画は地域移行に向けた支援内容が明記されていますか？（○は一つ）

④ 明記されている　② 明記されていない　③ どちらとも言えない

問１２.へ進んでください

問９付問３　地域移行に向けた支援をするに至ったきっかけは何でしたか？(○はいくつでも)

① ご本人の希望
② ご家族の希望
③ 職員からの勧め
④ その他（具体的に　　）

問９付問４　地域移行に関するご家族の反応はどうでしたか？（○は一つ）

① 賛成している
② はじめは反対していたが後に賛成になった（理由；　　）
③ 反対している（理由；　　）

問９付問５　地域移行に向けてご本人に対してどんな取り組みをされていますか。
（○はいくつでも）

① 地域移行について、地域生活に関するビデオを見るなど情報提供をしている
② 施設を退所し地域で生活している人の話を聞く
③ 地域での生活にむけた生活体験（自活訓練等）
④ グループホーム見学
⑤ グループホーム体験宿泊
⑥ 地域の相談支援事業者との連携
⑦ 本人への意思確認
⑧ 特に何もしていない
⑨ その他（　　）

問９付問６　地域移行に向けてご家族に対してどんな取り組みをされていますか。
（○はいくつでも）

① 地域移行についての情報提供
② グループホーム見学
③ 家族を交えてのケア会議
④ 特に何もしていない
⑤ その他（具体的に　　）

↓

問９付問７　地域移行後、ご本人、ご家族はどこで生活したいと考えておられますか。ご本人、ご家族の意向を、それぞれ該当するものに○をつけてください。（○は一つ）

問９付問７－１　ご本人の希望

① 施設から近い地域
② 出身地域
③ その他（具体的に　　）

↓

＊①、②、③いずれも市町村名をお答えください（　　）

問９付問７－２　ご家族の希望

① 施設から近い地域
② 出身地域
③ その他（具体的に　　）

↓

＊①、②、③いずれも市町村名をお答えください（　　）

↓

問９付問８　地域移行後、ご本人の希望する生活の場について該当するものに○をつけてください。（○は一つ）ご本人の意向が明確でない場合は、支援者として分かる範囲でお答えください。

① 単身住宅
② 単身（車椅子　バリアフリー）住宅
③ グループホーム
④ ケアホーム
⑤ 自宅
⑥ 親戚宅
⑦ 知人宅
⑧ その他（具体的に　　）
⑨ まだ、決まっていない

↓

問９付問９　地域移行後、ご本人の希望する日中活動の場について該当するものに○をつけてください。（○は一つ）
ご本人の意向が明確でない場合は、支援者として分かる範囲でお答えください。

① 一般就労
② 就労移行支援
③ 就労継続支援
④ 地域活動支援センター
⑤ 生活介護
⑥ 自立訓練
⑦ 旧法の通所施設
⑧ その他（具体的に　　）
⑨ まだ決まっていない

問１０．その他、地域移行支援にむけて施設として工夫された点があれば教えてください。

⇒**問 13** に進んでください。

■ご本人の個別支援計画を作成していない人についてお聞きします。

問１１．個別支援計画を作成していない理由はなぜですか。

① ご本人の同意が　もらえないから
② 個別支援計画を作成しなくても　支援ができるから
③ 個別支援計画の作成方法が　わからないから
④ その他（具体的に　　）

⇒**問 13** に進んでください。

■個別支援計画を作成しているが地域移行が明記されていない人についてお聞きします。

問１２．ご本人は、今後の生活に関してどのような意思を持っていますか？（○は一つ）
ご本人の意向が明確でない場合は、支援者として分かる範囲でお答えください。

① このまま、今の施設で暮らしたい
② 今の施設とは、違うところで暮らしたい
③ どちらでもいい。決められない
④ 本人の意思が「施設にいたい」、「施設から出たい」と時によって異なる
⑤ 施設を出たいようだが、施設で暮らすしかないと思っている
⑥ わからない
⑦ 本人の意思を確認したことがない
⑧ その他（具体的に　　）

問１２付問１　地域移行が決定されない主な理由は何ですか（○はいくつでも）

① ご本人の不安（具体的に　　）
② ご本人の意思（具体的に　　）
③ ご家族の同意が得られない（具体的に　　）
④ 地域のサービス不足
⑤ 地域やサービスの情報不足
⑥ ご本人が抱えている特別な事情（社会的なトラブルなど）
⑦ まだ地域に移行する段階ではない（施設内での訓練などが必要）
⑧ わからない
⑨ その他（具体的に　　）

以下の質問には、すべての方がお答えください。

問１３．ご本人にどのようなサービスやシステムがあれば地域移行が可能になると思いますか。（〇はいくつでも）

① 生活の場(グループホーム・ケアホーム等)
② 日中活動の場
③ 余暇活動
④ 相談できるところ（本人・家族）
⑤ ヘルパー派遣
⑥ 外出支援
⑦ 本人の障害特性に応じた特別な支援体制
⑧ 経済基盤（生活できる収入）の確保
⑨ 日常生活自立支援事業（金銭管理等）の利用
⑩ 権利擁護システム
⑪ 医療体制の充実
⑫ 住宅改造
⑬ いつでも再入所できるシステム（現行は退所後１年以内）
⑭ その他（具体的に　　）

問１４．ご本人が地域での生活に関心をむけられるようになるためには、どのような働きかけが有効だとお考えですか。（〇はいくつでも）

① 地域での生活に関する情報提供（ビデオを見る、体験談を聞く等）
② 地域での生活に関する理解を促進する支援（コミュニケーションツール等）
③ 地域での生活を実際に体験する（見学・宿泊体験、作業所体験等）
④ 買い物や外出等、施設外に出る機会を増やす
⑤ その他（具体的に　　）

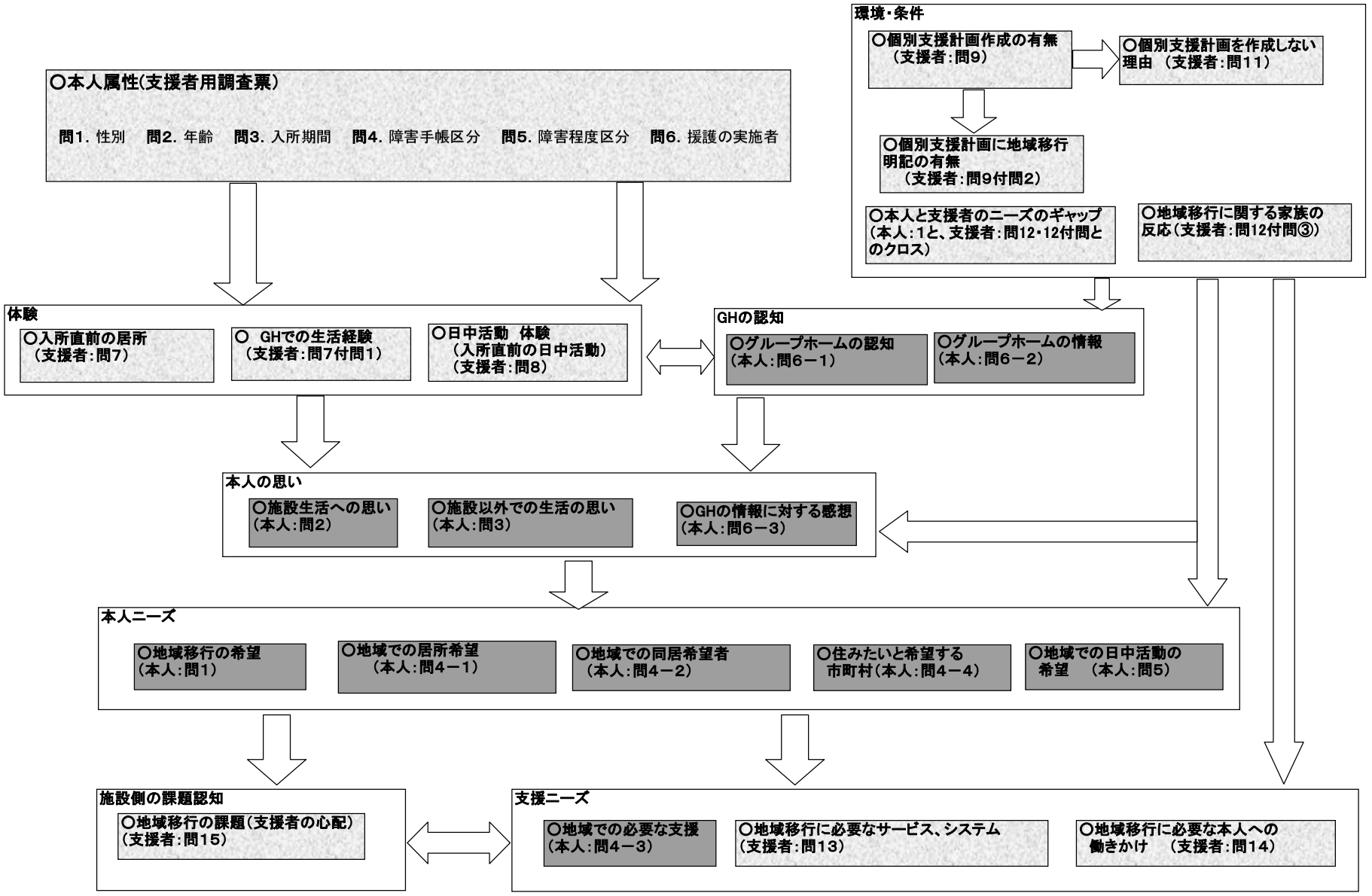
問１５．支援者、施設として、ご本人の地域移行支援に関して、心配なこと、課題と考えておられることは何ですか。（〇はいくつでも）

① 地域移行後のアフターケアのための人手が出せない
② 地域移行後、ご本人のケアを十分にしてもらえるか心配
③ 地域の支援策が不足している現状では勧められない
④ 現在の地域の医療体制では、地域移行後、本人の生命、安全が守れるか心配
⑤ 地域生活のサービスでは、ご本人の行動に対応しきれないと思う
⑥ ご本人が地域の中で孤立してしまうのではないか心配
⑦ ご本人が犯罪の被害に遭わないか心配
⑧ ご本人が社会的な問題を起こしてしまわないか心配
⑨ 説明してもご本人が同意されない
⑩ 地域移行支援のために何をすればよいかわからない
⑪ ご家族の同意を得るのが難しい
⑫ 個別支援計画を作っても、計画通りに行かない
⑬ 市町村の担当者から、地域移行の話がない
⑭ その他（具体的に　　）

その他、支援者として地域移行に関して感じておられることがありましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

意向調査　設計図


環境・条件
○個別支援計画作成の有無
（支援者：問9）
○個別支援計画を作成しない理由　（支援者：問11）
○個別支援計画に地域移行明記の有無
（支援者：問9付問2）
○本人と支援者のニーズのギャップ
（本人：1と、支援者：問12・12付問とのクロス）
○地域移行に関する家族の反応（支援者：問12付問③）
○本人属性(支援者用調査票)
問1. 性別　問2. 年齢　問3. 入所期間　問4. 障害手帳区分　問5. 障害程度区分　問6. 援護の実施者
体験
○入所直前の居所
（支援者：問7）
○ GHでの生活経験
（支援者：問7付問1）
○日中活動　体験
（入所直前の日中活動）
（支援者：問8）
GHの認知
○グループホームの認知
（本人：問6－1）
○グループホームの情報
（本人：問6－2）
本人の思い
○施設生活への思い
（本人：問2）
○施設以外での生活の思い
（本人：問3）
○GHの情報に対する感想
（本人：問6－3）
本人ニーズ
○地域移行の希望
（本人：問1）
○地域での居所希望
（本人：問4－1）
○地域での同居希望者
（本人：問4－2）
○住みたいと希望する市町村（本人：問4－4）
○地域での日中活動の希望　（本人：問5）
施設側の課題認知
○地域移行の課題（支援者の心配）
（支援者：問15）
支援ニーズ
○地域での必要な支援
（本人：問4－3）
○地域移行に必要なサービス、システム
（支援者：問13）
○地域移行に必要な本人への働きかけ　（支援者：問14）

「地域移行に向けた意向調査」

集計結果報告

平成 19 年 10 月

大阪府障害者自立相談支援センター

（1） 調査の概要

① 調査の目的

本年 4 月、市町村障害福祉計画を踏まえたうえで府障害福祉計画を公表したところであり、今後、計画の完全実施にむけた府・市町村の連携した取り組みが求められている。とりわけ、本計画では「平成 23 年度までの地域移行目標を現在（平成 17 年 10 月）の施設入所者の 20%以上」としたところである。

このため、地域移行に関する市町村別目標の達成に向け、地域移行可能な入所者の把握を含め、施設入所者の意向、施設関係者の意向、及び地域移行を念頭においた個別支援計画の作成状況等、地域移行にむけた基礎情報を得ることを目的として以下の仕様により調査を実施した。

② 調査の方法

ⅰ．調査実施主体：大阪府

ⅱ．調査地域：大阪府域

ⅲ．調査対象：入所施設利用者（53 施設）

ただし、以下の条件の利用者を除く

- 有期限である等、長期入所が予想されない通勤寮及び授産施設
- 大阪市が援護の実施者となっている者及び府立施設入所者

（内訳）

- 知的障害者更生施設（36 施設）
- 身体障害者更生施設（1 施設）
- 内部障害者更生施設（1 施設）
- 身体障害者療護施設（15 施設）

ⅳ．調査期間：平成 19 年 7 月 17 日から 9 月 7 日

ⅴ．調査時点：平成 19 年 7 月 1 日現在

ⅵ．調査方法：大阪府から調査票を各施設に送付し、各施設において、利用者及び施設支援員が個別調査票を記入し、障害者自立相談支援センター職員が回収する留置法により実施した。また、利用者が直接回答するのが困難な場合には、利用者本人の了解のもと、施設支援員による個別面接法により実施した。

③ 調査内容

以下の二つの調査票により地域移行にむけた基礎情報を把握する。

ⅰ．入所者本人記入用調査票

ⅱ．施設支援員記入用調査票

④ 回収率

すべての調査対象者から回答が得られた（回収率 100%）

（２）「地域移行希望者」の考え方について

＜今回の調査で「地域移行希望者」とする範囲＞

今回の調査報告において、入所系施設や病院ではない居住の場を選択した意思が、なんらかの手続きで確認された者を「地域移行希望者」とする。

（詳　細）

（１）本人調査票で本人の地域移行に関する意思が確認された者（下表**Ａ＋Ｂ=２５６人**）

（以下の３条件を満たす者）

１） 本人調査票「回答」において

「本人が記入」または「本人からの聞き取りで支援者が記入」を選択

２） 本人調査票「質問１　あなたはこれからどこで暮らしたいと思っていますか？」において、

②「今の施設とは違うところで暮らしたい」を選択

３） 本人調査票「質問４−1 あなたが、施設以外のところで暮らすとしたら、どのようなところで暮らしたいですか？」において

「①グループホームやケアホームで、暮らしたい」

「②自分の家に帰って暮らしたい」

「③住むところを借りて暮らしたい」のどれかを選択した者、及び、

「⑦その他」を選択した者の内、記述欄に入院、入所ではない居住の場の記載がある者

（２）（１）の条件にはあてはまらないが、地域移行の意思が確認できる者（下表**Ｃ=１９５人**）

（以下の２条件を満たす者）

１）個別支援計画に地域移行の記載がある。支援者調査票「問９付問２　個別支援計画に地域移行に向けた支援内容が明記されていますか？」で「①明記されている」を選択している。

２）支援者調査票「問９付問１　個別支援計画の作成にあたって、どのように作成しましたか？」において、

「①計画策定にあたって本人の希望を聞いている」

「②計画策定会議に本人が参加している」

「③計画策定後、本人に説明し同意を得ている」

の、いずれかが選択されている

表　＜地域移行希望者の範囲＞　Ａ＋Ｂ＋Ｃ＝４５１人

本人調査票 / 支援者調査票		本人の地域移行に関する意思		合計
		あり	なし	
本人同意のある地域移行を明記した個別支援計画の作成	あり	**Ａ**　８６人	**Ｃ**　１９５人	２８１人
	なし	**Ｂ**　１７０人	**Ｄ**２，２４３人	２，４１３人
合計		２５６人	２，４３８人	２，６９４人

調査結果　【支援者用調査票】

１．性別（支問１）

◇大阪府　　表１－１　性別（大阪府）

		性別			合計
		男性	女性	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	1,198	626	7	1,831
		65.4%	34.2%	0.4%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	502	361	0	863
		58.2%	41.8%	0.0%	100.0%
合計　人数		1,700	987	7	2,694
		63.1%	36.6%	0.3%	100.0%

２．年齢（年代）（支問２）

◇大阪府　　表２－１　年代（大阪府）

		年齢（年代）							合計
		10歳代（～19歳）	20歳代（20～29歳）	30歳代（30～39歳）	40歳代（40～49歳）	50歳代（50～59歳）	60歳以上	不明	
施設種別	知的障害者入所施設 人数	9	283	671	414	251	176	27	1,831
		0.5%	15.5%	36.6%	22.6%	13.7%	9.6%	1.5%	100.0%
	身体障害者入所施設 人数	3	54	133	169	221	273	10	863
		0.3%	6.3%	15.4%	19.6%	25.6%	31.6%	1.2%	100.0%
合計　人数		12	337	804	583	472	449	37	2,694
		0.4%	12.5%	29.8%	21.6%	17.5%	16.7%	1.4%	100.0%

３．施設入所期間（支問３）

◇大阪府　　表３－１　施設入所期間（大阪府）

		入所期間						合計
		1年未満	1～2年	3～4年	5～9年	10年以上	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	75	118	221	673	715	29	1,831
		4.1%	6.4%	12.1%	36.8%	39.0%	1.6%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	57	67	113	222	395	9	863
		6.6%	7.8%	13.1%	25.7%	45.8%	1.0%	100.0%
合計　人数		132	185	334	895	1,110	38	2,694
		4.9%	6.9%	12.4%	33.2%	41.2%	1.4%	100.0%

４．障害の程度

①療育手帳の程度（支問４－①）

◇大阪府　　表４－１－１　療育手帳の程度（大阪府）

		療育手帳の程度					合計
		A	B1	B2	なし	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	1,629	164	13	0	25	1,831
		89.0%	9.0%	0.7%	0.0%	1.4%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	331	10	3	513	6	863
		38.4%	1.2%	0.3%	59.4%	0.7%	100.0%
合計　人数		1,960	174	16	513	31	2,694
		72.8%	6.5%	0.6%	19.0%	1.2%	100.0%

②身体障害者手帳の程度（支問４－②）

◇大阪府　　表４－２－１　身体障害者手帳の程度（大阪府）

		身体障害者手帳の程度								合計
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	なし	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	51	77	77	65	27	17	1,511	6	1,831
		2.8%	4.2%	4.2%	3.5%	1.5%	0.9%	82.5%	0.3%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	597	231	16	12	1	0	0	6	863
		69.2%	26.8%	1.9%	1.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
合計　人数		648	308	93	77	28	17	1,511	12	2,694
		24.1%	11.4%	3.5%	2.9%	1.0%	0.6%	56.1%	0.4%	100.0%

③精神障害者保健福祉手帳の程度（支問４－③）

◇大阪府　　表４－３－１　精神障害者保健福祉手帳の程度（大阪府）

		精神保健福祉手帳の程度					合計
		1級	2級	3級	なし	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	4	6	1	1,817	3	1,831
		0.2%	0.3%	0.1%	99.2%	0.2%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	3	2	0	856	2	863
		0.3%	0.2%	0.0%	99.2%	0.2%	100.0%
合計　人数		7	8	1	2,673	5	2,694
		0.3%	0.3%	0.04%	99.2%	0.2%	100.0%

５．障害程度区分認定の状況（支問 6）

◇大阪府　　表５－１　障害程度区分認定の状況（大阪府）

		障害程度区分							合計
		1	2	3	4	5	6	未実施	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	0	13	15	37	72	103	1,591	1,831
		0.0%	0.7%	0.8%	2.0%	3.9%	5.6%	86.9%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	6	0	6	6	19	39	787	863
		0.7%	0.0%	0.7%	0.7%	2.2%	4.5%	91.2%	100.0%
合計　人数		6	13	21	43	91	142	2,378	2,694
		0.2%	0.5%	0.8%	1.6%	3.4%	5.3%	88.3%	100.0%

６．入所前の生活の場（支問 7）

◇大阪府　　表６－１　入所前の生活の場（大阪府）

		入所前の生活の場							合計
		自宅	GH	他の入所施設(成人)	入院	児童施設	その他	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	1,106	23	244	89	261	46	62	1,831
		60.4%	1.3%	13.3%	4.9%	14.3%	2.5%	3.4%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	442	2	125	223	25	8	38	863
		51.2%	0.2%	14.5%	25.8%	2.9%	0.9%	4.4%	100.0%
合計　人数		1,548	25	369	312	286	54	100	2,694
		57.5%	0.9%	13.7%	11.6%	10.6%	2.0%	3.7%	100.0%

７．グループホームでの生活経験の有無（支問７付問１）

◇大阪府　　表７－１　グループホームでの生活経験の有無（大阪府）

		GH入所経験			合計
		あり	なし	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	44	1,394	393	1,831
		2.4%	76.1%	21.5%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	3	596	264	863
		0.3%	69.1%	30.6%	100.0%
合計　人数		47	1,990	657	2,694
		1.7%	73.9%	24.4%	100.0%

８．入所前の日中活動の内容（支問８）

◇大阪府　　表８－１　入所前の日中活動の内容（大阪府）

		入所前の日中活動の内容									合計
		就労	作業所等に通所	他の入所施設（成人）で活動	学校に通学	入院治療	児童施設で活動	何もせず	その他	不明	
施設種別	知的障害者入所施設 人数	69	648	228	143	93	241	280	67	62	1,831
		3.8%	35.4%	12.5%	7.8%	5.1%	13.2%	15.3%	3.7%	3.4%	100.0%
	身体障害者入所施設 人数	36	141	106	39	220	21	241	20	39	863
		4.2%	16.3%	12.3%	4.5%	25.5%	2.4%	27.9%	2.3%	4.5%	100.0%
合計　人数		105	789	334	182	313	262	521	87	101	2,694
		3.9%	29.3%	12.4%	6.8%	11.6%	9.7%	19.3%	3.2%	3.7%	100.0%

９．個別支援計画作成の有無（支問９）

◇大阪府　　表９－１　個別支援計画作成の有無（大阪府）

		個別支援計画作成			合計
		作成している	作成していない	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	1,815	12	4	1,831
		99.1%	0.7%	0.2%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	843	18	2	863
		97.7%	2.1%	0.2%	100.0%
合計　人数		2,658	30	6	2,694
		98.7%	1.1%	0.2%	100.0%

10．個別支援計画への本人及び家族の関わり（支問９付問１）＜複数回答＞

（対象者：９で個別支援計画が作成されている人）

◇大阪府　　表10－１　個別支援計画への本人及び家族の関わり（大阪府）

		対象者数	策定にあたり本人に希望を聞く	策定会議に本人が参加	策定後、本人に説明し同意を得る	策定後、家族に説明し同意を得る	いずれにも該当しない
施設種別	知的障害者入所施設	1,815	528	103	485	1,342	179
			29.1%	5.7%	26.7%	73.9%	9.9%
	身体障害者入所施設	843	509	64	420	511	23
			60.4%	7.6%	49.8%	60.6%	2.7%
合計		2,658	1,037	167	905	1,853	202
			39.0%	6.3%	34.0%	69.7%	7.6%

11. 個別支援計画における地域移行に向けた支援内容明記の有無（支問 9 付問 2）

（対象者：9 で個別支援計画が作成されている人）

◇大阪府　　表 11－1　個別支援計画における地域移行に向けた支援内容明記の有無（大阪府）

		対象者数	明記されている	明記されていない	どちらともいえない	不明
施設種別	知的障害者入所施設	1,815	360 19.8%	1,009 55.6%	436 24.0%	10 0.6%
	身体障害者入所施設	843	72 8.5%	630 74.7%	137 16.3%	4 0.5%
合計		2,658	432 16.3%	1,639 61.7%	573 21.6%	14 0.5%

12. 地域移行支援のきっかけ（支問 9 付問 3）＜複数回答＞

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 12－1　地域移行支援のきっかけ（大阪府）

		対象者数	本人の希望	家族の希望	職員からの勧め	その他
施設種別	知的障害者入所施設	360	128 35.6%	68 18.9%	220 61.1%	42 11.7%
	身体障害者入所施設	72	33 45.8%	15 20.8%	30 41.7%	9 12.5%
合計		432	161 37.3%	83 19.2%	250 57.9%	51 11.8%

13. 地域移行に関する家族の反応（支問 9 付問 4）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 13－1　地域移行に関する家族の反応（大阪府）

		対象者数	賛成している	はじめ反対していたが後に賛成	反対している	不明
施設種別	知的障害者入所施設	360	141 39.2%	35 9.7%	136 37.8%	48 13.3%
	身体障害者入所施設	72	35 48.6%	4 5.6%	18 25.0%	15 20.8%
合計		432	176 40.7%	39 9.0%	154 35.6%	63 14.6%

14. 地域移行にむけた本人への取り組み（支問 9 付問 5）＜複数回答＞

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 14－1　地域移行にむけた本人への取り組み（大阪府）

		対象者	ビデオ等で情報提供	経験談を聞く	生活体験自活訓練	GH見学	GH体験宿泊	相談支援事業者との連携	本人への意思確認	特に何もしていない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	360	27 7.5%	54 15.0%	111 30.8%	79 21.9%	34 9.4%	13 3.6%	169 46.9%	94 26.1%	34 9.4%
	身体障害者入所施設	72	13 18.1%	9 12.5%	27 37.5%	7 9.7%	5 6.9%	12 16.7%	39 54.2%	13 18.1%	7 9.7%
合計		432	40 9.3%	63 14.6%	138 31.9%	86 19.9%	39 9.0%	25 5.8%	208 48.1%	107 24.8%	41 9.5%

15. 地域移行に向けた家族への取り組み（支問 9 付問 6）＜複数回答＞

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 15－1　地域移行にむけた家族への取り組み（大阪府）

		対象者	地域移行についての情報提供	GH見学	家族を交えてのケア会議	特に何もしていない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	360	199 55.3%	33 9.2%	38 10.6%	114 31.7%	46 12.8%
	身体障害者入所施設	72	23 31.9%	3 4.2%	9 12.5%	33 45.8%	6 8.3%
合計		432	222 51.4%	36 8.3%	47 10.9%	147 34.0%	52 12.0%

16. 本人が希望する地域移行後の生活の地域（支問 9 付問 7－1）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 16－1　本人が希望する地域移行後の生活の地域（大阪府）

		対象者数	施設から近い地域	出身地域	その他	不明
施設種別	知的障害者入所施設	360	128 35.6%	101 28.1%	74 20.6%	57 15.8%
	身体障害者入所施設	72	14 19.4%	28 38.9%	20 27.8%	10 13.9%
合計		432	142 32.9%	129 29.9%	94 21.8%	67 15.5%

17. 家族が希望する地域移行後の生活の地域（支問 9 付問 7－2）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 17－1　家族が希望する地域移行後の生活の地域（大阪府）

		対象者数	施設から近い地域	出身地域	その他	不明
施設種別	知的障害者入所施設	360	140 38.9%	54 15.0%	83 23.1%	83 23.1%
	身体障害者入所施設	72	14 19.4%	24 33.3%	17 23.6%	17 23.6%
合計		432	154 35.6%	78 18.1%	100 23.1%	100 23.1%

18. 本人が希望する地域移行後の生活の場（支問 9 付問 8）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 18－1　本人が希望する地域移行後の生活の場（大阪府）

		対象者	単身生活	単身（車椅子・バリアフリー）住宅	GH・CH	自宅	親戚宅	知人宅	その他	まだ決まっていない	不明
施設種別	知的障害者入所施設	360	7 1.9%	0 0.0%	231 64.2%	54 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.8%	52 14.4%	6 1.7%
	身体障害者入所施設	72	5 6.9%	3 4.2%	19 26.4%	12 16.7%	1 1.4%	0 0.0%	7 9.7%	19 26.4%	6 8.3%
合計		432	12 2.8%	3 0.7%	250 57.9%	66 15.3%	1 0.2%	0 0.0%	17 3.9%	71 16.4%	12 2.8%

19. 本人が希望する地域移行後の日中活動（支問 9 付問 9）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が①「明記されている」人）

◇大阪府　　表 19－1　本人が希望する地域移行後の日中活動（大阪府）

		対象者	一般就労	就労移行支援	就労継続支援	地域活動支援センター	生活介護	自立訓練	旧法通所施設	その他	まだ決まっていない	不明
施設種別	知的障害者入所施設	360	40	35	20	3	91	24	31	14	95	7
			11.1%	9.7%	5.6%	0.8%	25.3%	6.7%	8.6%	3.9%	26.4%	1.9%
	身体障害者入所施設	72	4	0	4	9	20	4	3	3	21	4
			5.6%	0.0%	5.6%	12.5%	27.8%	5.6%	4.2%	4.2%	29.2%	5.6%
合計		432	44	35	24	12	111	28	34	17	116	11
			10.2%	8.1%	5.6%	2.8%	25.7%	6.5%	7.9%	3.9%	26.9%	2.5%

20. 今後の生活に関する本人の意向（支問 12）

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が②「明記されていない」人及び③「どちらともいえない」人）

◇大阪府　　表 20－1　今後の生活に関する本人の意向（大阪府）

		対象者	今の施設で暮らしたい	今の施設とは違うところで暮らしたい	どちらでもいい、決められない	本人意思が時によって異なる	退所したいようだが施設で暮らすしかないと思っている	わからない	本人意思を確認したことがない	その他	不明
施設種別	知的障害者入所施設	1,445	388	145	120	63	53	449	114	87	26
			26.9%	10.0%	8.3%	4.4%	3.7%	31.1%	7.9%	6.0%	1.8%
	身体障害者入所施設	767	385	55	68	27	38	123	32	24	15
			50.2%	7.2%	8.9%	3.5%	5.0%	16.0%	4.2%	3.1%	2.0%
合計		2,212	773	200	188	90	91	572	146	111	41
			34.9%	9.0%	8.5%	4.1%	4.1%	25.9%	6.6%	5.0%	1.9%

21. 地域移行が決定されない主な理由（支問 12 付問 1）＜複数回答＞

（対象者：支問 9 付問 2 で地域移行に向けた支援内容が②「明記されていない」人及び③「どちらともいえない」人）

◇大阪府　　表 21－1　地域移行が決定されない主な理由（大阪府）

		対象者	本人の不安	本人の意思	家族同意得られず	地域のサービス不足	地域やサービスの情報不足	本人が抱えている特別な事情	まだ地域移行する段階ではない	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	1,445	158	120	338	378	164	373	827	140	175
			10.9%	8.3%	23.4%	26.2%	11.3%	25.8%	57.2%	9.7%	12.1%
	身体障害者入所施設	767	206	188	162	233	178	38	199	106	69
			26.9%	24.5%	21.1%	30.4%	23.2%	5.0%	25.9%	13.8%	9.0%
合計		2,212	364	308	500	611	342	411	1,026	246	244
			16.5%	13.9%	22.6%	27.6%	15.5%	18.6%	46.4%	11.1%	11.0%

22. 地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（支問 14）＜複数回答＞（対象者：全員）

◇大阪府　　表 22－1　地域生活に関心をむけるための本人への働きかけ（大阪府）

		対象者	情報提供	理解促進支援	実際に体験	施設外に出る機会を増やす	その他
施設種別	知的障害者入所施設	1,831	476	512	1,191	1,204	187
			26.0%	28.0%	65.0%	65.8%	10.2%
	身体障害者入所施設	863	335	309	430	379	120
			38.8%	35.8%	49.8%	43.9%	13.9%
合計		2,694	811	821	1,621	1,583	307
			30.1%	30.5%	60.2%	58.8%	11.4%

23. 地域移行のために必要なサービスやシステム（支問 13）＜複数回答＞

（対象者：全員）

◇大阪府　　表 23－1　地域移行のために必要なサービスやシステム（大阪府）

		対象者	生活の場	日中活動の場	余暇活動	相談できるところ	ヘルパー派遣	外出支援	障害特性に応じた特別な支援体制	経済基盤の確保	日常生活自立支援事業の利用	権利擁護システム	医療体制の充実	住宅改造	再入所できるシステム	その他
施設種別	知的障害者入所施設	1,831	1,425	1,397	1,220	874	876	1,223	1,163	1,025	959	619	944	338	1,079	146
			77.8%	76.3%	66.6%	47.7%	47.8%	66.8%	63.5%	56.0%	52.4%	33.8%	51.6%	18.5%	58.9%	8.0%
	身体障害者入所施設	863	526	551	464	502	469	472	466	401	378	296	490	391	409	51
			61.0%	63.8%	53.8%	58.2%	54.3%	54.7%	54.0%	46.5%	43.8%	34.3%	56.8%	45.3%	47.4%	5.9%
合計		2,694	1,951	1,948	1,684	1,376	1,345	1,695	1,629	1,426	1,337	915	1,434	729	1,488	197
			72.4%	72.3%	62.5%	51.1%	49.9%	62.9%	60.5%	52.9%	49.6%	34.0%	53.2%	27.1%	55.2%	7.3%

24. 支援者・施設として地域移行支援に関して心配なこと（支問 15）＜複数回答＞

（対象者：全員）

◇大阪府　　表 24－1　支援者・施設として地域移行支援に関して心配なこと（大阪府）

		対象者	アフターケアの人手不足	本人へのケアが十分なされるか心配	地域の支援策不足	医療体制の不安	現サービス体系では本人の行動に対応しきれない	地域の中で孤立しないか心配	犯罪被害に遭わないか心配	社会的問題をおこさないか心配	本人が同意しない	地域移行支援のために何をすればよいかわからない	家族同意を得るのが難しい	個別支援計画通りにいかない	市町村担当者から移行の話がない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	1,831	892	1,296	903	659	913	825	622	670	259	225	626	224	193	173
			48.7%	70.8%	49.3%	36.0%	49.9%	45.1%	34.0%	36.6%	14.1%	12.3%	34.2%	12.2%	10.5%	9.4%
	身体障害者入所施設	863	470	564	445	337	239	370	200	61	131	123	243	58	147	75
			54.5%	65.4%	51.6%	39.0%	27.7%	42.9%	23.2%	7.1%	15.2%	14.3%	28.2%	6.7%	17.0%	8.7%
合計		2,694	1,362	1,860	1,348	996	1,152	1,195	822	731	390	348	869	282	340	248
			50.6%	69.0%	50.0%	37.0%	42.8%	44.4%	30.5%	27.1%	14.5%	12.9%	32.3%	10.5%	12.6%	9.2%

【本人用調査票】

1. 調査用紙における意向の確認方法（本人用調査表紙）

◇大阪府　　表 25－1　調査用紙における意向の確認方法（大阪府）

			回答			合計
			本人が記入	本人からの聞き取りで支援者が記入	意向確認困難	
施設種別	知的障害者入所施設	人数	158	559	1,114	1,831
			8.6%	30.5%	60.8%	100.0%
	身体障害者入所施設	人数	64	462	337	863
			7.4%	53.5%	39.0%	100.0%
合計		人数	222	1,021	1,451	2,694
			8.2%	37.9%	53.9%	100.0%

２．地域移行の希望（本問 1）

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府　　表 26－1　地域移行の希望（大阪府）

			地域移行の希望					合計
			今の施設で暮らしたい	今の施設とは違うところで暮らしたい	どちらでもよい、決められない、わからない	その他	不明	
施設種別	知的障害者入所施設	人数	281	236	136	35	29	717
			39.2%	32.9%	19.0%	4.9%	4.0%	100.0%
	身体障害者入所施設	人数	305	70	106	36	9	526
			58.0%	13.3%	20.2%	6.8%	1.7%	100.0%
合計		人数	586	306	242	71	38	1,243
			47.1%	24.6%	19.5%	5.7%	3.1%	100.0%

3. 今の施設での暮らしについて思うこと（本問 2）＜複数回答＞

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府

表 27－1　今の施設での暮らしについて思うこと（大阪府）

		対象者	楽しい	日常生活に困らない	すぐに相談にのってくれる人がいる	いろんな規則が多い	プライバシーが守られない	したいことを自由にできない	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	467	425	340	280	148	246	110	31
			65.1%	59.3%	47.4%	39.1%	20.6%	34.3%	15.3%	4.3%
	身体障害者入所施設	526	259	369	265	235	163	186	46	16
			49.2%	70.2%	50.4%	44.7%	31.0%	35.4%	8.7%	3.0%
合計		1,243	726	794	605	515	311	432	156	47
			58.4%	63.9%	48.7%	41.4%	25.0%	34.8%	12.6%	3.8%

4. 施設を出て暮らすことについて、感じたり思ったりすること（本問 3）＜複数回答＞

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府

表 28－1　施設を出て暮らすことについて、感じたり思ったりすること（大阪府）

		対象者	困ることはない	楽しそう	支えてくれる人がいるので安心	なんとか暮らしていけそう	相談する人がいなくなり困りそう	日中活動の場がみつかるか心配	家族が心配するから退所したくない	自信がない	自分のお金で生活できるか心配	調理、掃除等（家事援助）で困る	食事、入浴、排泄等（身体介護）で困る	今の病気を定期的に診てくれる病院があるか心配	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	149	292	178	188	271	264	215	244	306	301	192	220	155	25
			20.8%	40.7%	24.8%	26.2%	37.8%	36.8%	30.0%	34.0%	42.7%	42.0%	26.8%	30.7%	21.6%	3.5%
	身体障害者入所施設	526	62	153	80	108	204	186	224	294	286	345	356	221	58	11
			11.8%	29.1%	15.2%	20.5%	38.8%	35.4%	42.6%	55.9%	54.4%	65.6%	67.7%	42.0%	11.0%	2.1%
合計		1,243	211	445	258	296	475	450	439	538	592	646	548	441	213	36
			17.0%	35.8%	20.8%	23.8%	38.2%	36.2%	35.3%	43.3%	47.6%	52.0%	44.1%	35.5%	17.1%	2.9%

5. 本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する生活の場。(本問 4－1) ＜複数回答＞

(注:以下問 5 まで、単一回答の設問ではあるが、集計時に複数回答されているものが見受けられたため、本人のニーズをなるべく多く拾い上げるために複数回答として処理した。)

(対象者:本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」)

◇大阪府　　表 29－1　本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する生活の場(大阪府)

		対象者	GHやCH	自分の家	住むところを借りて暮らす	今の施設とは違う別の入所施設	今の施設以外で暮らすことは考えられない	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	143	253	42	31	133	117	18
			19.9%	35.3%	5.9%	4.3%	18.5%	16.3%	2.5%
	身体障害者入所施設	526	42	162	57	31	158	76	9
			8.0%	30.8%	10.8%	5.9%	30.0%	14.4%	1.7%
合計		1,243	185	415	99	62	291	193	27
			14.9%	33.4%	8.0%	5.0%	23.4%	15.5%	2.2%

6. 本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する同居人。(本問 4－2) ＜複数回答＞

(対象者:本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」)

◇大阪府　　表 30－1　本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する同居人(大阪府)

		対象者	ひとりで	結婚して夫婦で	親と	兄弟姉妹と	友達と	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	78	41	190	122	123	147	23
			10.9%	5.7%	26.5%	17.0%	17.2%	20.5%	3.2%
	身体障害者入所施設	526	99	50	65	75	49	129	46
			18.8%	9.5%	12.4%	14.3%	9.3%	24.5%	8.7%
合計		1,243	177	91	255	197	172	276	69
			14.2%	7.3%	20.5%	15.8%	13.8%	22.2%	5.6%

7. 本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する支援。(本問 4－3) ＜複数回答＞

(対象者:本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」)

◇大阪府　　表 31－1　本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する支援(大阪府)

		対象者	相談支援	バリアフリー住宅	医療・看護の支援	食事・入浴・排泄等の介護支援	余暇活動参加のための支援	特に必要ない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	417	98	332	298	341	66	51
			58.2%	13.7%	46.3%	41.6%	47.6%	9.2%	7.1%
	身体障害者入所施設	526	300	355	347	419	221	24	18
			57.0%	67.5%	66.0%	79.7%	42.0%	4.6%	3.4%
合計		1,243	717	453	679	717	562	90	69
			57.7%	36.4%	54.6%	57.7%	45.2%	7.2%	5.6%

8．本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、住みたいと思う市町村。（本問 4－4）

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府　　表 32－1　本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、住みたいと思う市町村（大阪府）

		希望する市町村					合計
		入所前に住んでいたところ	入所施設の近く	特にない、わからない	その他	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	248	102	304	35	28	717
		34.6%	14.2%	42.4%	4.9%	3.9%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	212	67	194	34	19	526
		40.3%	12.7%	36.9%	6.5%	3.6%	100.0%
合計　人数		460	169	498	69	47	1,243
		37.0%	13.6%	40.1%	5.6%	3.8%	100.0%

9．本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する日中活動。（本問 5）＜複数回答＞

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府　　表 33－1　本人が施設以外の暮らしを仮定した場合、希望する日中活動（大阪府）

		対象者	今いる施設の日中活動	会社や工場等で働く	就職するための訓練	作業のできるところ	趣味の活動や友人との交流	特に希望なし	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	717	130	141	52	124	87	70	124	27
			18.1%	19.7%	7.3%	17.3%	12.1%	9.8%	17.3%	3.8%
	身体障害者入所施設	526	49	54	32	58	114	88	126	12
			9.3%	10.3%	6.1%	11.0%	21.7%	16.7%	24.0%	2.3%
合計		1,243	179	195	84	182	201	158	250	39
			14.4%	15.7%	6.8%	14.6%	16.2%	12.7%	20.1%	3.1%

10．グループホーム・ケアホームの認知（本問 6－1）

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府　　表 34－1　グループホーム・ケアホームの認知（大阪府）

		グループホーム・ケアホームの認知					合計
		GH・CHどちらも知っている	GHは知っている	CHは知っている	どちらも知らない	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	86	177	43	387	24	717
		12.0%	24.7%	6.0%	54.0%	3.3%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	96	79	7	334	10	526
		18.3%	15.0%	1.3%	63.5%	1.9%	100.0%
合計　人数		182	256	50	721	34	1,243
		14.6%	20.6%	4.0%	58.0%	2.7%	100.0%

11．グループホーム・ケアホーム利用者体験談を聞いたことの有無（本問 6－2）

（対象者：本人用調査票で「本人が記入」及び「本人からの聞き取りで支援者が記入」）

◇大阪府　　表 35－1　グループホーム・ケアホーム利用者体験談を聞いたことの有無（大阪府）

		体験談を聞いたことの有無			合計
		聞いたことがある	聞いたことがない	不明	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	220	459	38	717
		30.7%	64.0%	5.3%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	138	372	16	526
		26.2%	70.7%	3.0%	100.0%
合計　人数		358	831	54	1,243
		28.8%	66.9%	4.3%	100.0%

12. グループホーム・ケアホームの情報に対する関心（本問 6－2 付問）

（対象者：本問 6－2 で「聞いたことがある」を選択した人）＜複数回答＞

◇ 大阪府　　表 36－1　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心

（「聞いたことがある」を選択した人）（大阪府）

		対象者	関心をもった	おもしろそう・楽しそうだった	難しそう・大変そうだった	わからない	その他
施設種別	知的障害者入所施設	220	64	111	56	60	15
			29.1%	50.5%	25.5%	27.3%	6.8%
	身体障害者入所施設	138	37	31	60	45	2
			26.8%	22.5%	43.5%	32.6%	1.4%
合計		358	101	142	116	105	17
			28.2%	39.7%	32.4%	29.3%	4.7%

（対象者：本問 6－2 で「聞いたことがない」を選択した人）

◇ 大阪府　　表 37－1　グループホーム・ケアホームの情報に対する関心

（「聞いたことがない」を選択した人）（大阪府）

		対象者	聞いてみたいと思う	聞いてみたいと思わない	不明
施設種別	知的障害者入所施設	459	223	194	42
			48.6%	42.3%	9.2%
	身体障害者入所施設	372	158	197	17
			42.5%	53.0%	4.6%
合計		831	381	391	59
			45.8%	47.1%	7.1%

【地域移行に関する本人希望と個別支援計画】

◇大阪府　　表 38－1　地域移行に関する本人希望と個別支援計画（大阪府）

		地域移行に関する本人希望と個別支援計画				合計
		A:本人希望あり・地域移行が明記された個別支援計画あり	B:本人希望あり・地域移行が明記された個別支援計画なし	C:本人希望なし・地域移行が明記された個別支援計画あり	D:本人希望なし・地域移行が明記された個別支援計画なし	
施設種別	知的障害者入所施設　人数	75	130	148	1,478	1,831
		4.1%	7.1%	8.1%	80.7%	100.0%
	身体障害者入所施設　人数	11	40	47	765	863
		1.3%	4.6%	5.4%	88.6%	100.0%
合計　人数		86	170	195	2,243	2,694
		3.2%	6.3%	7.2%	83.3%	100.0%

大阪府地域移行推進指針策定検討委員

委　員　氏　名	所　　属
石川　太一朗	社会福祉法人わらしべ会
金澤　季代子	障害者相談支援センター「かたの」
北尾　明美	社会福祉法人大阪知的障害者育成会
坪倉　浩治	大阪府障害者福祉事業団
宮脇　真佐恵	社会福祉法人三恵園
村岡　昭二	大東市健康福祉部障害福祉課
＊座長　本多　隆司	種智院大学
河野　哲造	大阪府健康福祉部障がい保健福祉室施設福祉課
辻　　清隆	大阪府健康福祉部障がい保健福祉室地域生活支援課

統計に関する指導・助言

神戸学院大学　人文学部　教授　　神原　文子

「地域移行に向けた意向調査　分析報告書」

事務局

大阪府障がい者自立相談支援センター地域支援課　平成20年3月発行

〒558-0001　大阪市住吉区大領3丁目2－36　障がい者医療・リハビリテーションセンター内

TEL　06－6692－5261　　FAX　06－6692－3981